

2020年卒 マイナビ学生就職モニター調査 7月の活動状況



2019年8月

- 内容 : 就職活動状況の定点調査
- 実施期間 : 2019年7月25日～2019年7月31日まで
- 調査対象 : 2020年卒業予定の全国大学4年生及び院2年生
- 調査方法 : Web上のアンケートフォームより入力

□モニター属性データ

カテゴリー	モニター登録数	有効回答数	有効回答率
文系男子	1,102	353	32.0%
理系男子	1,210	605	50.0%
文系女子	1,112	475	42.7%
理系女子	1,188	539	45.4%
総計	4,612	1,972	42.8%

カテゴリー	モニター登録数	有効回答数	有効回答率
関東地区	1,786	737	41.3%
東海地区	433	184	42.5%
関西地区	979	430	43.9%
上記以外のエリア	1,414	621	43.9%

カテゴリー	モニター登録数	有効回答数	有効回答率	
学部	理系:機電系	233	87	37.3%
	理系:情報系	224	81	36.2%
	理系:土木・建築系	161	51	31.7%
	理系:化学系	163	63	38.7%
	理系:薬学系	190	90	47.4%
	理系:その他理系	500	189	37.8%
院	理系:機電系	197	119	60.4%
	理系:情報系	73	52	71.2%
	理系:土木・建築系	52	29	55.8%
	理系:化学系	242	164	67.8%
	理系:薬学系	52	34	65.4%
	理系:その他理系	311	185	59.5%

【7月のTOPICS】

～入社予定先決定後不安になった学生は52.8%。うち6割の不安は解消されず～

7月中に最終面接を受けた学生は11.3%（前月比28.0pt減）、内々定を得た中から入社予定先を決めている学生は91.0%と、多くの学生の就職活動は終了局面を迎えている。一方、入社予定先を決めた後に「本当にこの会社でいいのか」と不安になったことがある学生の割合は52.8%（前年比1.6pt増）に達し、そのうちまだ不安が解消されない学生は63.1%存在する。不安が解消された学生の中には、自分で調べて納得したという学生もいるが、内々定者懇親会や人事担当者との話し合いで解消されたという学生もいた。内々定者フォローを希望する学生は74.0%で、内々定者を無事入社につなげるため、企業側は適切な方法で接触を続ける必要があるだろう。

- (P. 20) 「もしこうだったら不安は解消されたのに」と思うことの最多は「待遇面での不満が解消される」22.6%
- (P. 20) 企業から保護者が入社を承諾しているか確認されたことがある割合は26.4%。小売・金融で高い割合
- (P. 29) 就職活動に影響したニュースワードの1位は「働き方改革」。来年の「就活ルール廃止」も一定の影響あり
- (P. 30) 動画エントリーシートの提出を求められたことがある学生は41.5%。提出したことがあるのは25.6%
- (P. 30) IT職種を志望したことがある学生のうち、プログラミングスキルを問われることに肯定的なのは68.4%
- (P. 33) 周りで流行った「就活用語」の1位は「お祈り」。以下「ガクチカ」「サイレント」「NNT」「オワハラ」

■集計方法

全体の回答率を算出するにあたり、有効回答数の文理男女構成比を、2020年3月卒業予定の大学生・大学院生の比率と等しくする為、文部科学省の学校基本調査を基に、ウエイトバック集計を行っている。基準数値は2018年12月公表の平成29年度学校基本調査より、大学3年生・院1年生の在籍数から男女比を参照している。文理区分については文部科学省・厚生労働省共同調査による「大学等卒業予定者の就職内定状況調査」の分類に準拠。

※ウエイトバック集計とはアンケート回答者の属性構成比率が実際の属性比率と乖離している場合、構成比に合わせるように重み付けして集計すること。

■□各種調査はWEB上でも順次公開中！□■

人事担当者のための新卒採用支援情報サイト 新卒採用サポネット <https://saponet.mynavi.jp/>

就職指導ご担当者のための総合情報サイト マイナビキャリアサポート <http://mcs.mynavi.jp/>

■□本資料について□■

本資料に掲載のデータ、図版等の無断転載を禁じます。資料のご利用やご質問等に関しては下記までご連絡ください。

株式会社 マイナビ 社長室 リサーチ&マーケティング部 TEL:03(6267)4571/E-mail:myrm@mynavi.jp

INDEX

【定点調査】

■1:7月の活動状況

■2:エントリー状況、セミナー参加やエントリーシート提出状況

- (1) アンケート回答者全体の平均エントリー社数
- (2) アンケート回答者全体の個別企業セミナー参加・適性検査受験社数・エントリーシート提出状況(平均)
- (3) 平均エントリー社数累計
- (4) 平均個別企業セミナー参加社数累計
- (5) 平均面接受験社数累計
- (6) アンケート回答者全体の個別企業セミナー参加・エントリーシート提出と通過・面接受験・内々定獲得社数累計
- (7) 面接受験割合の推移

■3:企業選択のポイント

- (1) 企業を選ぶときに、あなたが特に注目するポイント
- (2) 全体および文理男女別経年推移

■4:内々定保有者の活動状況

- (1) 企業の主な発見ツール(内々定先・入社予定先)
- (2) 内々定を得た企業の業種
- (3) 内々定獲得企業の中から入社予定先を決めている割合
- (4) 内々定獲得後入社意思決定までにもらった時間
- (5) 入社予定先企業に接触する前の時点での志望順位
- (6) 入社したいと最初に強く思ったタイミング
- (7) 入社予定先企業を選択したポイント
- (8) 入社予定先企業を選択したポイントと企業を選ぶときに注目するポイント(7月)
- (9) 内々定を得た企業の規模
- (10) 入社予定先企業の規模
- (11) 内々定を得た時期(内々定先・入社予定先)
- (12) 内々定を得た時期・文理男女経年比較(内々定先・入社予定先)
- (13) 内々定獲得後入社意思を固めた時期
- (14) 内々定獲得後入社意思を固めた時期・文理男女経年比較
- (15) 内々定を得た時期別・内々定先企業規模(全体・文系学生・理系学生)
- (16) 入社予定先の内々定を得た時期別・入社予定先企業規模
- (17) 1次面接から内々定までの選考回数(内々定先)
- (18) インターンシップに参加した割合(内々定先・入社予定先)
- (19) 1次面接を受けてから内々定をもらうまでの期間(内々定先・入社予定先)
- (20) 内々定を得た時期別・インターンシップに参加していた割合(内々定先・入社予定先)
- (21) インターンシップに参加した企業から内々定を得た時期・文理男女経年比較(内々定先・入社予定先)
- (22) インターンシップに参加した時期(内々定先・文系・理系・入社予定先)【複数回答】
- (23) 内々定先のインターンシップに2回以上参加したか
- (24) インターンシップに2回以上参加したか×参加時期(内々定先・入社予定先)【複数回答】
- (25) インターンシップに2回以上参加した場合の初回参加月
- (26) 内々定を得た企業を認識した時期(内々定先・入社予定先)
- (27) 内々定を得た時期別・企業を認識した時期(内々定先・入社予定先)

■5:入社予定先企業を決めるにあたって

- (1) 入社予定企業を決めた後に、「本当にこの会社でいいのか」と不安になったことがある割合
- (2) なぜ不安になったのか【複数回答】
- (3) 不安は解消されたか
- (4) 不安が解消された理由【複数回答】
- (5) 「もしこうだったら『この会社でいいのか』という不安は解消されたのに」と思うこと【複数回答】
- (6) 入社予定先から「今」提供してほしいと思う情報【複数回答】
- (7) 入社予定先企業から保護者が入社を承諾しているかについて確認された経験
- (8) 保護者承諾の確認方法【複数回答】
- (9) 入社予定先の企業についての評価
企業の総合的満足度 / 就業条件、職場環境の満足度 / 能力を活かせるか
社員の印象と帰属感 / 経営者の印象 / 将来のキャリア展望 / 比較検討
- (10) 内々定先満足度
- (11) 入社予定先未決定者の内々定先満足度
- (12) 入社予定先が決まっている学生の内々定先満足度
- (13) 入社予定先当初志望度別満足度
- (14) 入社予定先のインターンシップ参加・不参加・参加回数別満足度
- (15) 入社予定先従業員規模別満足度
- (16) 入社予定先内々定獲得時期別満足度

※調査結果は、小数点第2位を四捨五入しております。そのため、グラフ及び表の和が100.0%にならない場合がございます。予めご了承ください。

■6:内々定後の企業との接触について

- (1) 内々定後、企業と接触を持ったか
- (2) 入社までに内々定者フォロー・内々定者研修を希望するか
- (3) 企業と接触している頻度
- (4) 今後内々定企業と接触する場合に希望する頻度
- (5) 内々定フォローや内々定研修を受けたい理由【複数回答】
- (6) 入社までに集合研修を受けたいか
- (7) 集合研修で受けたい内容【複数回答】
- (8) 内々定者フォロー(実際にあった接触の内容・希望する内容)【複数回答】
- (9) 内々定者フォロー(入社しようという気持ちが高まったもの・印象が悪くなったもの)【複数回答】
- (10) 内々定者フォロー・実際に会った接触内容のうち、その企業に入社するという意思を伝える前に行われたもの【複数回答】

■7:【理系】7月の活動状況

- (1) 理系学生の活動状況【複数回答】
- (2) 企業の選考を受けた割合
- (3) 企業への応募方法(7月)、(2月~7月)
- (4) 大学に志望調査を提出した(学部生・院生)
- (5) 企業の研究所・工場などを見学した(学部生・院生)
- (6) 就職に関して教授に相談した(学部生・院生)
- (7) ジョブマッチングを受けた(学部生・院生)
- (8) 企業の選考を受けた(学部生・院生)
- (9) 企業から推薦状を求められた(学部生・院生)
- (10) 大学から推薦状を発行された(学部生・院生)

【追加調査】**■8:就職活動に影響したキーワード**

- (1) 就職活動に影響したキーワード(全体・カテゴリー別ベスト5)【複数回答】

■9:選考方法について

- (1) 動画エントリーシートの提出を求められたことがあるか
- (2) 動画エントリーシートについてどう思うか
- (3) AI面接を受けたことがあるか
- (4) AI面接についてどう思うか
- (5) IT職種での就職を希望していたことがあるか
- (6) IT職種の選考において、プログラミングスキルを問われることについてどう思うか

■10:グローバルな働き方について

- (1) 外国語を必要とする職場や海外出張がある職場に関する考え
- (2) 大学や大学院在学中に海外に行ったことがあるか、および海外に行った目的
- (3) 勤務したいと思う国・地域【複数回答】

■11:就職活動に関する書籍について

- (1) 就職対策書籍の購入経験
- (2) 購入した書式の形式
- (3) 購入した書籍の内容【複数回答】

■特別調査(あなたの周りで流行った「就活用語」は)

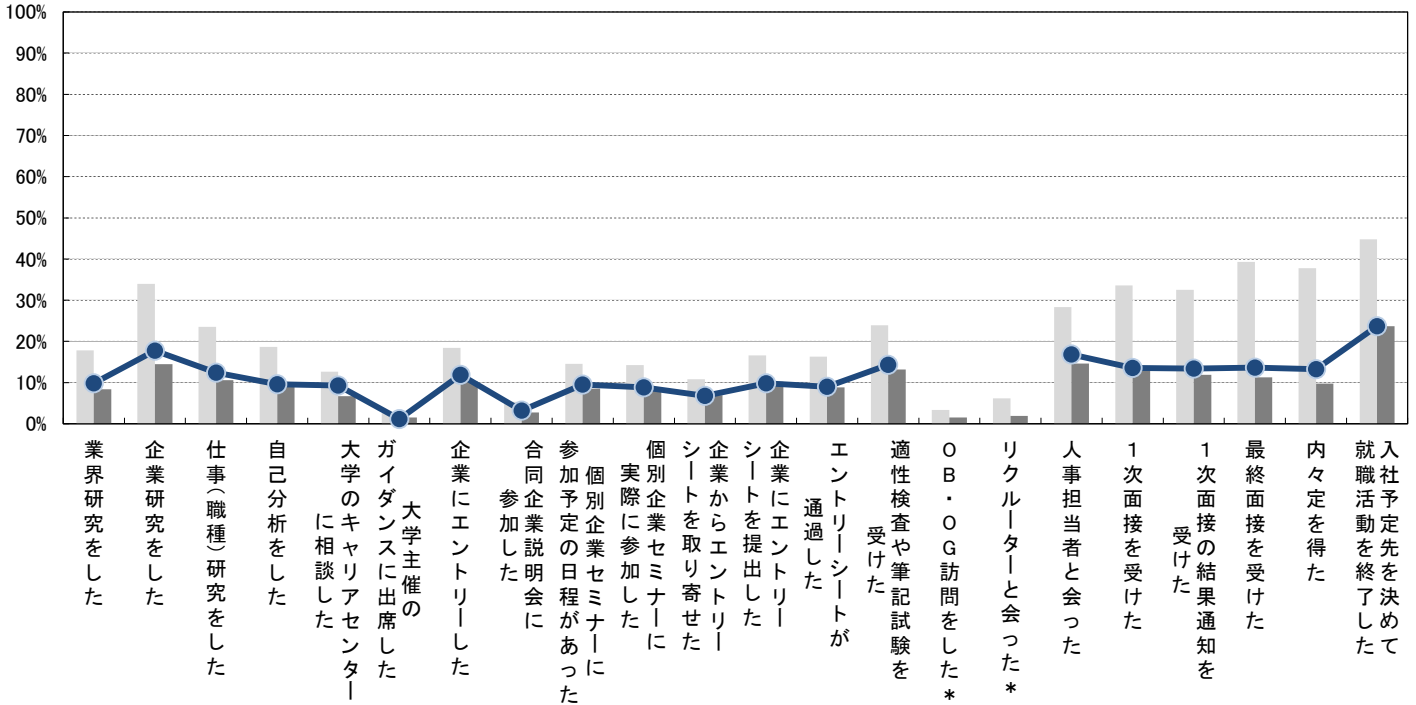
※調査結果は、小数点第2位を四捨五入しております。そのため、グラフ及び表の和が100.0%にならない場合がございます。予めご了承ください。

■1:7月の活動状況

7月の活動状況では、すべての項目で前月の割合を下回った。前年同月との比較では「入社予定先を決めて活動を終了した（23.7%、前月比21.1pt減、前年同月比±0.0pt）」は増減なしで「最終面接を受けた（11.3%、前月比28.0pt減、前年同月比2.3pt減）」「内々定を得た（9.8%、前月比28.0pt減、前年同月比3.4pt減）」は減少した。前年と同様のペースで多くの学生が入社予定先をすでに決め、活動を終了している状況だが、一部で企業へのエントリー（10.3%）やエントリーシートの提出（10.2%）などの活動を継続している学生がいるようだ。

7月の活動状況

20年卒 6月全体 20年卒 7月全体 19年卒 7月全体



*前年は「OB・OGやリクレーターと会った」

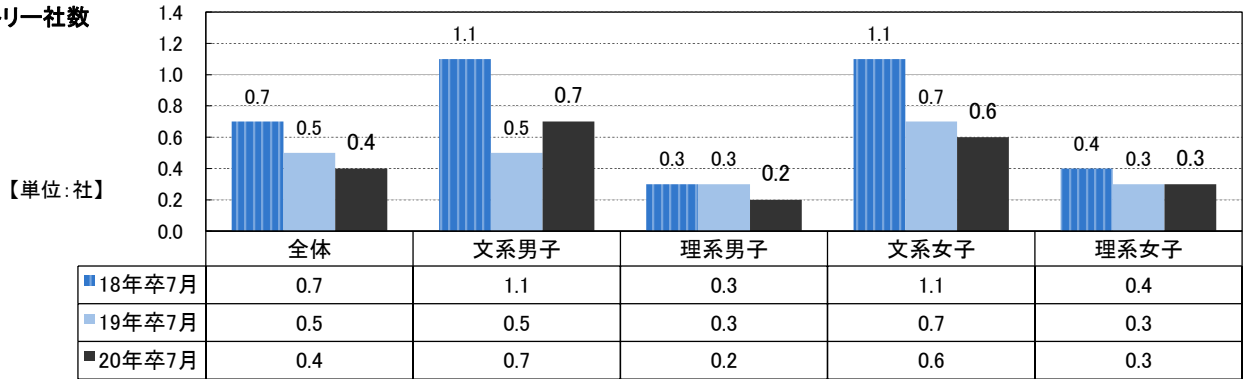
	20年卒			19年卒【参考】			20年卒	
	7月全体	7月前半	7月後半	7月全体	7月前半	7月後半	6月全体	5月全体
業界研究をした	8.4%	7.5%	3.6%	9.8%	8.8%	5.3%	17.8%	29.9%
企業研究をした	14.5%	12.5%	8.7%	17.7%	15.1%	10.5%	34.0%	54.2%
仕事(職種)研究をした	10.6%	8.4%	6.1%	12.4%	10.3%	6.9%	23.5%	37.8%
自己分析をした	8.9%	7.6%	4.6%	9.6%	7.9%	5.1%	18.7%	30.3%
大学のキャリアセンターに相談した	6.7%	4.9%	3.9%	9.3%	7.5%	4.2%	12.6%	19.4%
大学主催のガイダンスに出席した	1.5%	0.9%	0.7%	1.1%	0.9%	0.4%	2.6%	3.3%
企業にエントリーした	10.3%	7.5%	6.2%	11.9%	9.6%	7.1%	18.4%	31.7%
合同企業説明会に参加した	2.7%	1.9%	1.2%	3.2%	2.3%	1.4%	5.4%	5.4%
個別企業セミナーに参加予定の日程があった	8.5%	6.8%	4.9%	9.5%	7.0%	6.3%	14.6%	29.0%
個別企業セミナーに実際に参加した	8.3%	6.5%	4.5%	8.8%	6.4%	5.8%	14.2%	28.2%
企業からエントリーシートを取り寄せた (企業HP・サイトからダウンロードや郵送で取り寄せた)	6.9%	4.5%	3.7%	6.8%	4.6%	4.2%	10.8%	18.7%
企業にエントリーシートを提出した (取り寄せたシートを記入し返送したり、WEBから直接書き込んだりした)	10.2%	6.8%	5.5%	9.8%	7.3%	5.7%	16.6%	35.0%
エントリーシートが通過した (シートを提出後、次の選考の案内が来た)	8.8%	6.2%	4.6%	9.0%	7.2%	4.1%	16.3%	42.7%
適性検査や筆記試験を受けた	13.2%	9.2%	7.4%	14.3%	10.5%	8.3%	23.9%	46.2%
OB・OG訪問をした*	1.5%	0.8%	0.8%	↓OB・OGやリクレーターと会った↓			3.3%	7.4%
リクレーターと会った*	1.9%	1.3%	0.9%	3.8%	2.3%	1.7%	6.2%	16.2%
人事担当者や会った	14.6%	9.7%	7.3%	16.8%	11.0%	9.4%	28.3%	39.3%
1次面接を受けた	13.5%	9.5%	7.1%	13.6%	10.4%	7.1%	33.6%	52.6%
1次面接の結果通知を受けた	11.8%	8.3%	6.1%	13.4%	9.4%	7.2%	32.5%	51.8%
最終面接を受けた	11.3%	6.6%	6.0%	13.6%	8.7%	6.3%	39.3%	46.3%
内々定を得た	9.8%	7.0%	3.3%	13.2%	9.0%	4.8%	37.8%	37.2%
入社予定先を決めて就職活動を終了した	23.7%	18.7%	7.8%	23.7%	18.6%	7.9%	44.8%	23.1%
内々定を得ていないが就職活動を中止した	1.9%	1.4%	0.7%	2.1%	1.4%	1.1%	1.9%	2.0%

*前年は「OB・OGやリクレーターと会った」

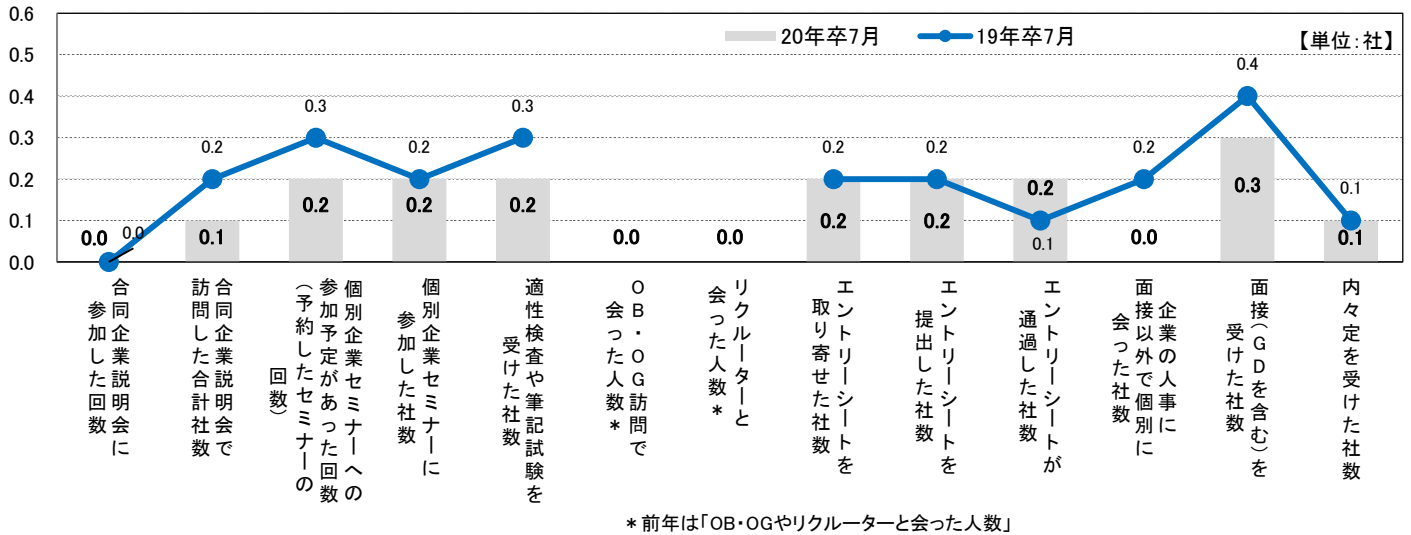
■2: エントリー状況、セミナー参加やエントリーシート提出状況

7月の面接受験社数平均は0.3社で前年同月をやや下回った。3月から7月までの面接受験社数平均の累計は10.5社となり、前年を0.5pt下回った。エントリーシート提出社数平均の累計は11.8社（前年同月比0.3pt増）、通過社数平均の累計は7.6社（前年同月比0.5pt増）だった。通過社数を提出社数で割った通過率は64.4%で前年の61.7%を上回った。面接受験割合の推移を2月から7月後半までグラフ化したところ、1次面接の受験割合のピークは4月前半で、2月～4月前半までは前年同月を上回っていたが、以降は前年より早く割合が減っていった。最終面接受験割合のピークは5月後半の31.4%だが、4月後半も29.5%と高い割合となっており、2月～4月後半まで前年の割合を上回っていた。これらにより面接は、4月後半までは前年のペースを上回って進み、それ以降は前年より早いペースで終了していったことが分かる

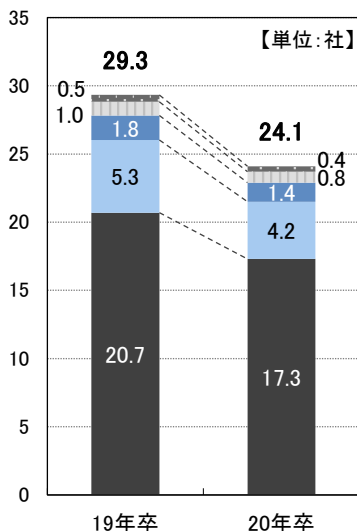
7月平均エントリー社数



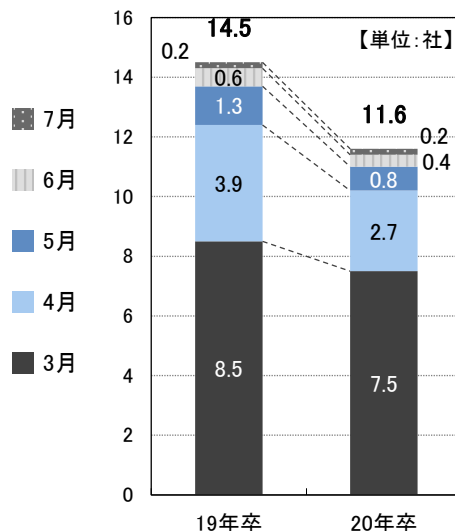
合同企業説明会、個別企業セミナーの参加社数、適性検査受験社数、エントリーシート提出社数（平均）



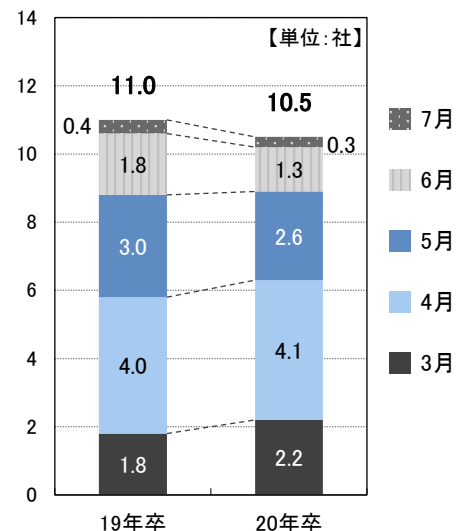
平均エントリー社数累計



平均個別企業セミナー参加社数累計

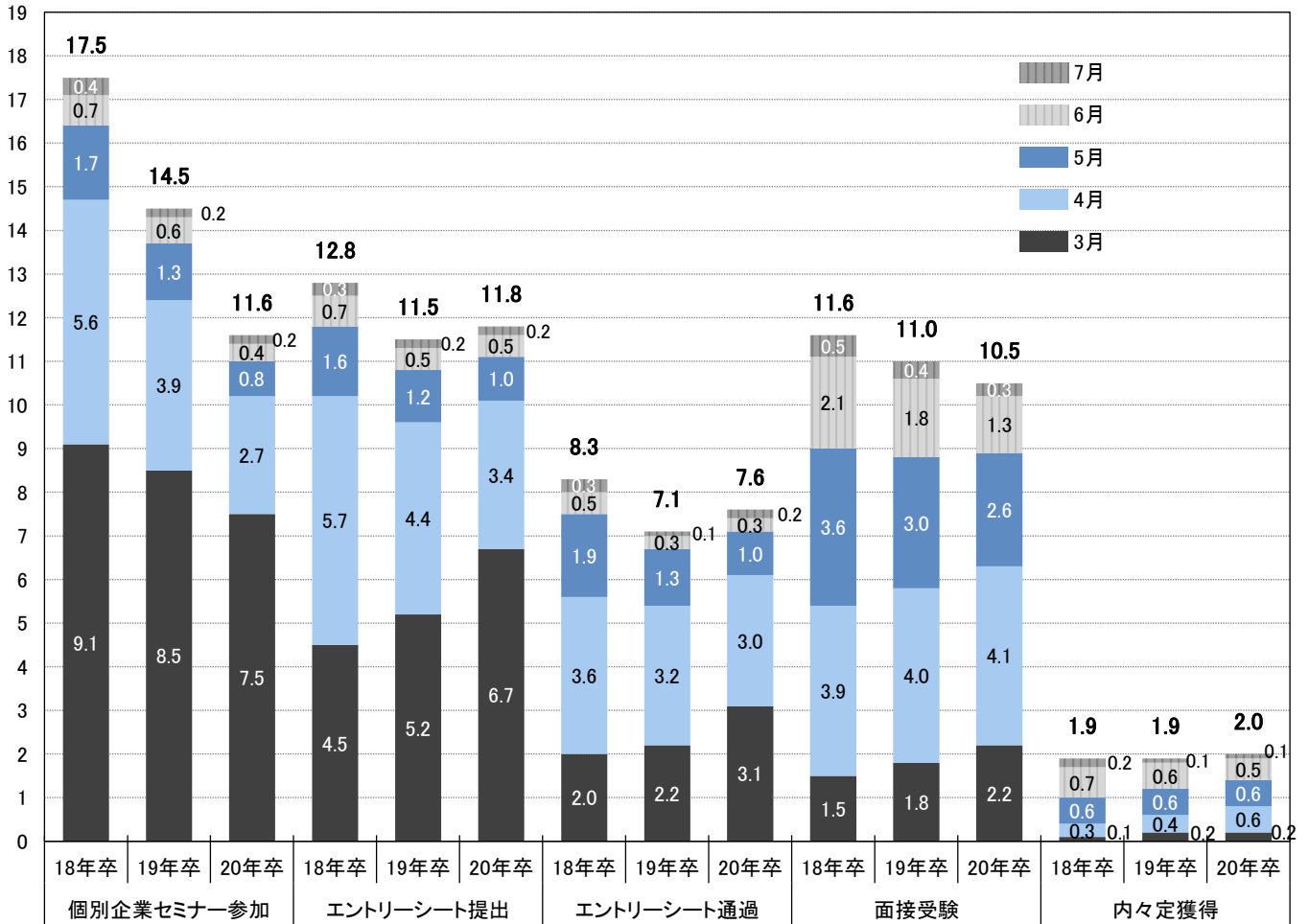


平均面接受験社数累計

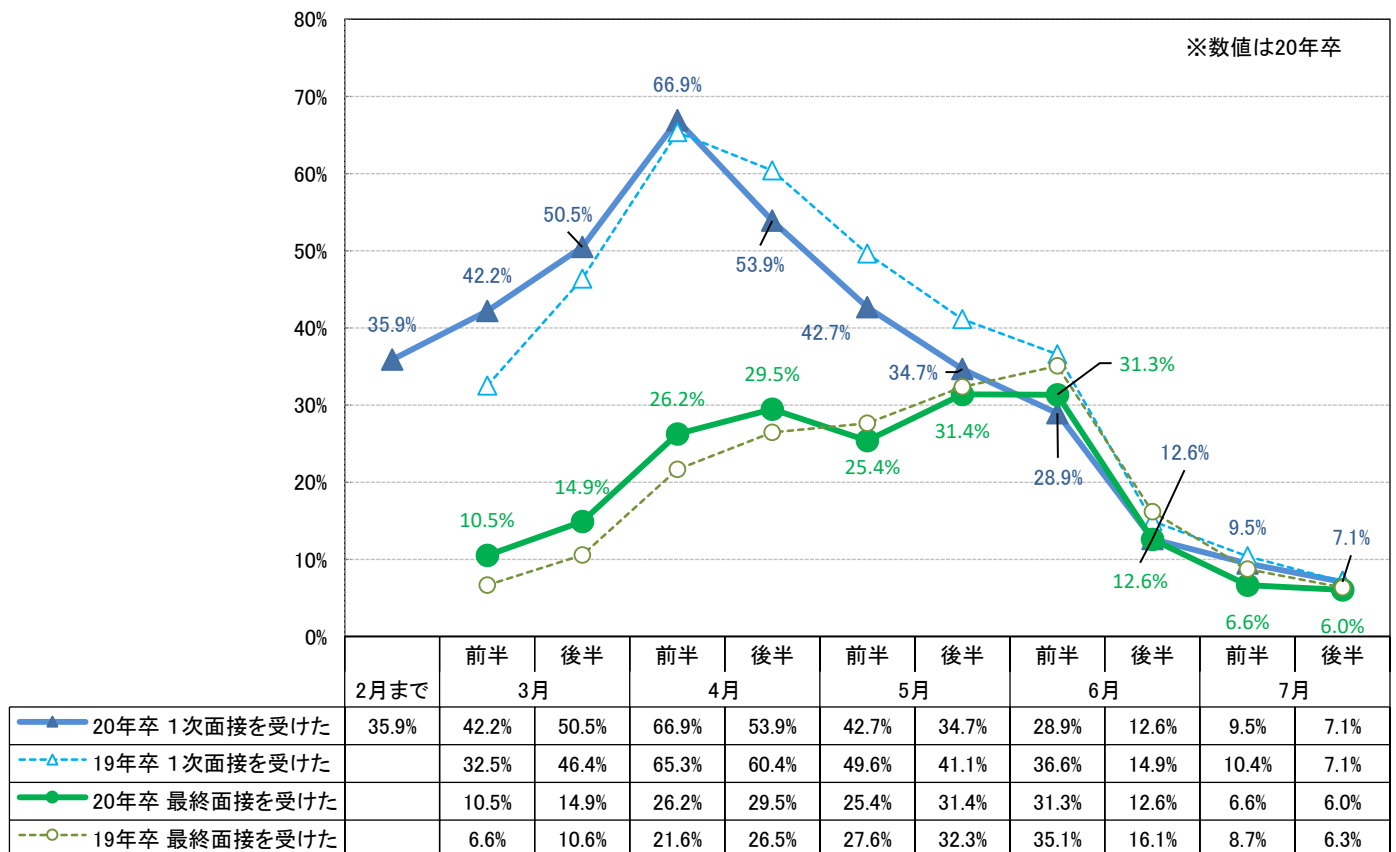


個別企業セミナー参加、エントリーシート提出・通過、面接受験、内々定獲得、平均社数累計

【単位：社】



面接受験割合の推移



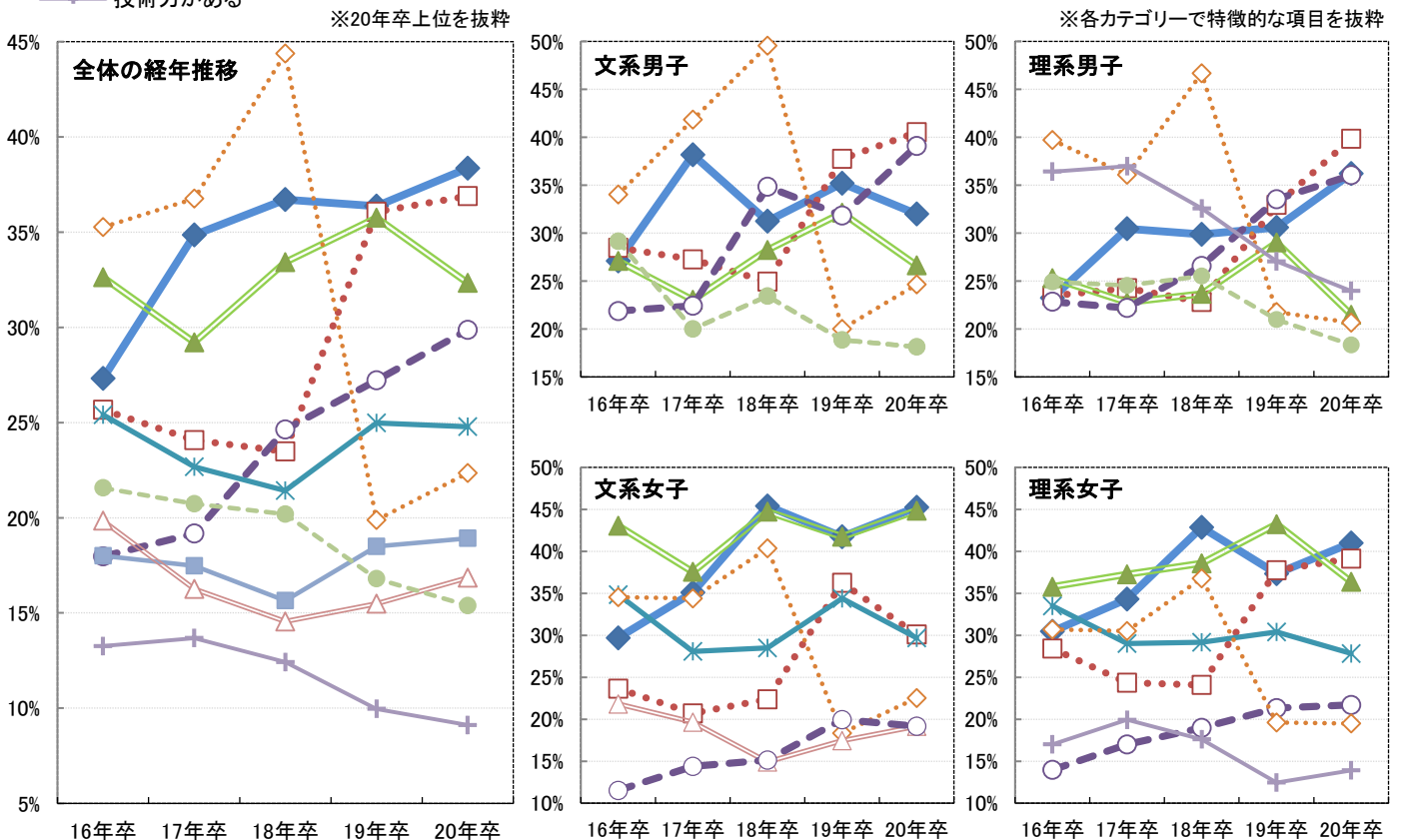
■3:企業選択のポイント

企業選択のポイントについて、16年卒から20年卒まで毎年7月の調査結果の推移を全体と文理男女別でグラフ化した。項目については、選択割合が高い上位の項目と文理男女の 카테고리 別で特徴的な項目を抜粋した。全体の経年推移では「企業経営が安定している」や「企業の成長性が見込める」など企業評価に関する項目の割合が特に18年卒から19年卒にかけて大きく下がり、「福利厚生が充実している」「給与や賞与が高い」「自分が成長できる環境がある」など働く環境に関する項目の割合は徐々に上がっている。文理男女別では、男子では「給与や賞与が高い」、女子では「社員の人間関係が良い」や「希望する勤務地で働ける」、理系では「技術力がある」といった項目がそれぞれ高い割合を保っているが、理系男子では「技術力がある」は年々割合が下がる傾向にある。

企業を選ぶときに、あなたが特に注目するポイント

	順位	前月順位	ベスト3まで選択					最も注目するポイント		
			全体	文系男子	理系男子	文系女子	理系女子	順位	全体	前月順位
			1,972	353	605	475	539	1,972		
福利厚生制度が充実している	1	2	38.4%	32.0%	36.2%	45.3%	41.0%	3	10.5%	3
自分が成長できる環境がある	2	1	36.9%	40.5%	39.8%	30.1%	39.1%	1	16.8%	1
社員の人間関係が良い	3	3	32.3%	26.6%	21.5%	44.8%	36.4%	2	12.2%	2
給与や賞与が高い	4	4	29.9%	39.1%	36.0%	19.2%	21.7%	8	5.9%	8
希望する勤務地で働ける	5	5	24.8%	20.7%	22.1%	29.7%	27.8%	4	8.6%	4
企業経営が安定している	6	6	22.3%	24.6%	20.7%	22.5%	19.5%	5	8.1%	5
社会貢献度が高い	7	7	18.9%	21.0%	19.2%	18.3%	14.8%	6	7.4%	6
経営理念・企業理念に共感できる	8	8	16.9%	17.8%	11.6%	19.2%	18.9%	7	7.2%	7
企業の成長性が見込める	9	9	15.4%	18.1%	18.3%	10.7%	14.5%	9	5.3%	9
社員が親身に対応してくれる	10	11	9.9%	11.3%	6.3%	11.8%	8.5%	11	2.9%	11
業界上位である	11	10	9.7%	10.2%	15.2%	6.7%	4.8%	10	3.3%	10
技術力がある	12	12	9.1%	3.7%	24.0%	1.1%	13.9%	12	2.8%	12
仕事を任せてもらえる	13	13	7.9%	9.1%	8.3%	6.9%	6.7%	14	1.9%	14
国際的な仕事ができる	14	14	7.6%	8.5%	7.6%	8.0%	4.5%	13	1.9%	13
平均勤続年数が高い	15	15	6.9%	8.2%	5.3%	7.4%	5.8%	15	1.6%	16
女性が活躍している	16	16	5.1%	0.6%	1.0%	10.7%	10.4%	17	1.0%	17
職種別採用がある	17	17	3.9%	3.1%	3.8%	3.6%	6.5%	16	1.2%	15
社員の話しに説得力があった	18	19	2.4%	3.1%	1.8%	2.1%	2.8%	18	0.8%	18
商品企画力がある	19	18	1.8%	1.7%	1.3%	1.9%	2.4%	19	0.6%	19

- ◆ 福利厚生制度が充実している
- 自分が成長できる環境がある
- ▲ 社員の人間関係が良い
- ◇ 給与や賞与が高い
- ✱ 希望する勤務地で働ける
- ◇ 企業経営が安定している
- 社会貢献度が高い
- △ 経営理念・企業理念に共感できる
- 企業の成長性が見込める
- + 技術力がある



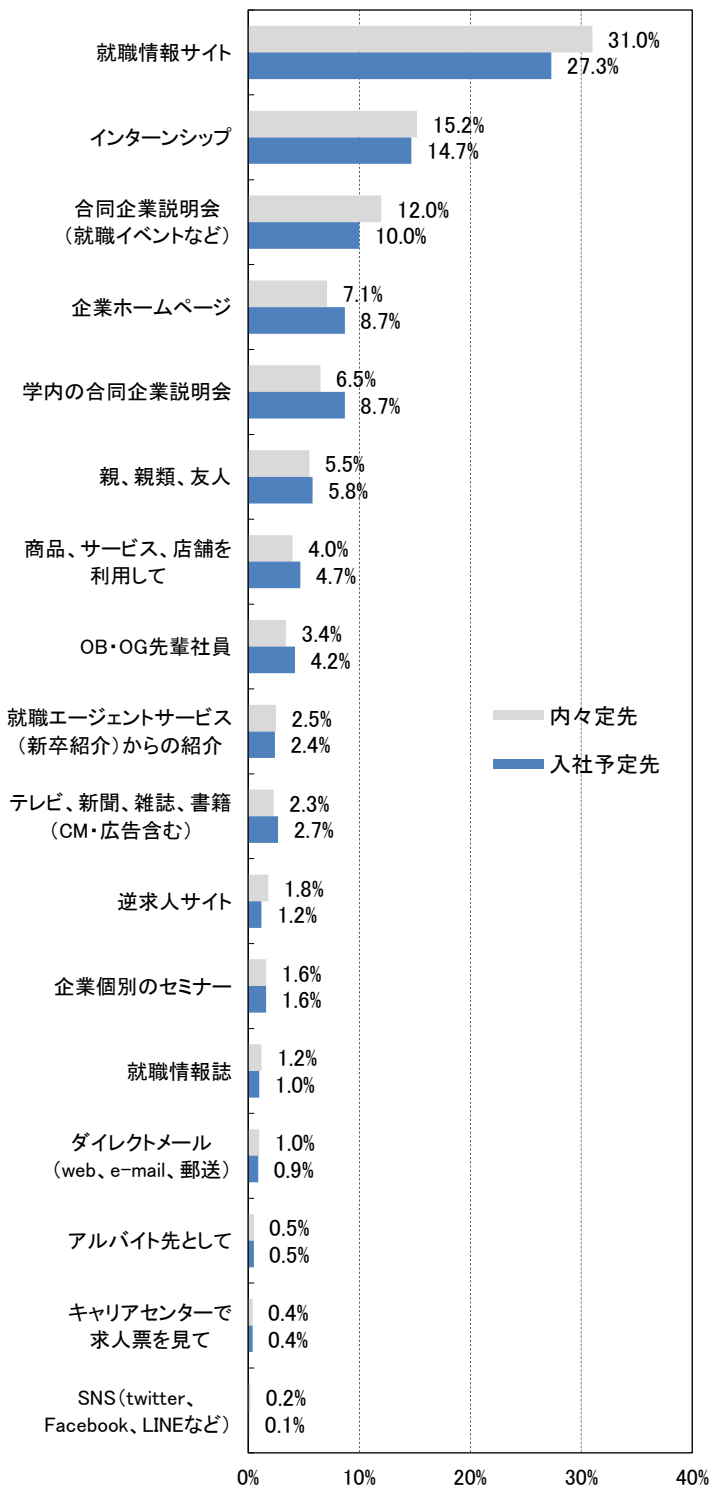
■4:内々定保有者の活動状況

内々定を獲得した企業をひとり最大4社まで回答してもらい「社数」ベースで再集計した。企業の主な発見ツールでは「就職情報サイト(31.0%)」が最も割合が高く、「インターンシップ(15.2%)」「合同企業説明会(12.0%)」が、それに続いた。入社予定先企業が初回接触前は第何志望だったかでは、「第一志望(28.8%、前年比3.1pt減)」は前年よりやや減少し、「第二志望(23.0%、前年比4.2pt増)」が前年より増加した。その企業に入社したいと最初に強く思ったタイミングについて文理男女別に見ると、「1次面接～最終面接受験時」は文系男子(25.7%)、文系女子(26.4%)で高く、「インターンシップ参加時」は理系男子(20.6%)、理系女子(22.5%)で高い割合となった。

★がついている項目は、モニター学生が内々定を獲得した企業について1人当たり最大4社回答をした結果を、【社数】をベースに再集計した。

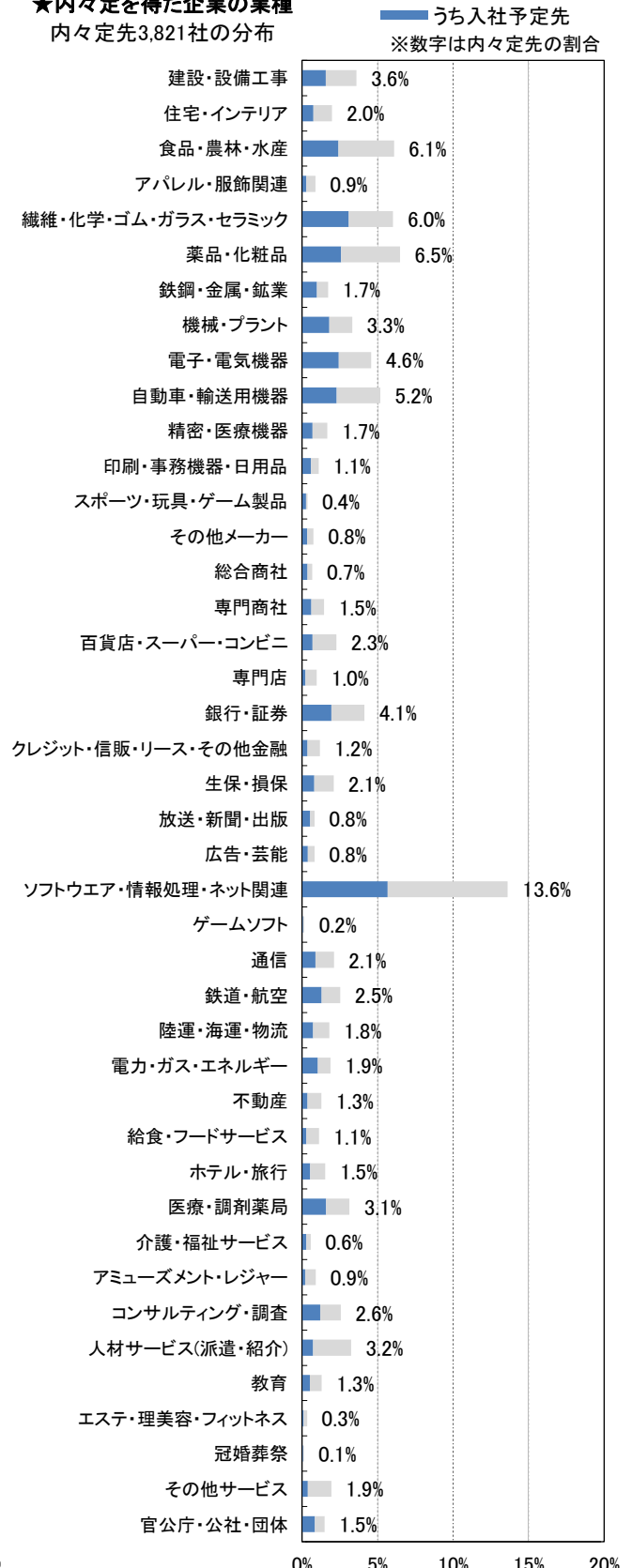
★企業の主な発見ツール

内々定先3,821社、入社予定先1,646社の分布

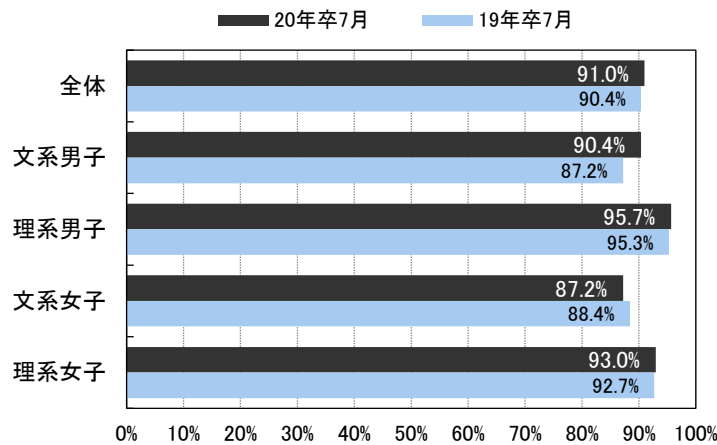


★内々定を得た企業の業種

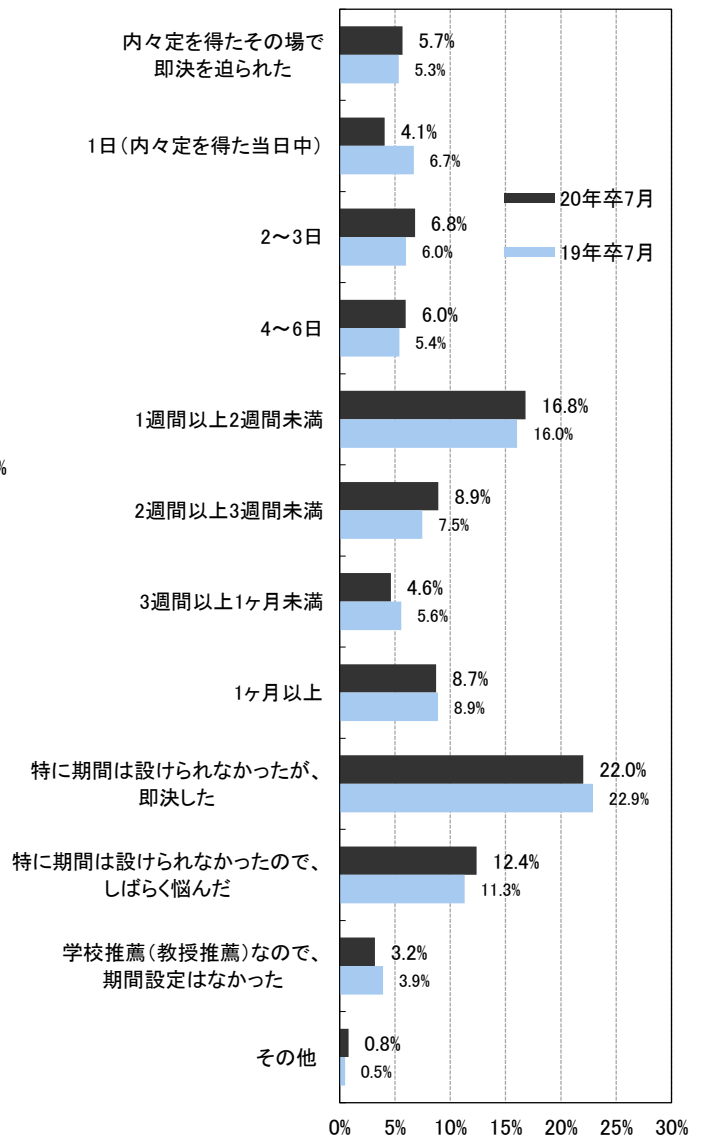
内々定先3,821社の分布



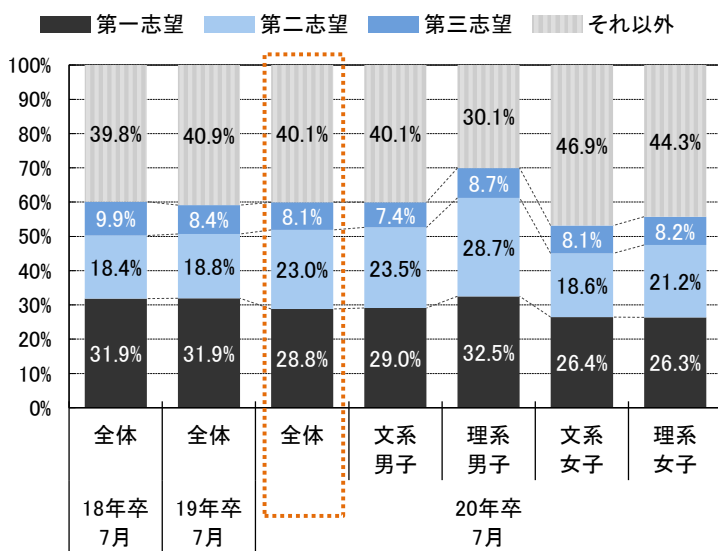
現段階で内々定獲得企業の中から
入社予定先を決めている割合 (n=1,790)



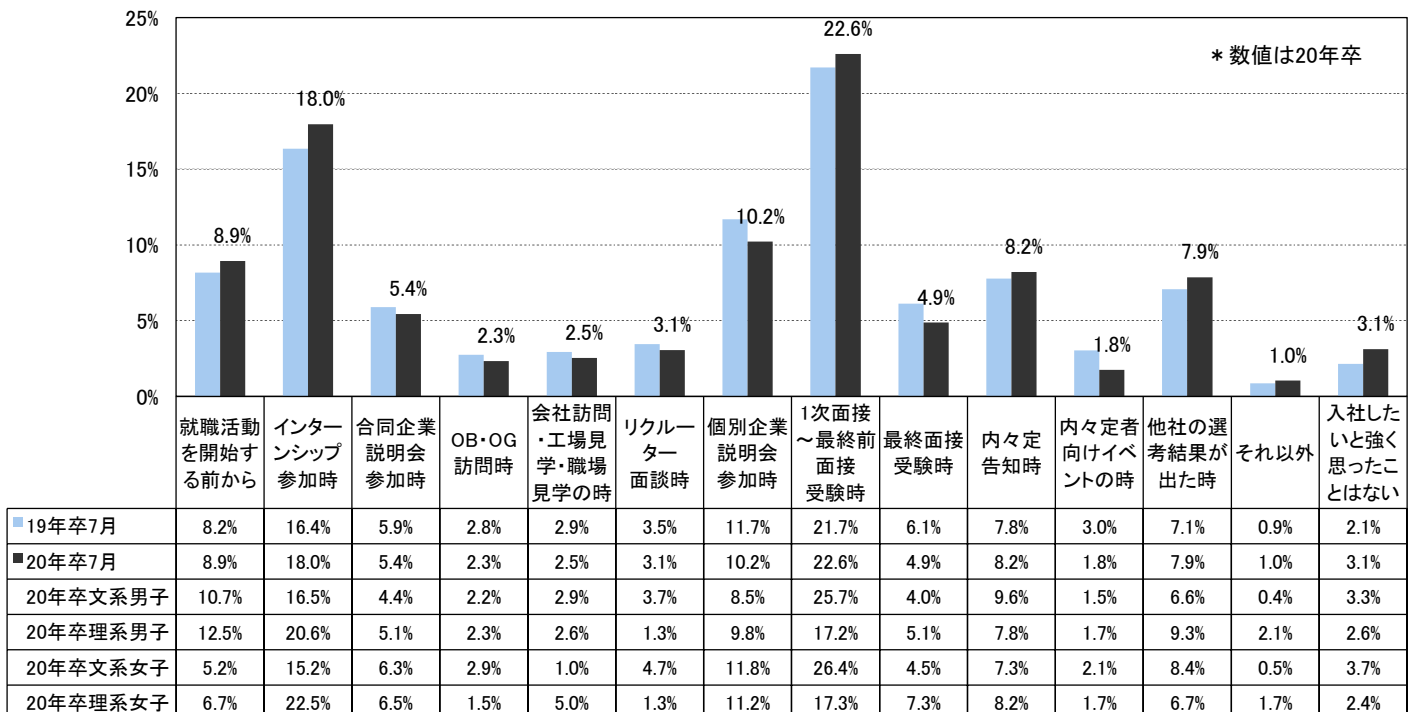
内々定獲得後、入社意思を固めるまでにもらった時間 (n=1,646)



入社予定先企業は、初めてその企業と接触する
前の時点では第何志望だったか (n=1,646)



その企業に入社したいと最初に強く思ったタイミング (n=1,646)



「入社予定先企業を選択したポイント」は「自分が成長できる環境がある（35.4%）」「福利厚生制度が充実している（33.1%）」「社員の人間関係が良い（28.8%）」がトップ3だった。内々定を得た時期と企業規模の関係について、企業規模を3つに分類してグラフ化したところ、従業員数1,000人未満の企業は4月下旬と5月下旬にそれぞれ内々定出しのピークがあったが、従業員数5,000人以上の企業は6月上旬がピークとなっている。ピーク時への集中度はそれほど高くないが、入社予定先に絞ってみると5,000人以上の企業の内々定は6月上旬の集中度がやや高かったようだ。内々定をもらった企業を認識した時期では「インターンシップや就職活動をする前までに知っていた」は41.4%（前年比2.0pt増）で、これらの企業からの内々定は5月下旬から6月上旬にかけてやや集中していた。一方「就職活動を通じて初めて知った」は39.2%（前年比3.8pt減）で、これらの企業からの内々定は4月下旬と5月下旬に出た割合がやや高かった。

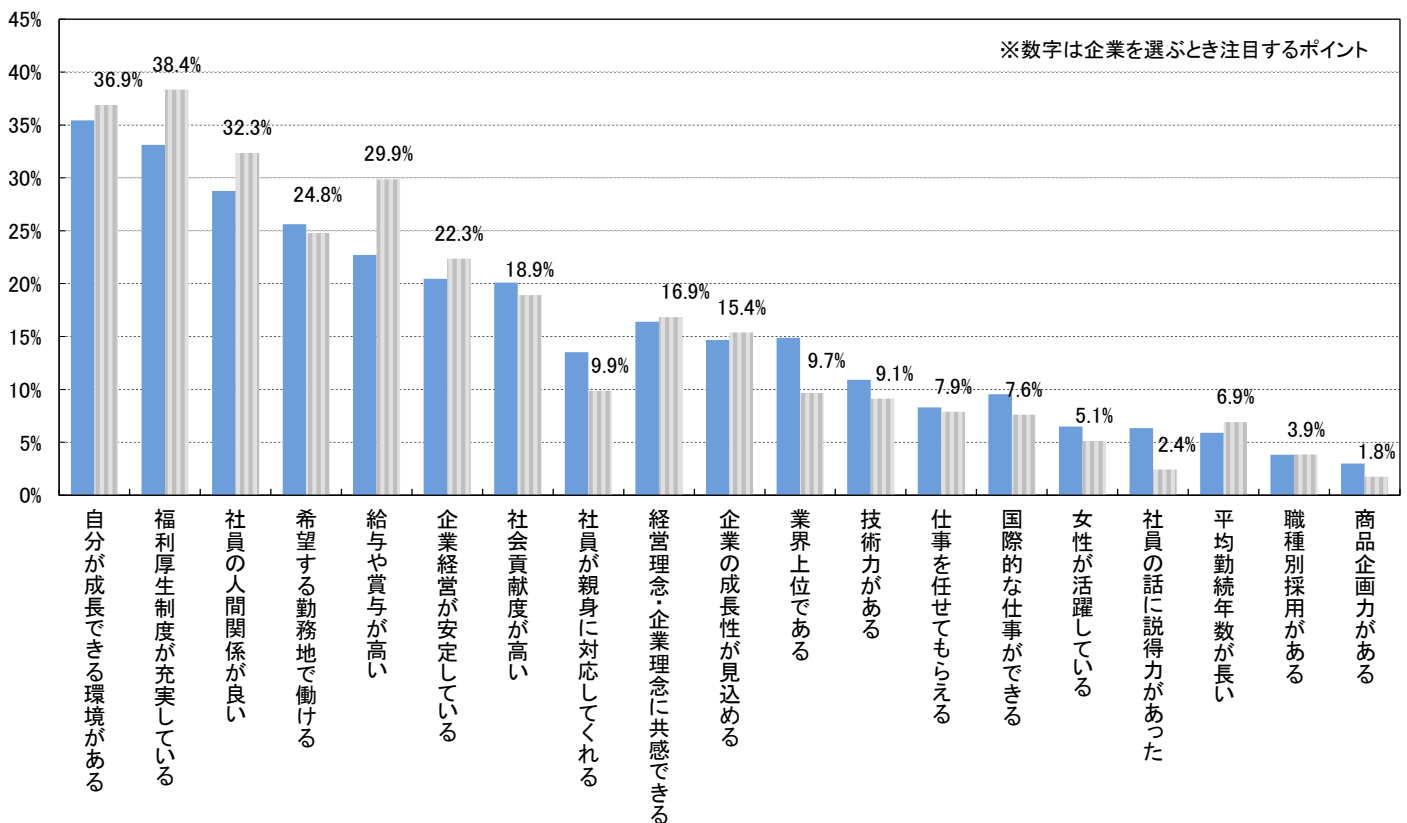
入社予定先企業を選択したポイント

（企業を選ぶとき注目するポイントの順位と比較）

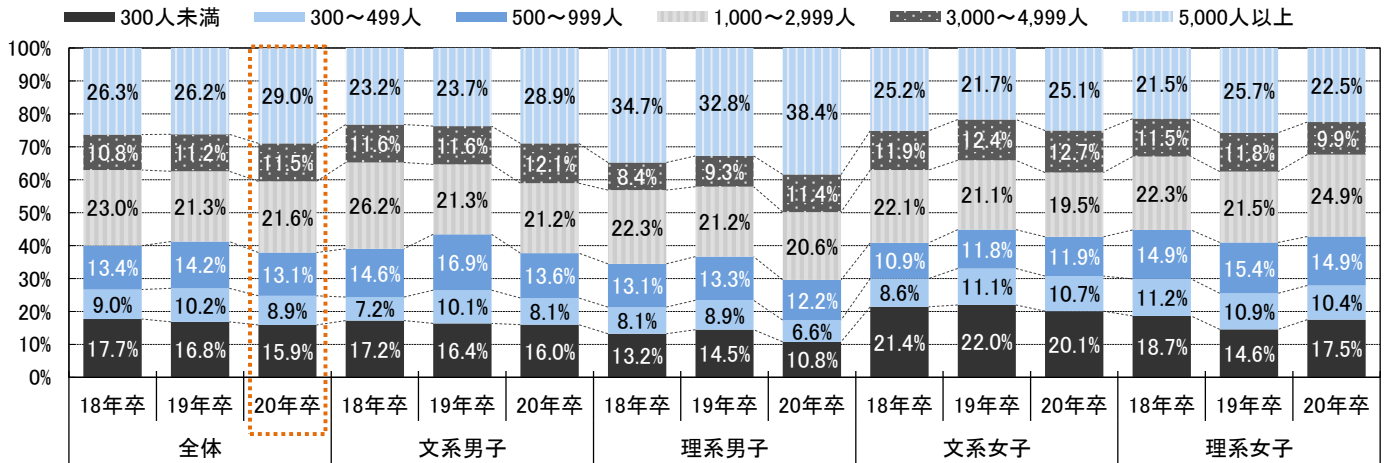
	順位	企業を選ぶとき	ベスト3まで選択					最も重視したポイント		
			全体	文系男子	理系男子	文系女子	理系女子	順位	全体	企業を選ぶとき
			1,646	272	529	382	463	1,646		
自分が成長できる環境がある	1	2	35.4%	37.9%	39.3%	28.5%	38.4%	1	14.7%	1
福利厚生制度が充実している	2	1	33.1%	28.7%	32.3%	36.6%	36.3%	2	9.9%	3
社員の人間関係が良い	3	3	28.8%	25.0%	22.7%	36.9%	30.0%	3	9.6%	2
希望する勤務地で働ける	4	5	25.6%	21.0%	23.3%	30.9%	28.3%	4	9.3%	4
給与や賞与が高い	5	4	22.7%	28.7%	27.8%	14.4%	18.8%	8	5.5%	8
企業経営が安定している	6	6	20.5%	23.5%	18.5%	19.4%	20.1%	6	7.3%	5
社会貢献度が高い	7	7	20.1%	22.8%	21.9%	18.3%	14.7%	5	8.0%	6
経営理念・企業理念に共感できる	8	8	16.4%	17.3%	11.7%	19.6%	16.2%	7	6.9%	7
業界上位である	9	11	14.9%	16.9%	19.1%	11.3%	10.6%	10	4.5%	10
企業の成長性が見込める	10	9	14.7%	14.7%	17.0%	13.4%	13.2%	9	4.8%	9
社員が親身に対応してくれる	11	10	13.5%	12.5%	8.3%	17.8%	16.0%	11	4.5%	11
技術力がある	12	12	10.9%	5.1%	25.7%	2.4%	14.5%	12	3.5%	12
国際的な仕事ができる	13	14	9.6%	11.0%	8.5%	11.3%	4.3%	13	2.5%	13
仕事を任せてもらえる	14	13	8.3%	11.0%	7.9%	6.3%	7.8%	15	2.3%	14
女性が活躍している	15	16	6.5%	0.4%	0.8%	14.7%	12.3%	18	0.9%	17
社員の話の説得力があった	16	18	6.3%	8.8%	3.2%	6.5%	6.5%	14	2.4%	18
平均勤続年数が長い	17	15	5.9%	7.7%	6.0%	5.8%	1.9%	16	1.3%	15
職種別採用がある	18	17	3.8%	2.6%	4.0%	3.9%	6.0%	17	1.0%	16
商品企画力がある	19	19	3.0%	4.4%	1.9%	2.1%	4.1%	19	0.8%	19

入社予定先企業を選択したポイントと企業を選ぶとき注目するポイント(7月)

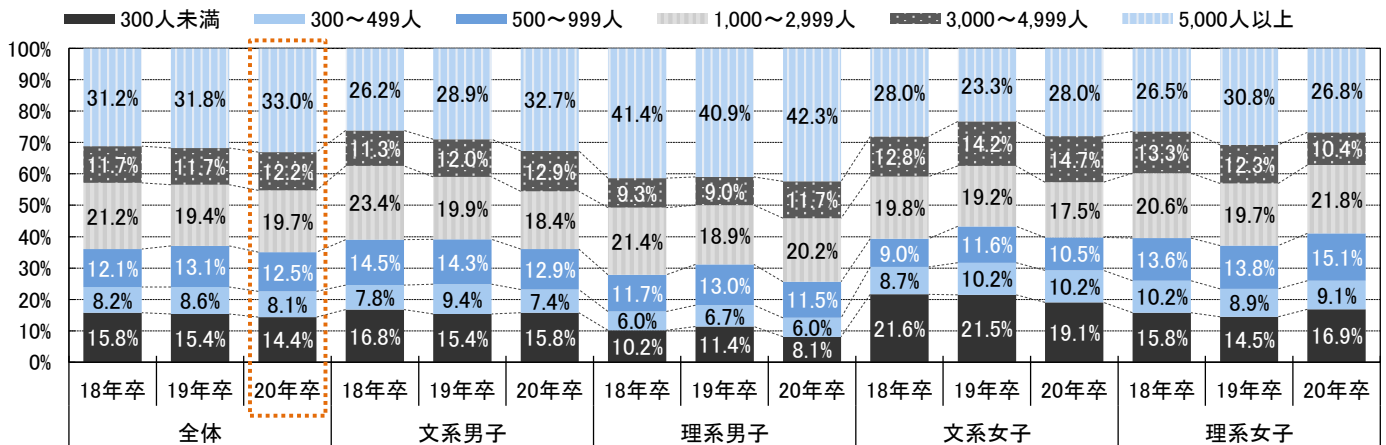
■ 入社予定先選択ポイント ■ 企業を選ぶとき注目するポイント



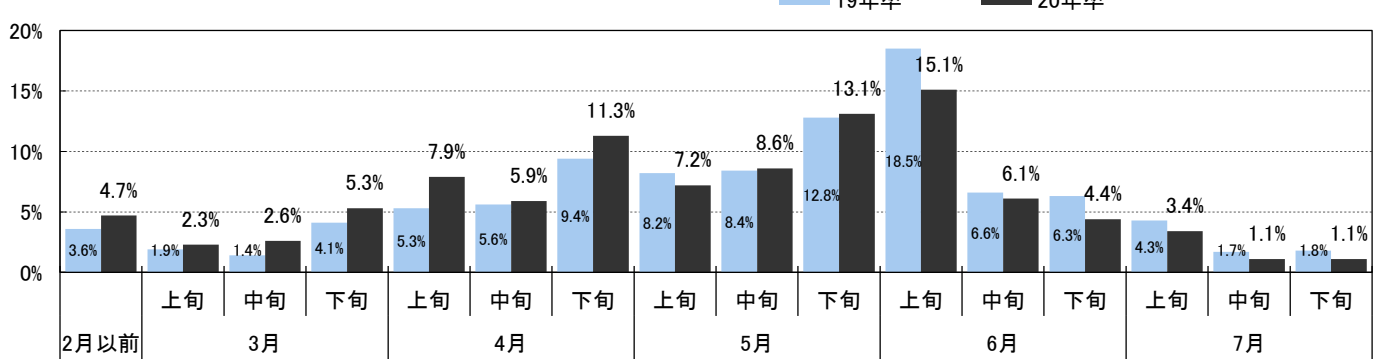
★内々定を得た企業の規模 (内々定先3,821社の分布) *各卒年の7月調査



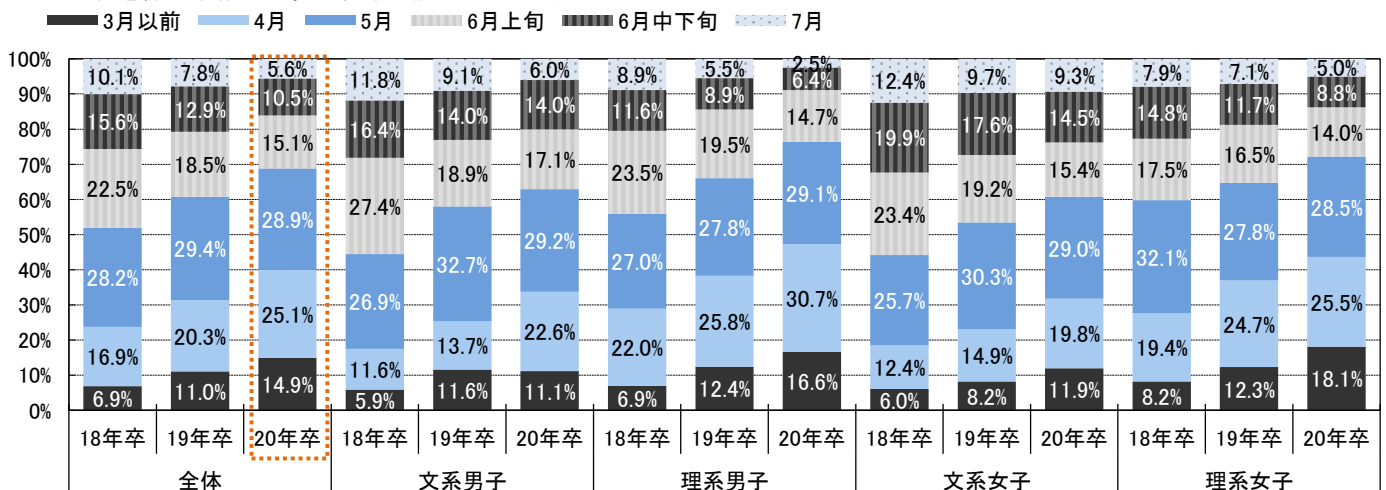
★入社予定先企業の規模 (入社予定先1,646社の分布) *各卒年の7月調査



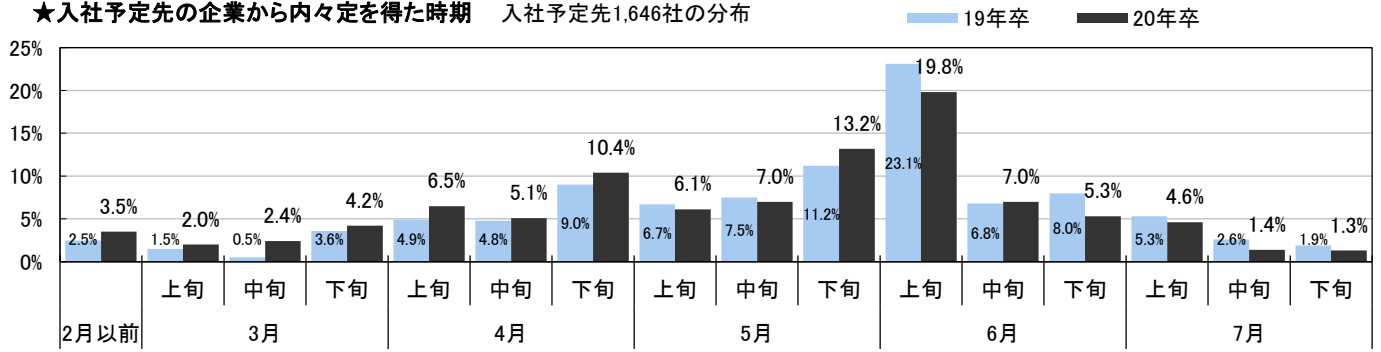
★内々定を得た時期 内々定先3,821社の分布



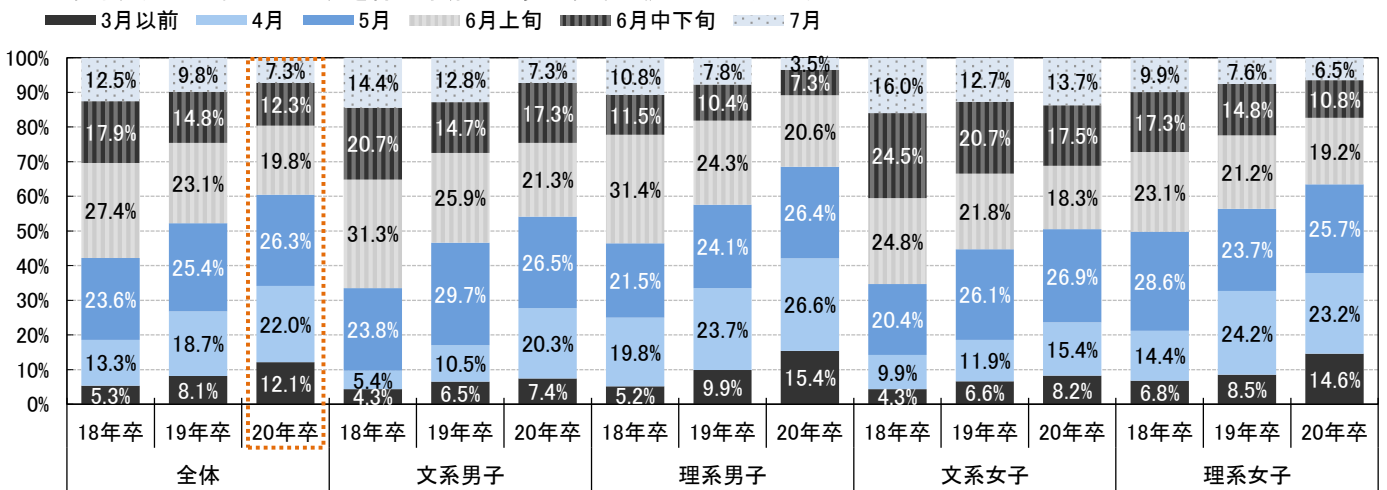
★内々定を得た時期・文理男女経年比較 内々定先3,821社の分布



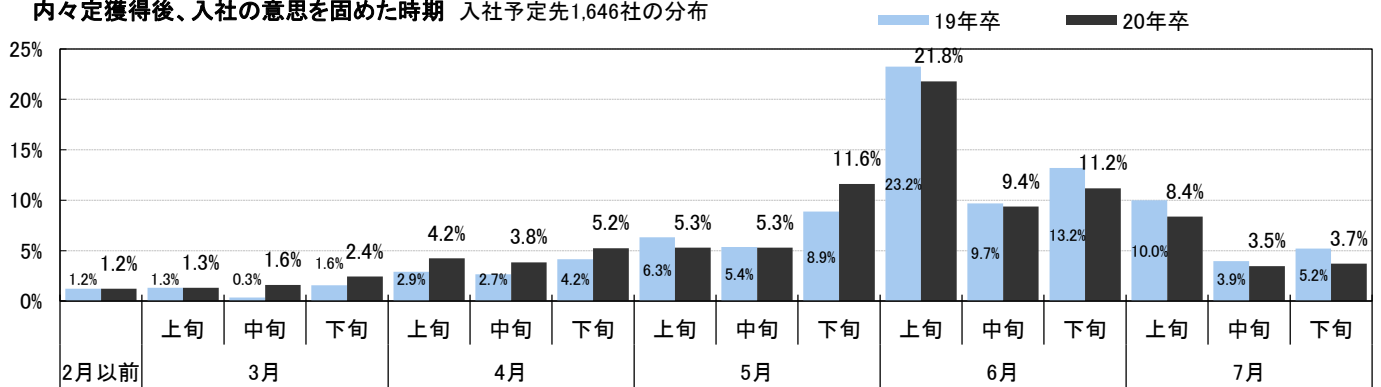
★入社予定先の企業から内々定を得た時期 入社予定先1,646社の分布



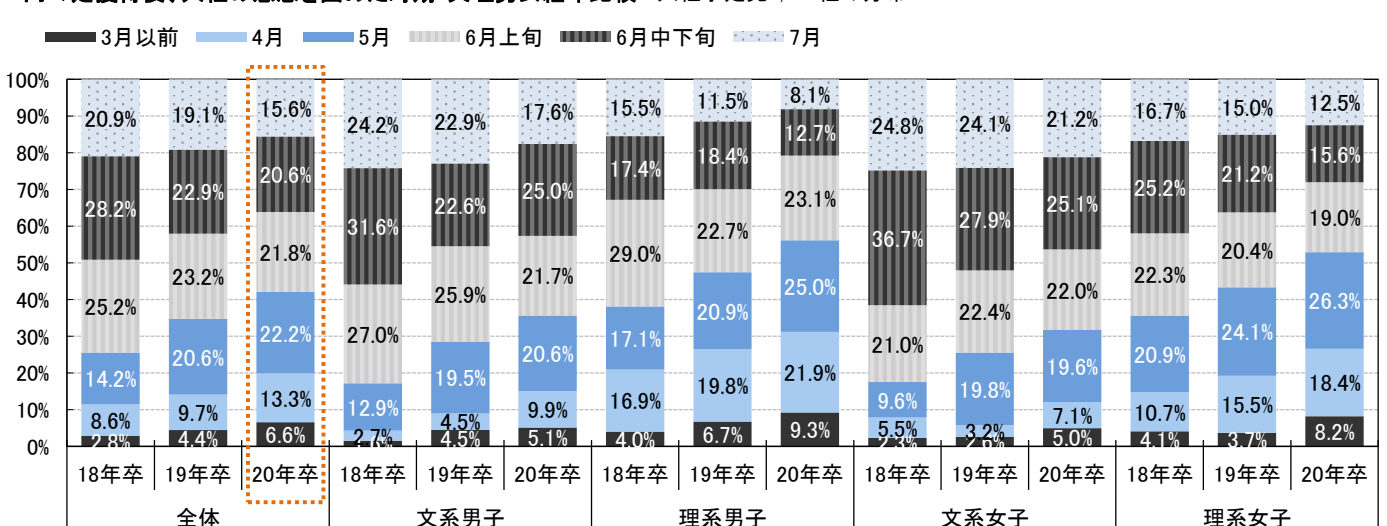
★入社予定先の企業から内々定を得た時期・文理男女経年比較 入社予定先1,646社の分布



内々定獲得後、入社を固めた時期 入社予定先1,646社の分布



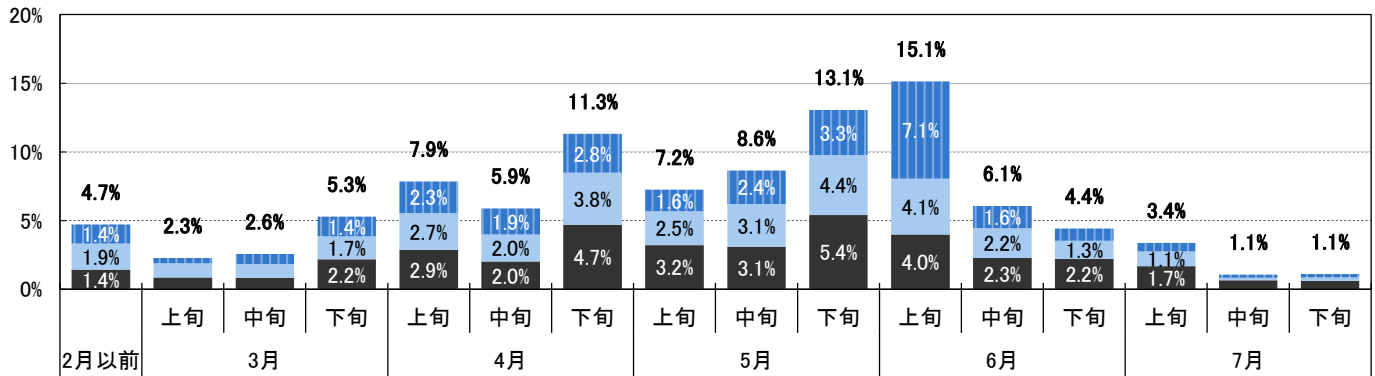
内々定獲得後、入社を固めた時期・文理男女経年比較 入社予定先1,646社の分布



★内々定を得た時期別・内々定先企業規模

内々定先3,821社の分布 ※分母は内々定先全部

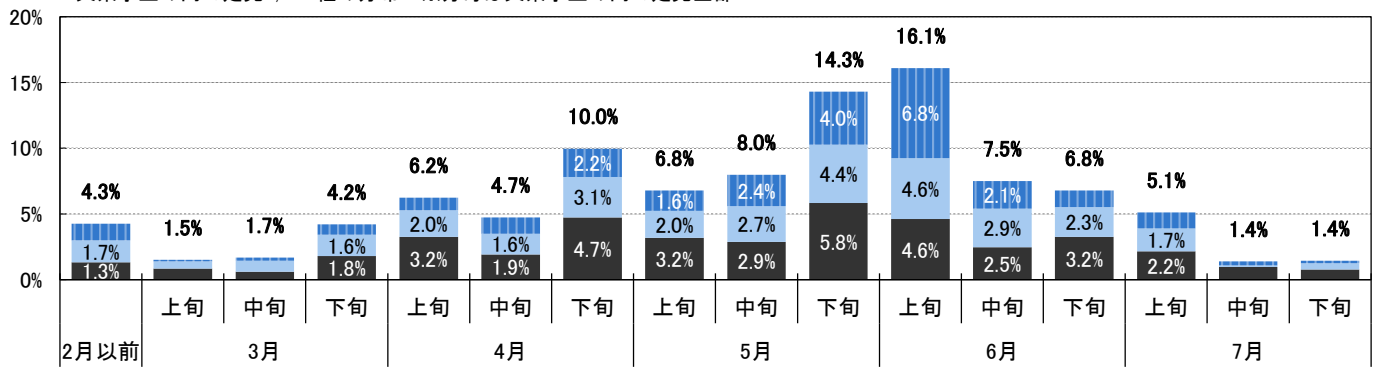
1,000人未満 1,000~4,999人 5,000人以上



★文系学生の内々定を得た時期別・内々定先企業規模

文系学生の内々定先1,665社の分布 ※分母は文系学生の内々定先全部

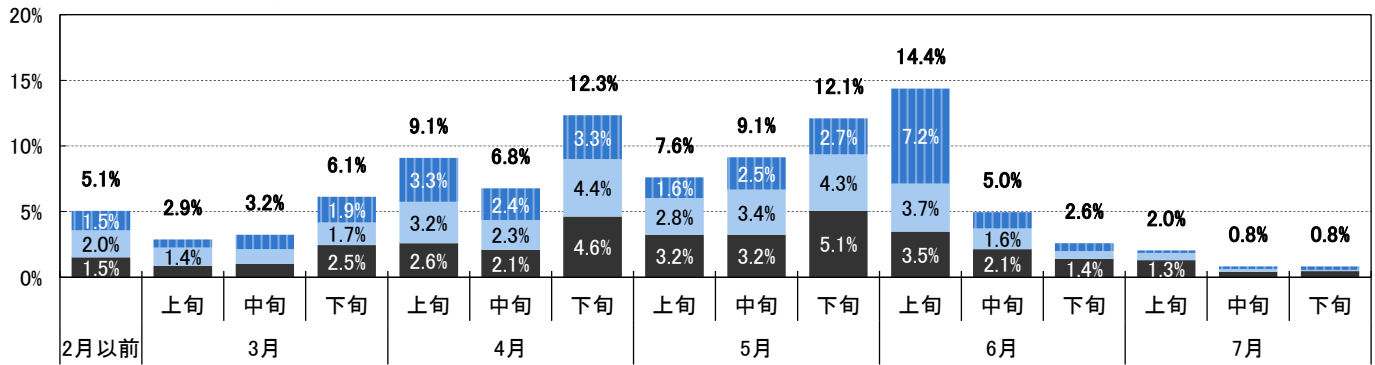
1,000人未満 1,000~4,999人 5,000人以上



★理系学生の内々定を得た時期別・内々定先企業規模

理系学生の内々定先2,156社の分布 ※分母は理系学生の内々定先全部

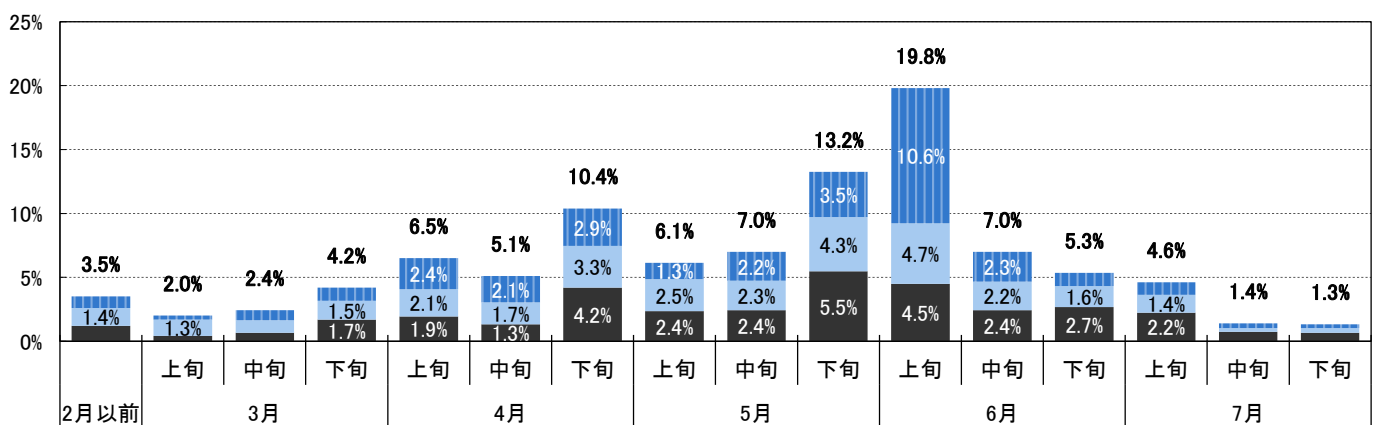
1,000人未満 1,000~4,999人 5,000人以上



★入社予定先の内々定を得た時期別・入社予定先企業規模

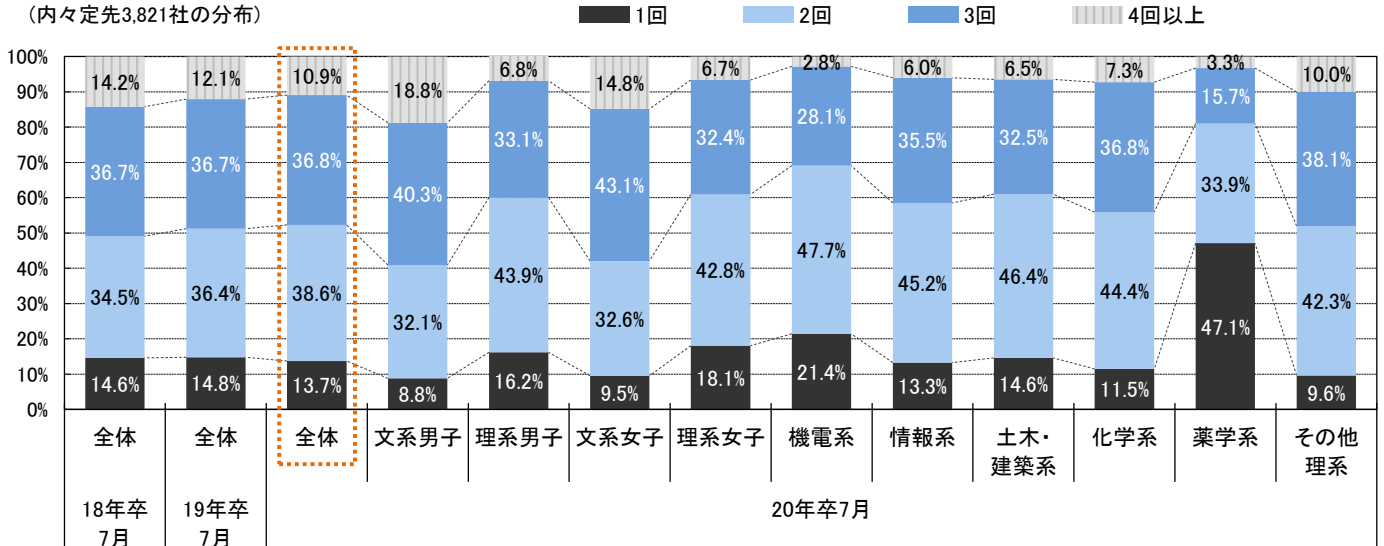
入社予定先1,646社の分布 ※分母は入社予定先全部

1,000人未満 1,000~4,999人 5,000人以上



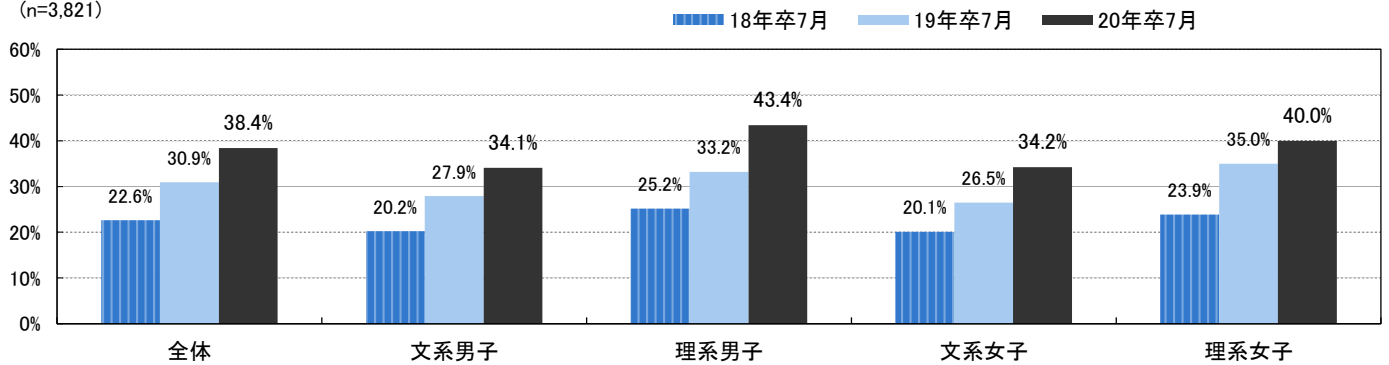
★1次面接～内々定までの選考回数

(内々定先3,821社の分布)



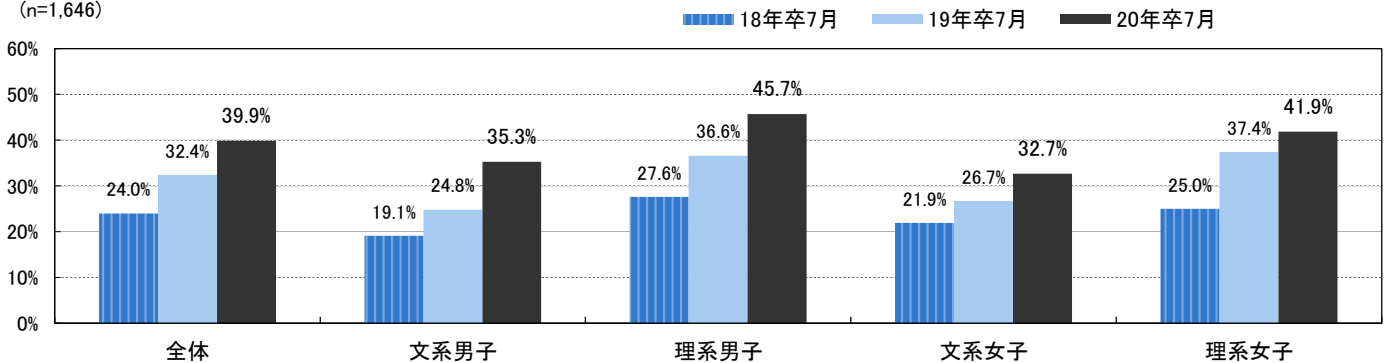
★内々定先のインターンシップに参加した割合

(n=3,821)



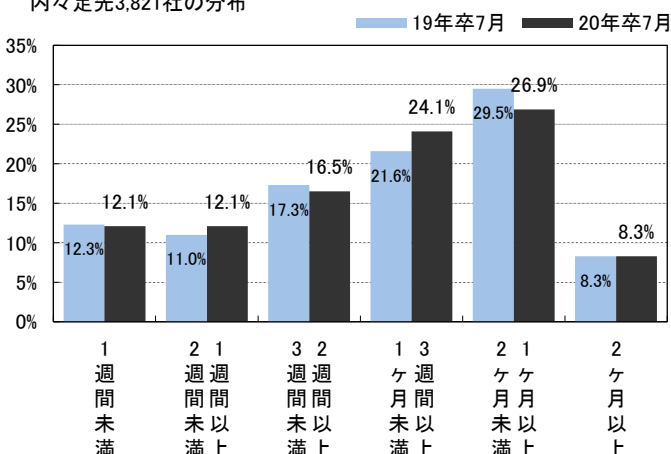
★入社予定先のインターンシップに参加した割合

(n=1,646)



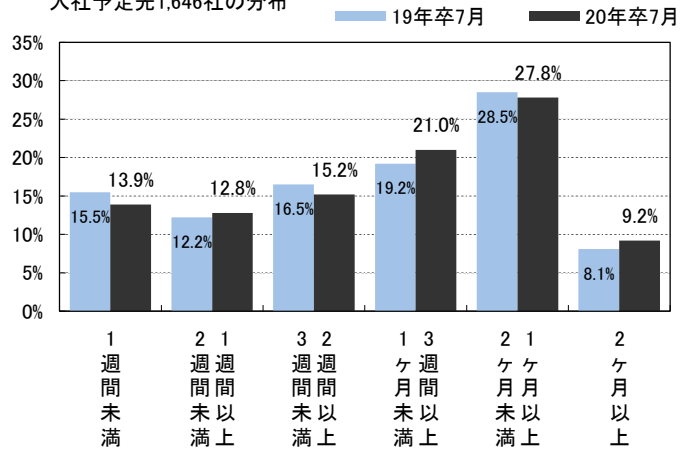
★内々定先の1次面接を受けてから 内々定をもらうまでの期間

内々定先3,821社の分布



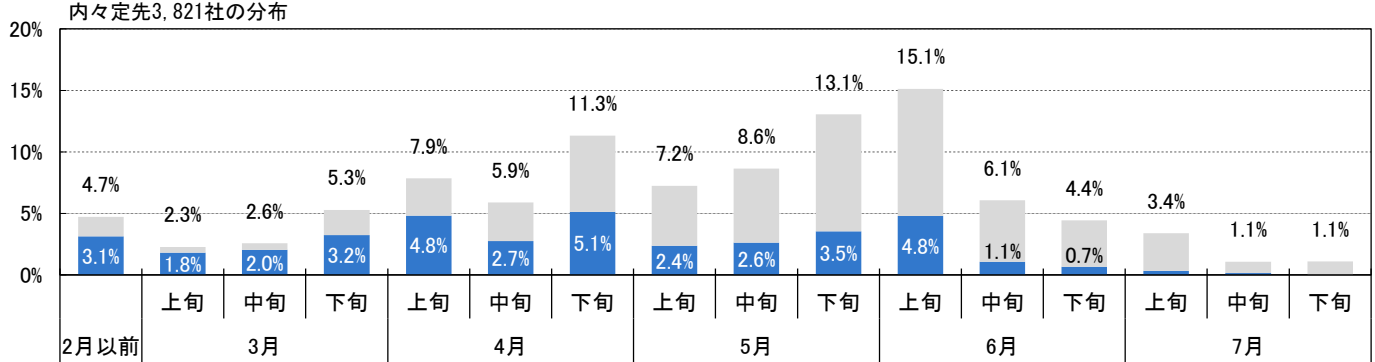
★入社予定先の1次面接を受けてから 内々定をもらうまでの期間

入社予定先1,646社の分布

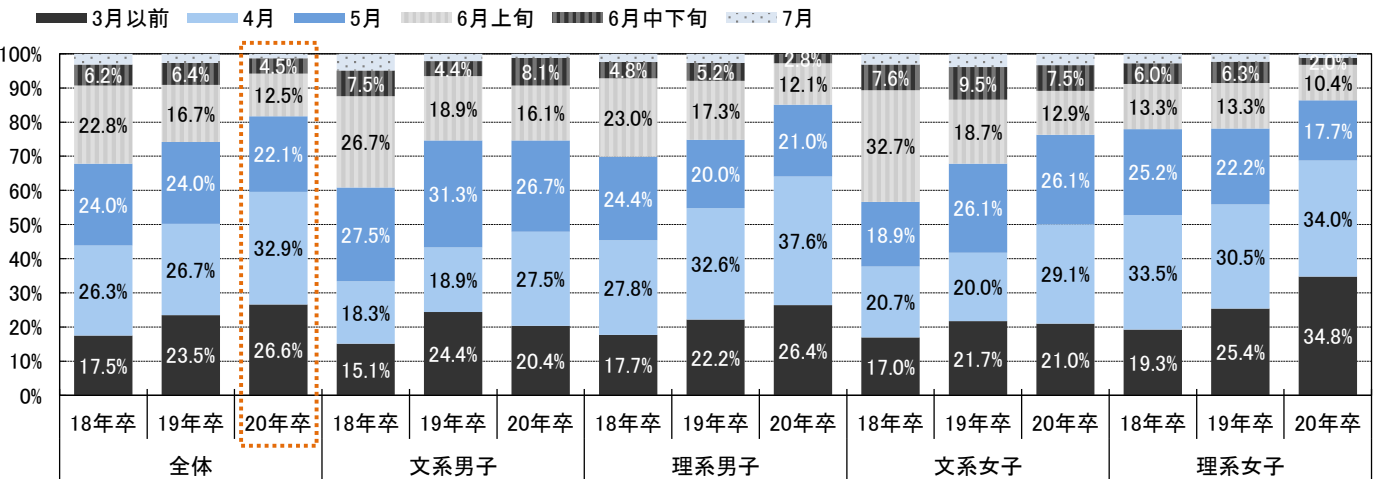


※グラフ上の黒数字 = その時期に得た内々定の数 / すべての内々定数

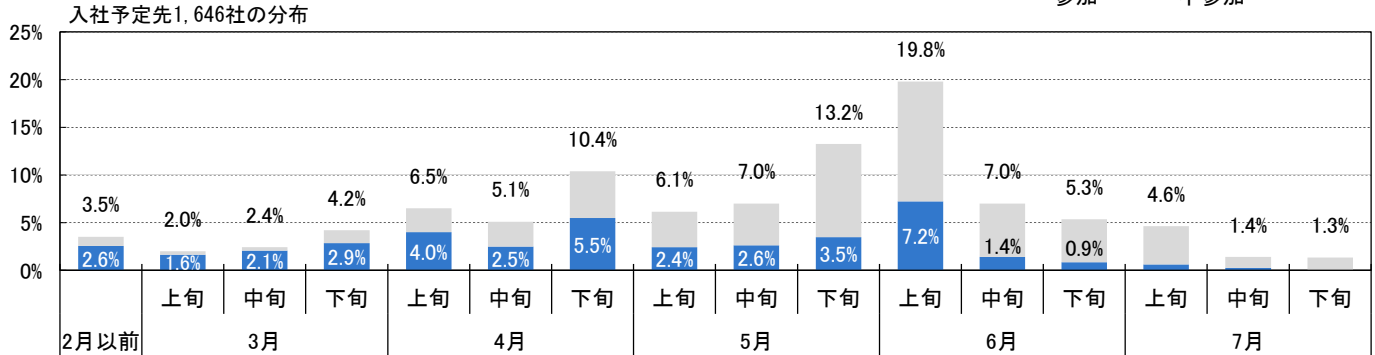
★内々定を得た時期別・その企業のインターンシップに参加していた割合



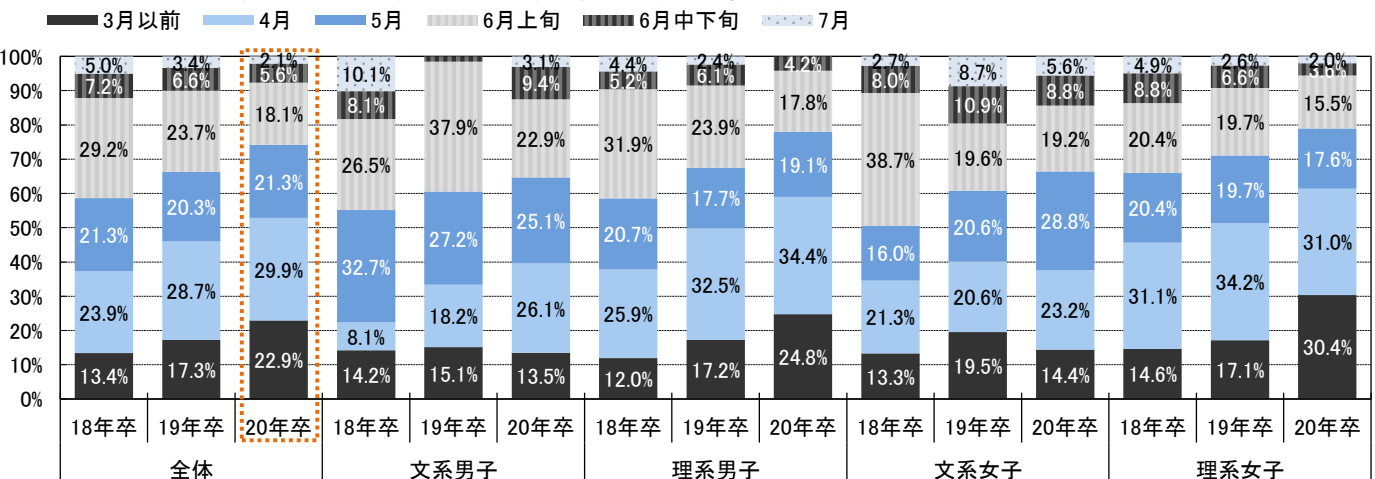
★インターンシップに参加した企業から内々定を得た時期・文理男女経年比較



★入社予定先の内々定を得た時期別・その企業のインターンシップに参加していた割合

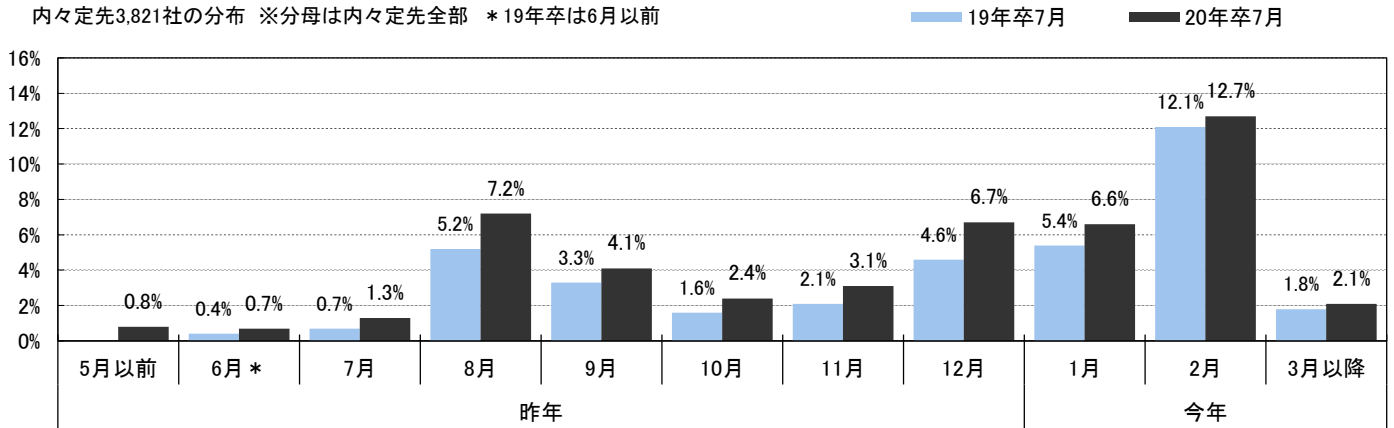


★インターンシップ参加した入社予定先から内々定を得た時期・文理男女経年比較



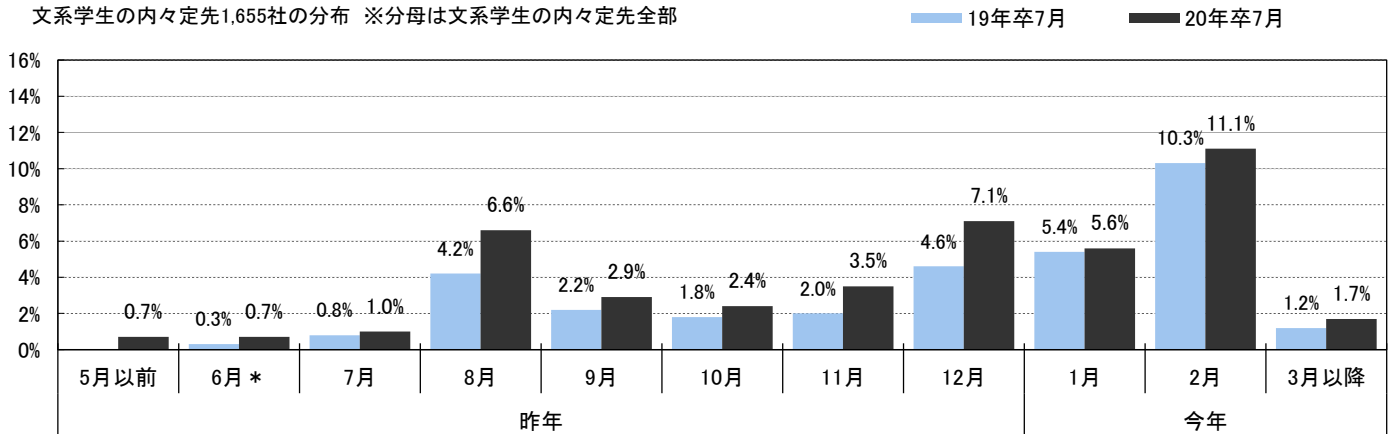
★内々定先のインターンシップに参加した時期【複数回答】

内々定先3,821社の分布 ※分母は内々定先全部 *19年卒は6月以前



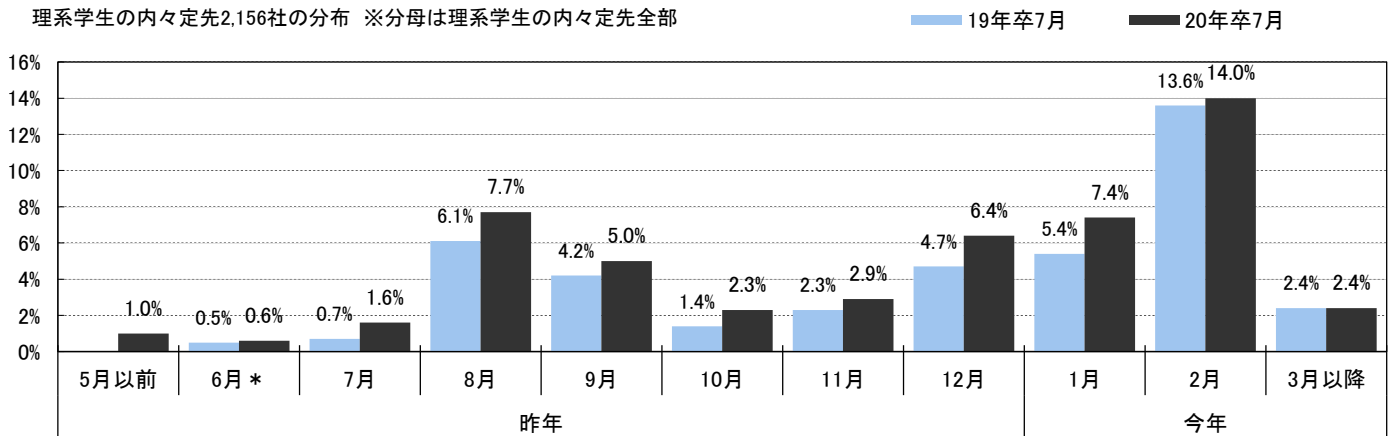
★文系学生が内々定先のインターンシップに参加した時期【複数回答】

文系学生の内々定先1,655社の分布 ※分母は文系学生の内々定先全部



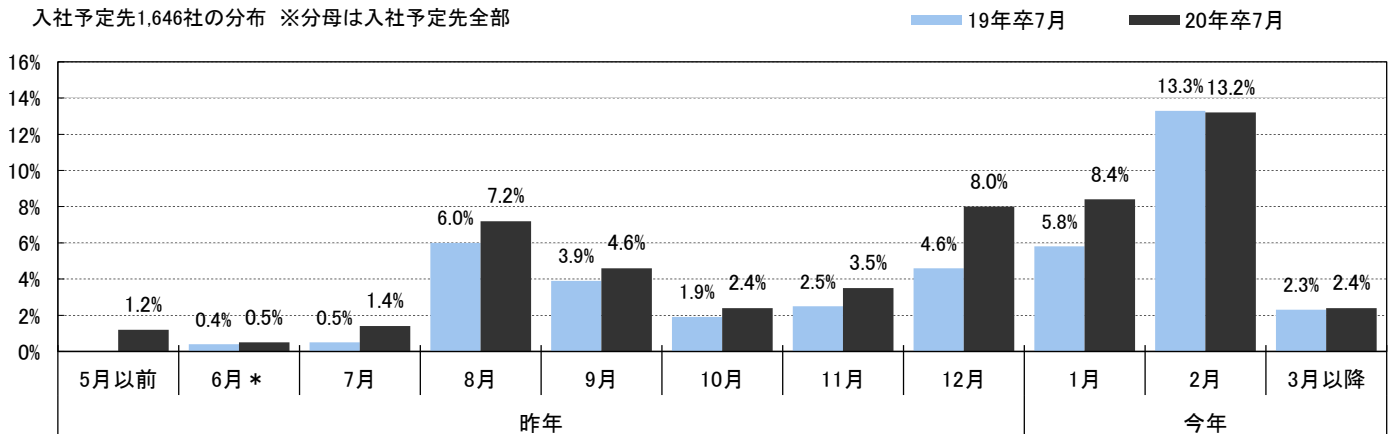
★理系学生が内々定先のインターンシップに参加した時期【複数回答】

理系学生の内々定先2,156社の分布 ※分母は理系学生の内々定先全部

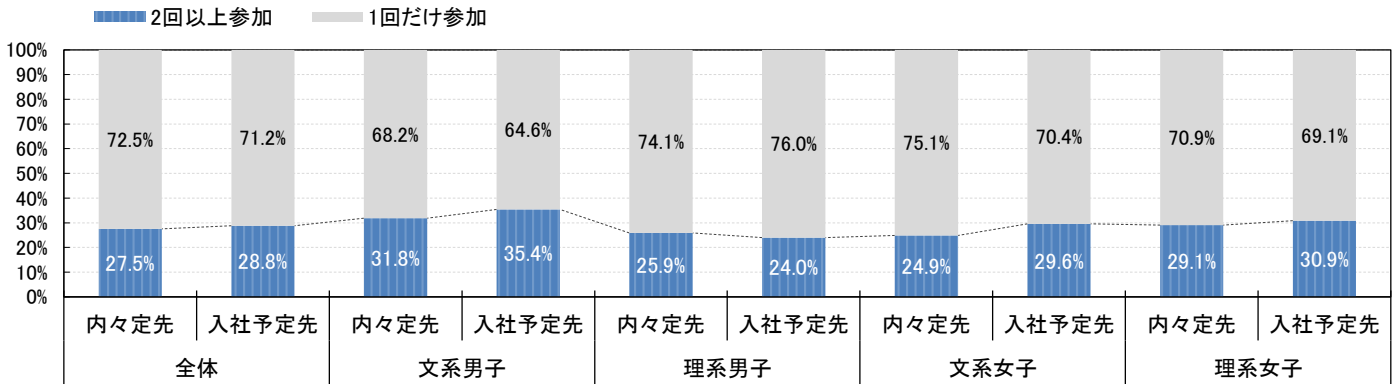


★入社予定先のインターンシップに参加した時期【複数回答】

入社予定先1,646社の分布 ※分母は入社予定先全部

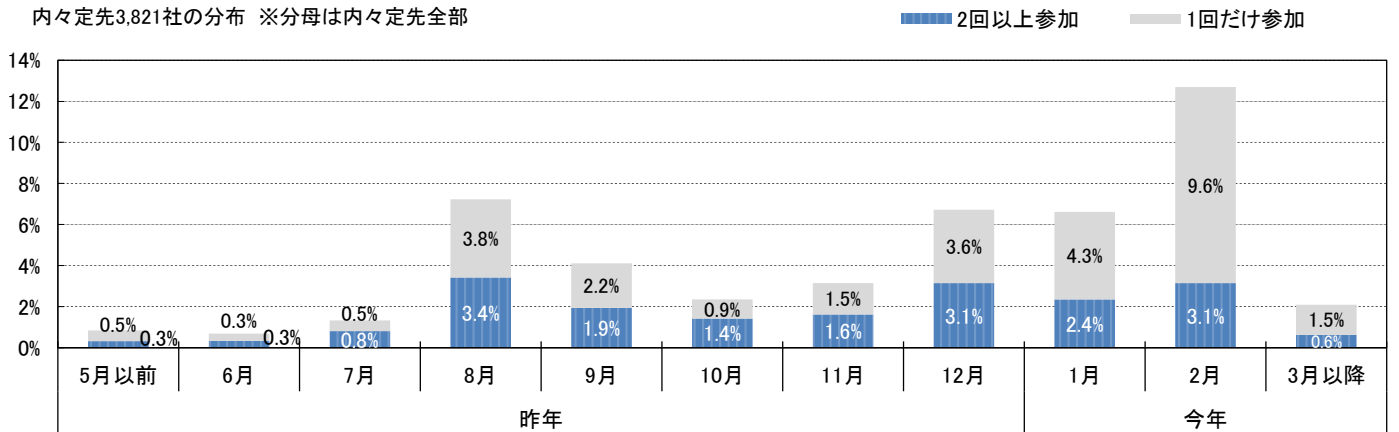


★内々定先の企業のインターンシップに2回以上参加したか 分母はインターンシップに参加した内々定先1,469社、入社予定先657社



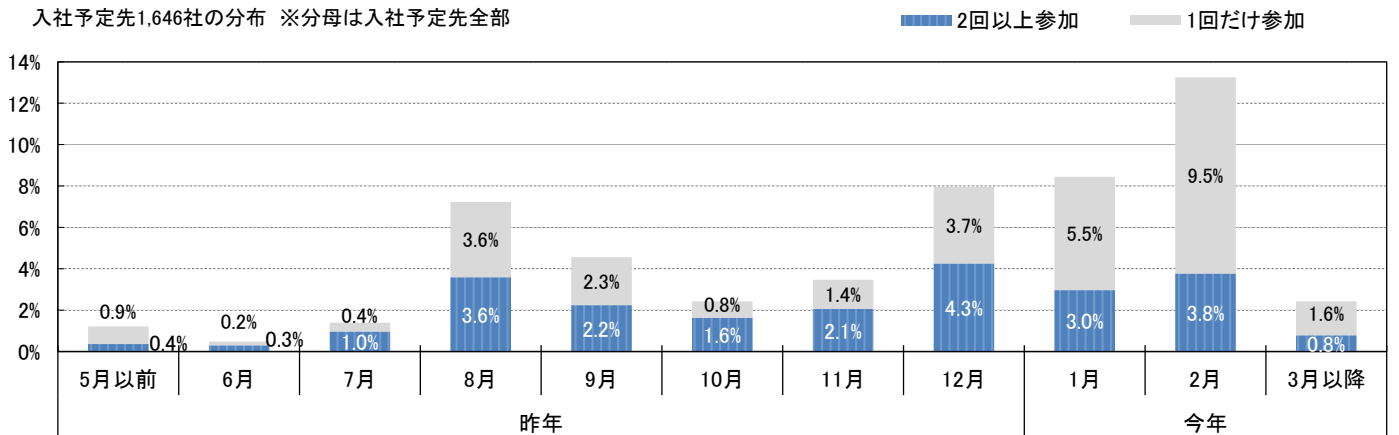
★内々定先の企業のインターンシップに2回以上参加したか×参加した月【複数回答】

内々定先3,821社の分布 ※分母は内々定先全部



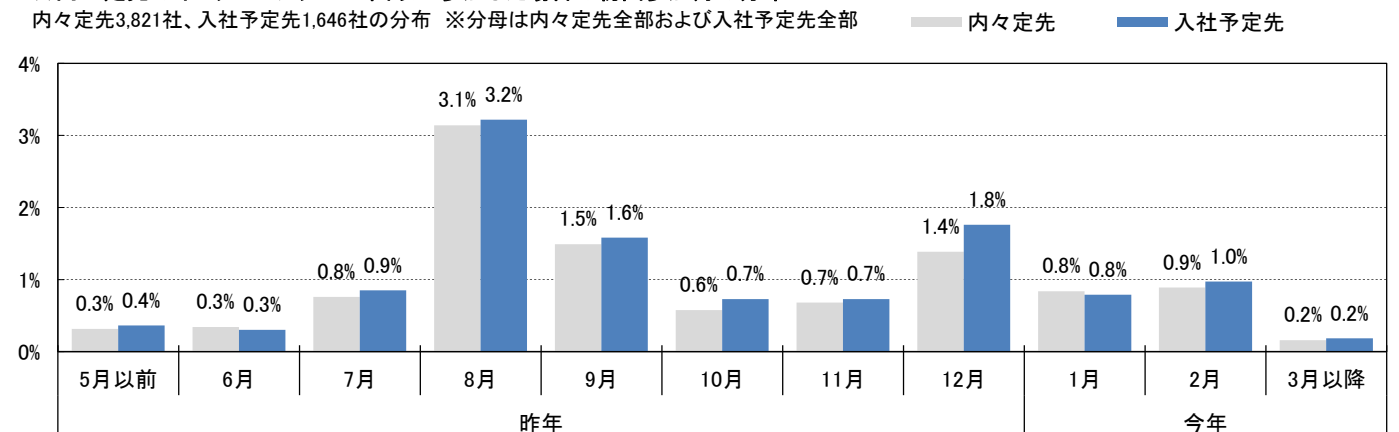
★入社予定先の企業のインターンシップに2回以上参加したか×参加した月【複数回答】

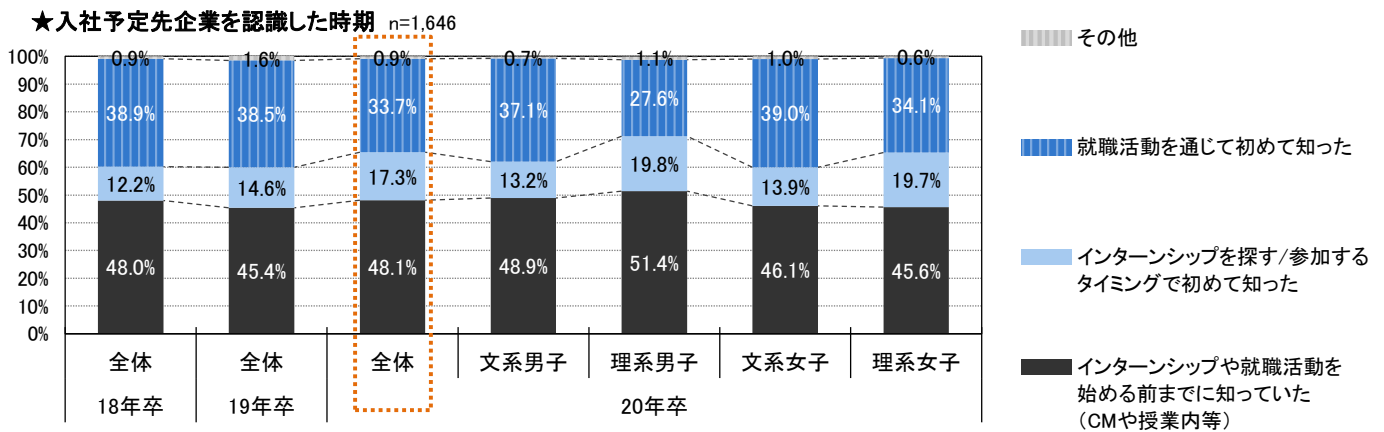
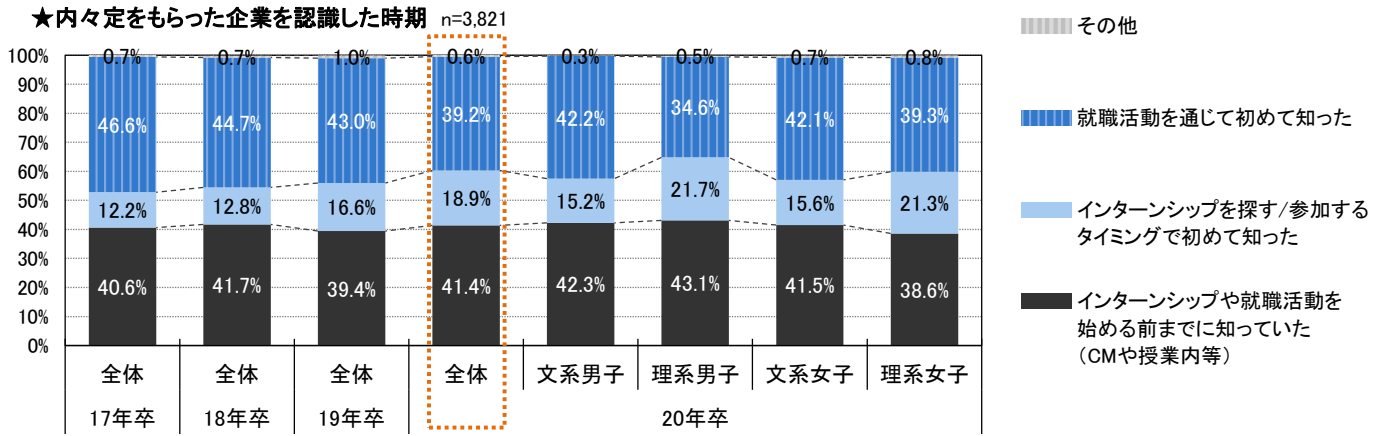
入社予定先1,646社の分布 ※分母は入社予定先全部



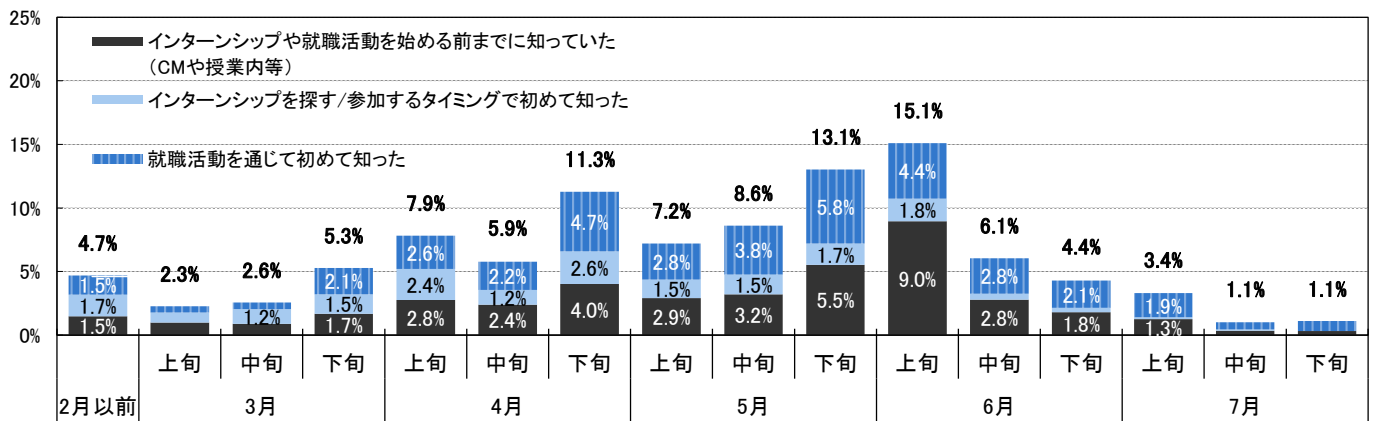
★内々定先のインターンシップに2回以上参加した場合の初回参加月の分布

内々定先3,821社、入社予定先1,646社の分布 ※分母は内々定先全部および入社予定先全部

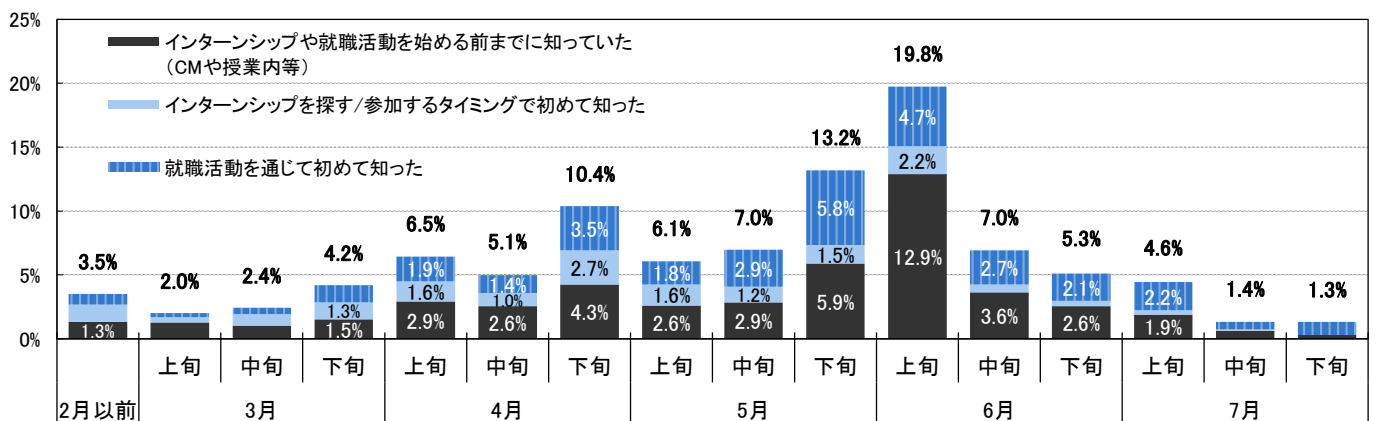




★内々定を得た時期別・企業を認識した時期
内々定先3,821社の分布 ※分母は内々定先全部



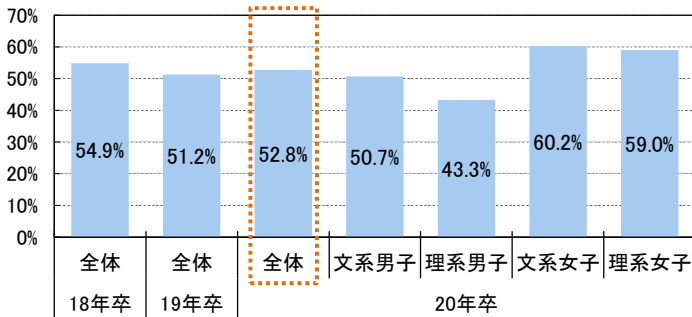
★入社予定先の内々定を得た時期別・企業を認識した時期
内々定先1,646社の分布 ※分母は入社予定先全部



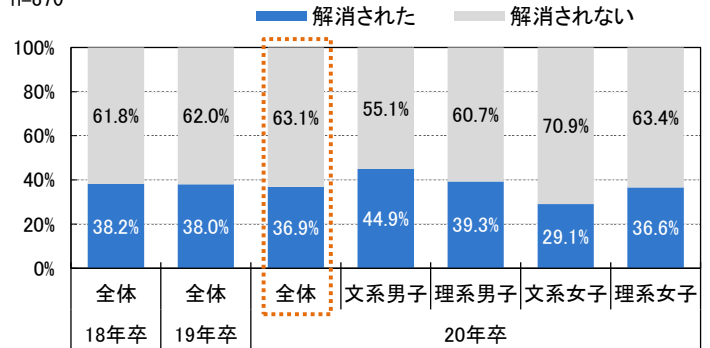
■5: 入社予定先企業を決めるにあたって

入社予定企業を決めたあとと不安になったことがある学生の割合は52.8%（前年比1.6pt増）だった。不安になった理由で最も多かったのは「この会社できちんと勤まるかどうか」の34.3%だった。不安は解消されたか聞いたところ、解消されたのは36.9%だった。不安が解消されない学生に「もしこうだったら不安は解消されたのと思うこと」を聞いたところ、最も割合が高かったのは「待遇面での不満が解消される（22.6%、前年比6.6pt増）」だった。入社予定先企業から「保護者が入社を承諾しているか」について確認されたことがあるか聞いたところ、「確認されたことがある」学生の割合は全体で26.4%（前年比0.5pt減）だった。入社予定先企業の業種別では、小売（36.1%）や金融（35.3%）の割合がやや高かった。

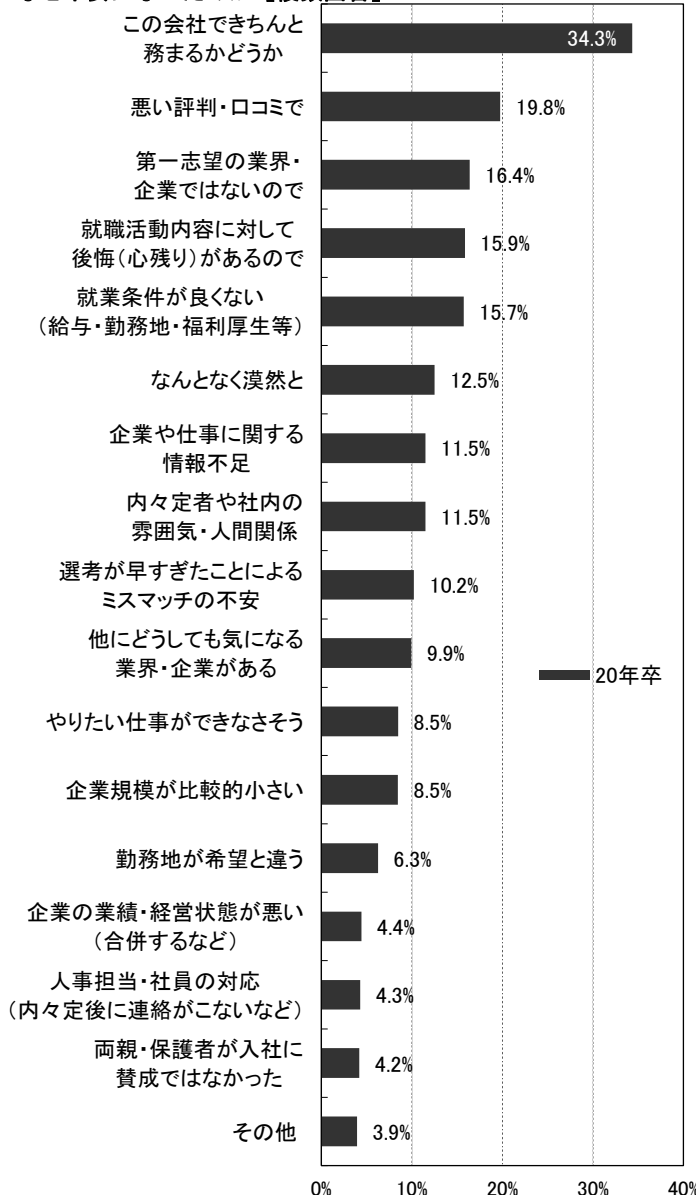
入社予定企業を決めたあとに、「本当にこの会社でいいのか」と不安になったことがある学生の割合 n=1,646



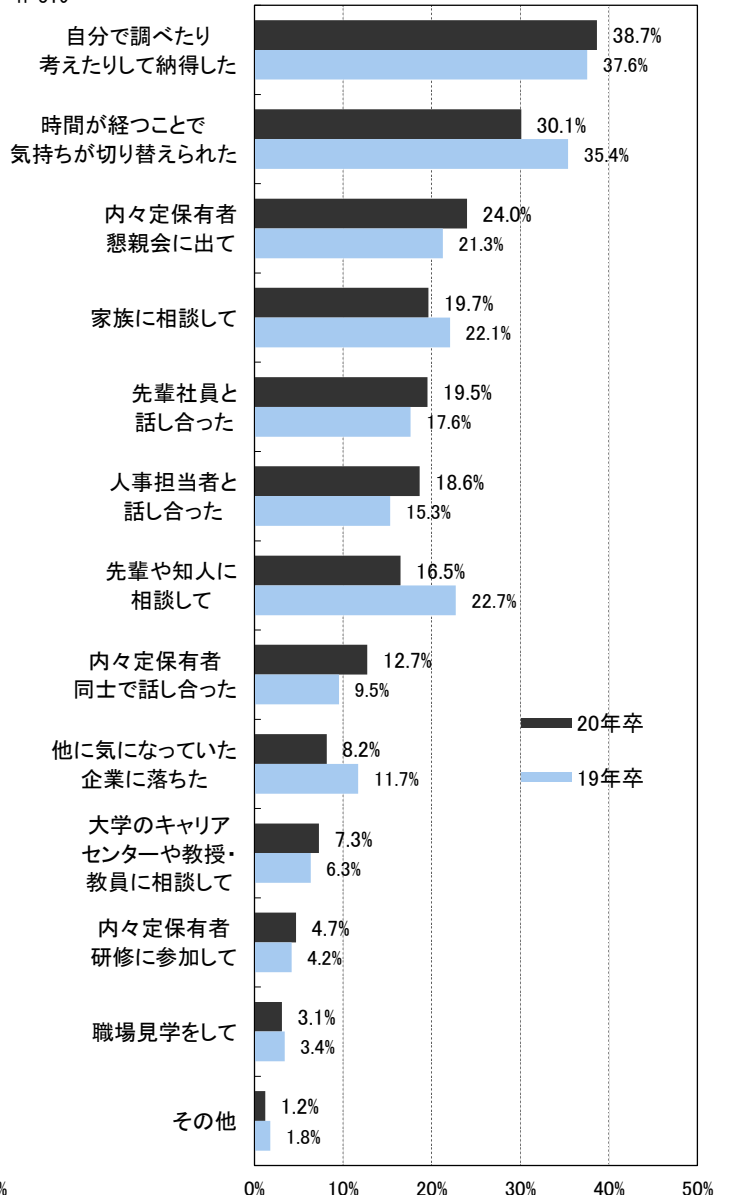
不安になったことがある学生：不安は解消されたか n=870



不安になったことがある学生：なぜ不安になったのか【複数回答】 n=870

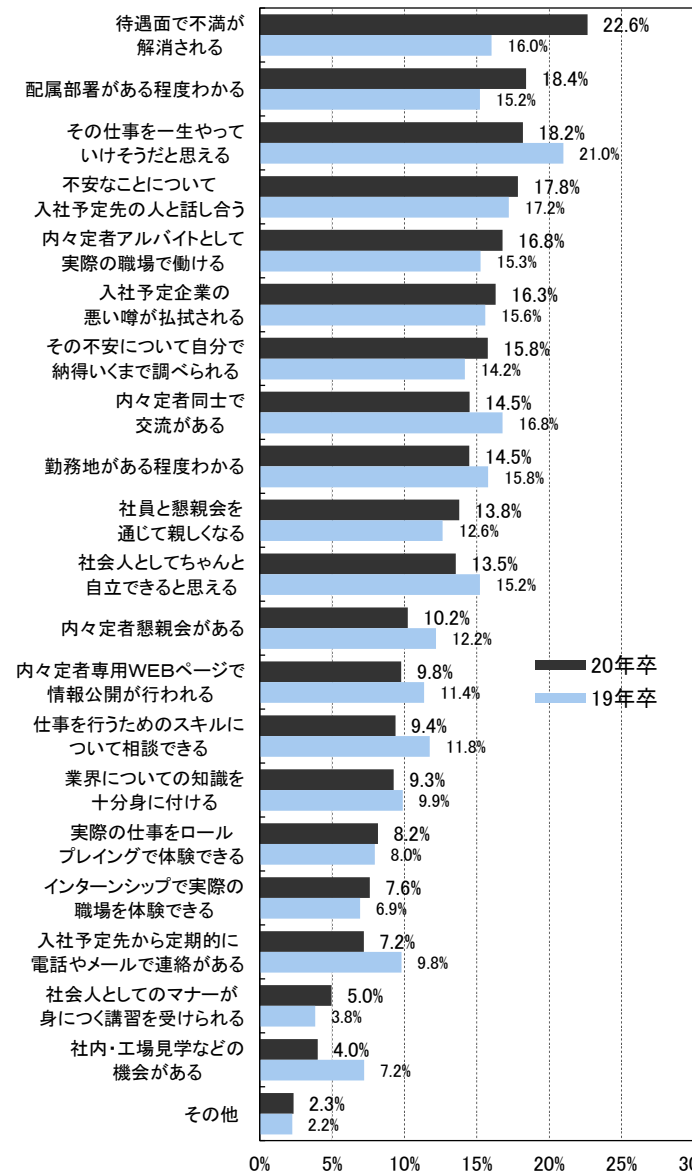


不安が解消された学生：不安が解消された理由【複数回答】 n=319

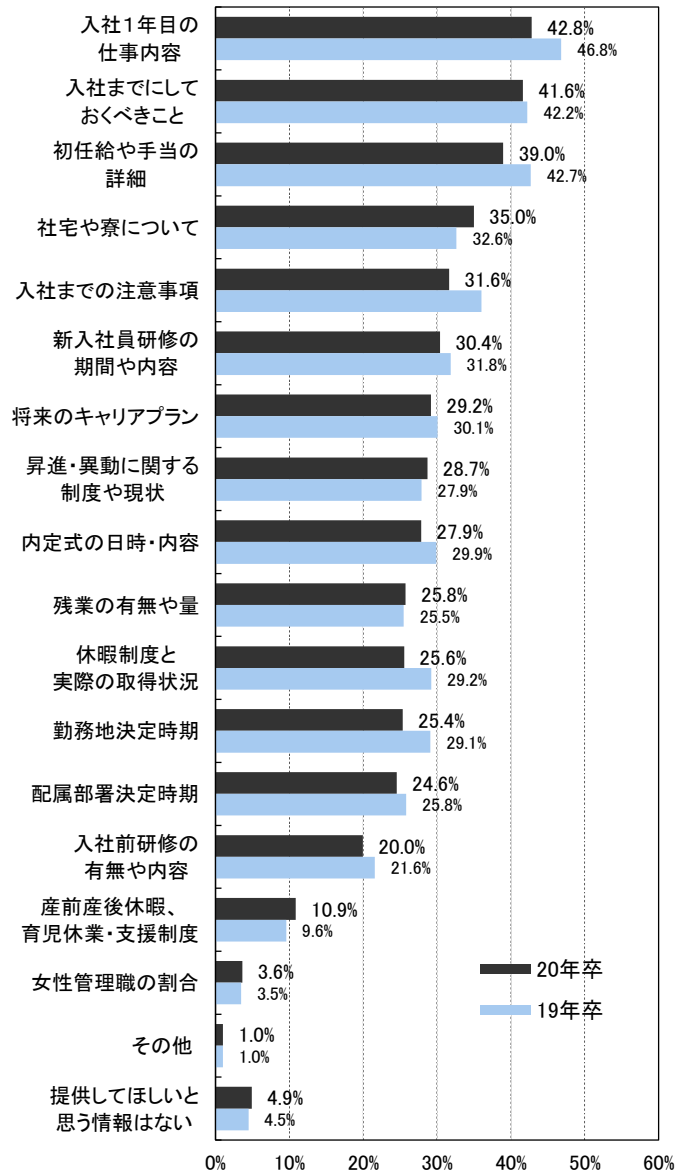


不安が解消されない学生のみ n=551

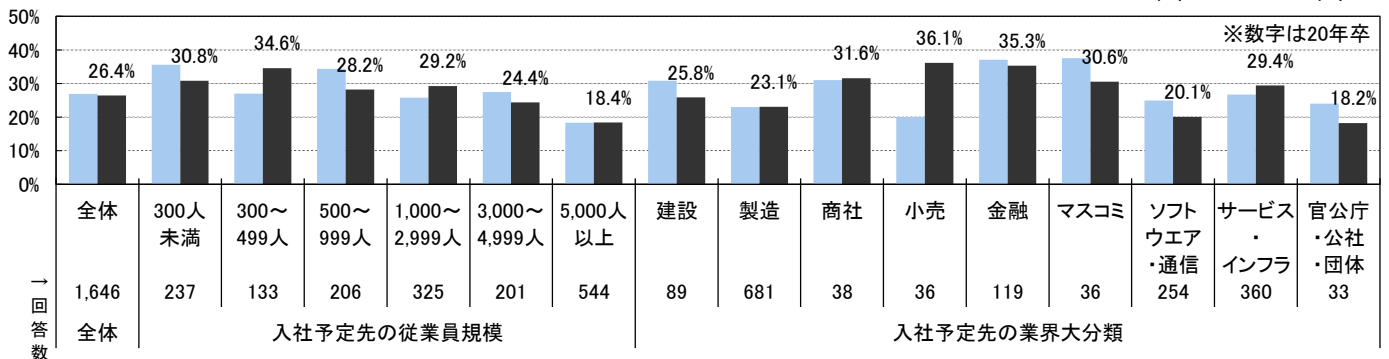
「もしこうだったら『この会社でいいのか』という不安は解消されたのにと」思うこと【複数回答】



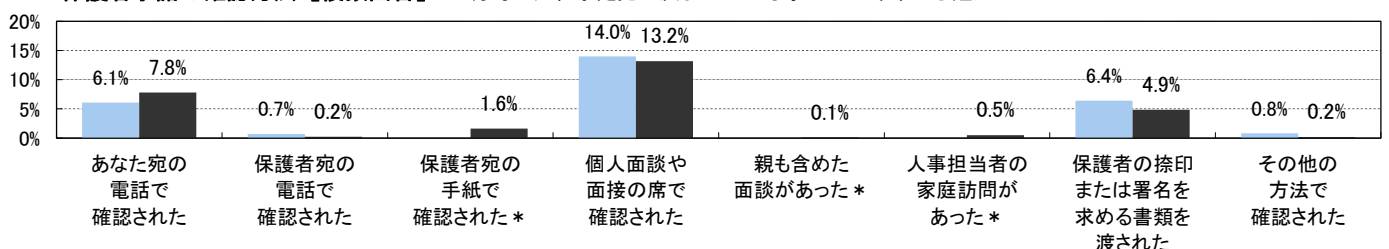
入社予定先から「今」提供してほしいと思う情報【複数回答】 n=1,646



入社予定先企業から保護者が入社を承諾しているかについて確認されたことがある割合 n=1,646

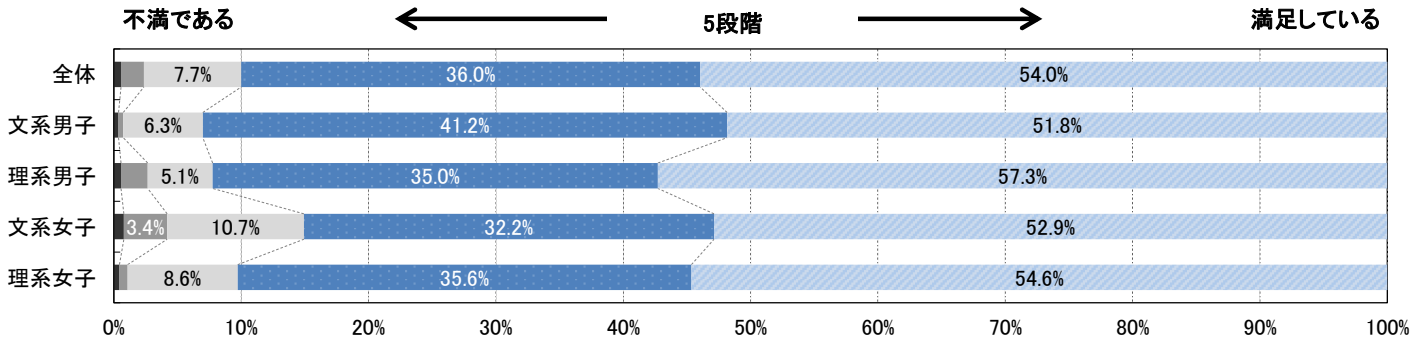


保護者承諾の確認方法【複数回答】 ※分母は入社予定先が決まっている学生 *今年から追加



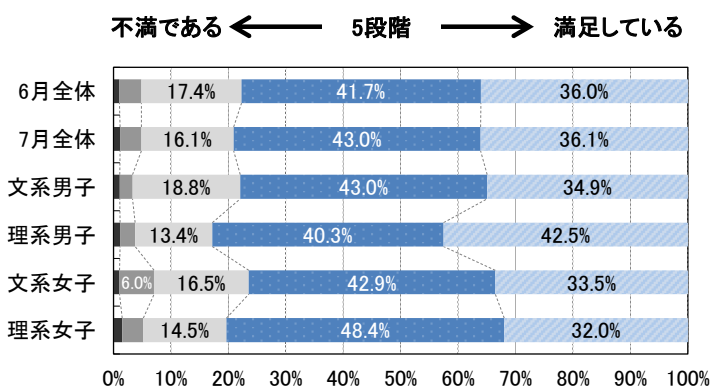
【企業の総合的満足度】

入社予定先の企業について、総合的に考えた満足度



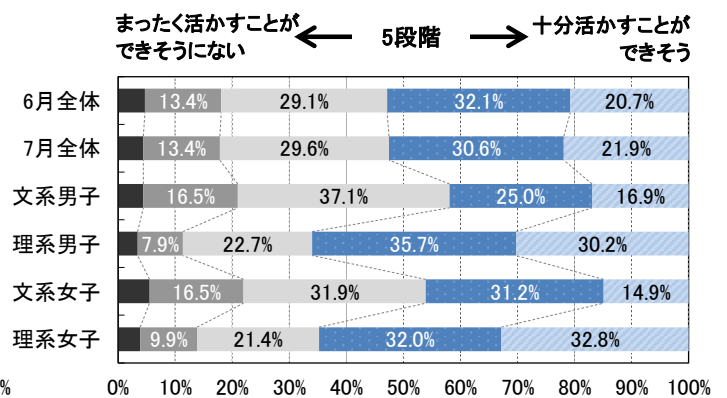
【就業条件、職場環境の満足度】

入社予定先の給与、福利厚生、休日休暇、残業時間について



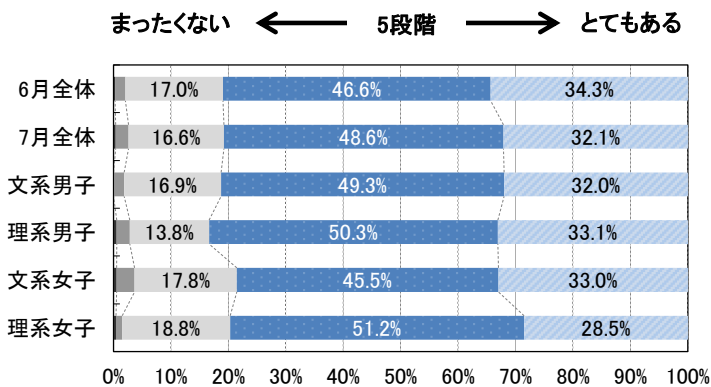
【能力を活かせるか】

入社予定先の企業では、大学や大学院で学んだことや、卒業までに取得する予定の資格、その他今持っている能力を活かせるか



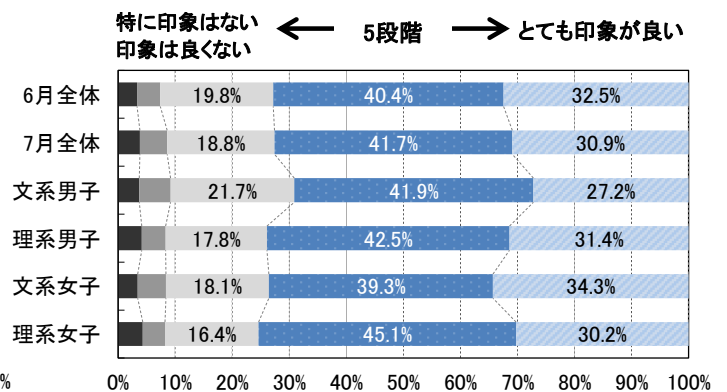
【社員の印象と帰属感】

入社予定先の企業の社員の印象から、その企業が自分に合っているという実感はあるか



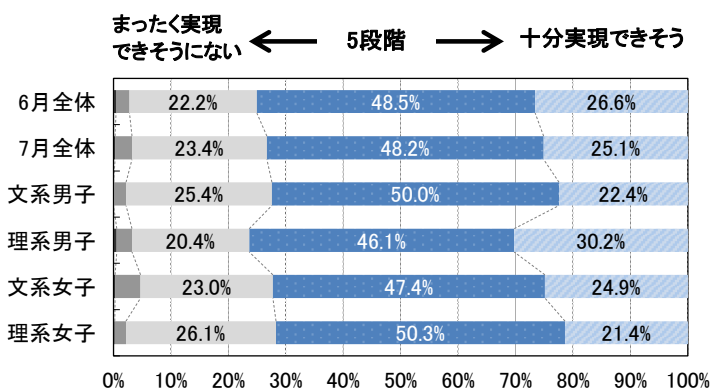
【経営者の印象】

入社予定先の企業の社長、役員、経営者の印象について



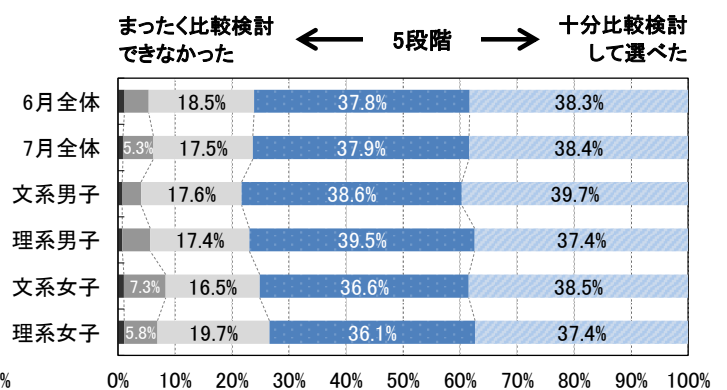
【将来のキャリア展望】

入社予定先の企業で働くことで、理想とする将来のキャリアプランを実現できそうか

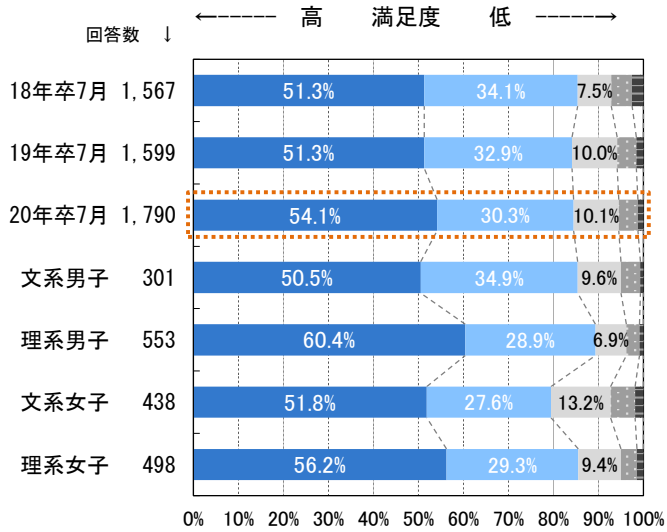


【比較検討】

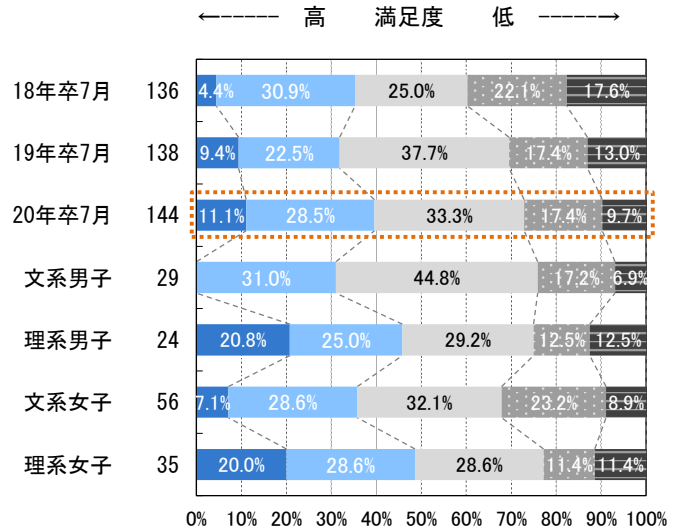
入社予定先の企業は、企業研究やセミナー参加、インターンシップや選考受験を通じて、十分な選択肢の中から比較検討して選べたか



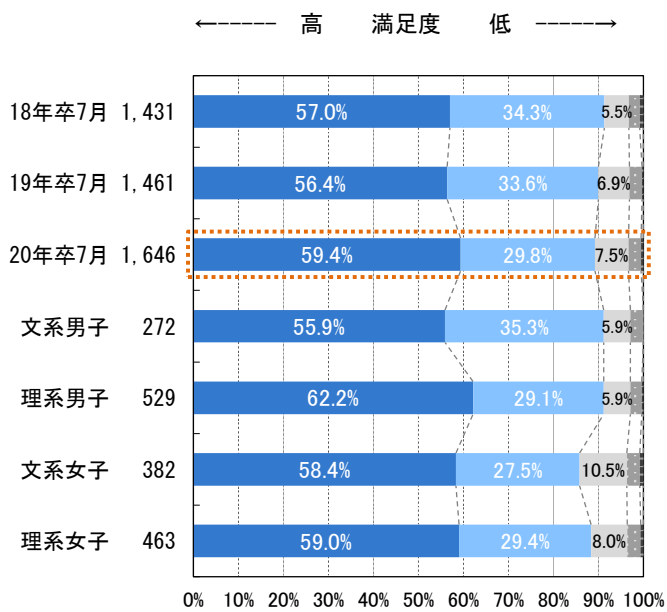
内々定先満足度



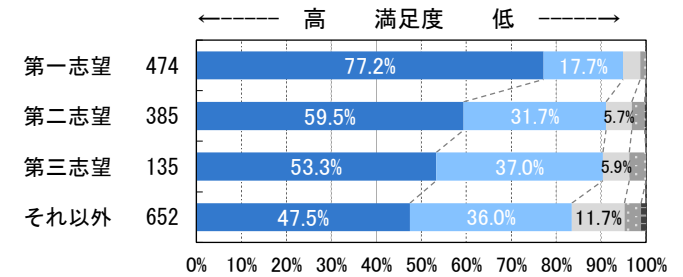
入社予定先未決定者の内々定先満足度



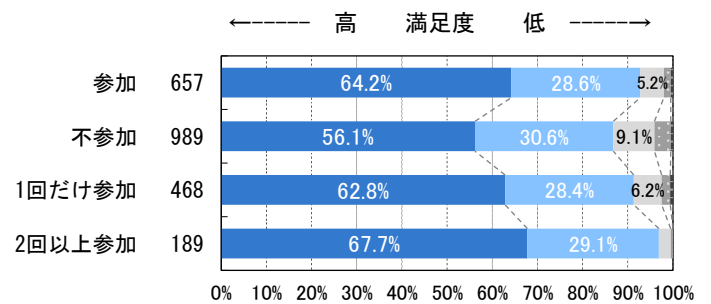
入社予定先が決まっている学生の内々定先満足度



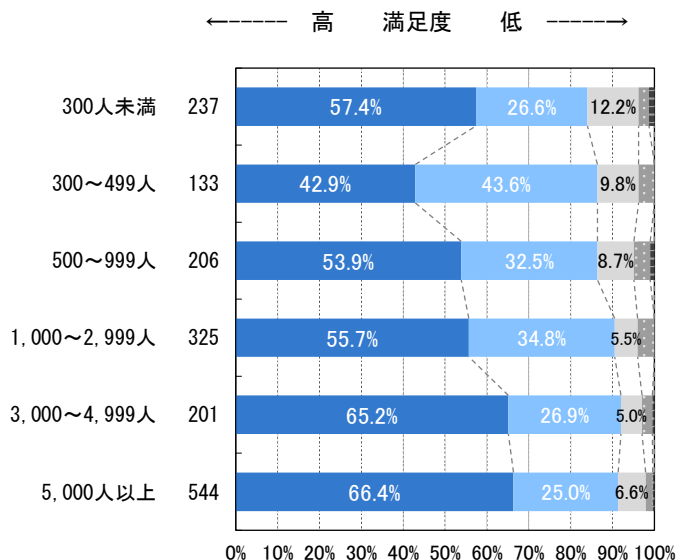
入社予定先当初志望度別満足度



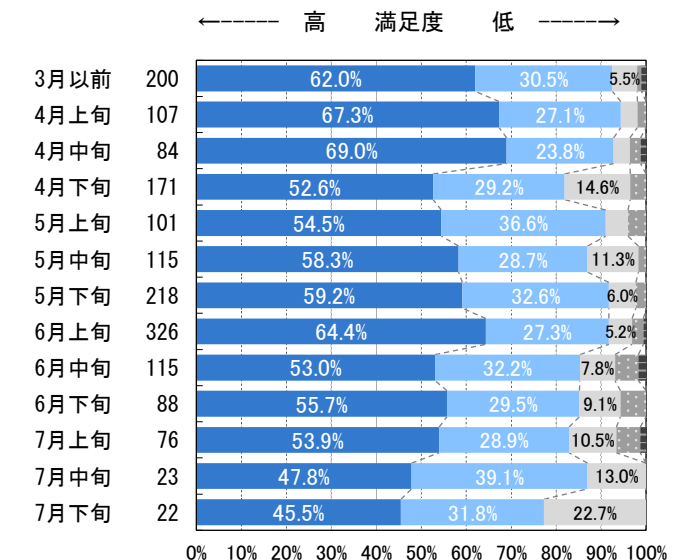
入社予定先のインターンシップ参加不参加参加回数別満足度



入社予定先従業員規模別満足度



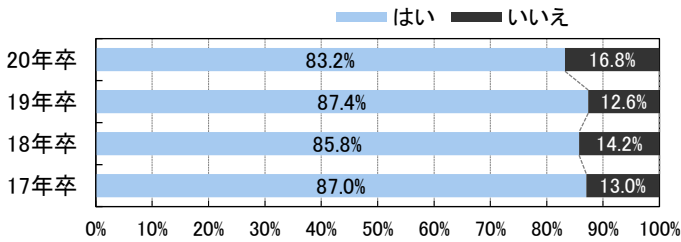
入社予定先内々定獲得時期別満足度



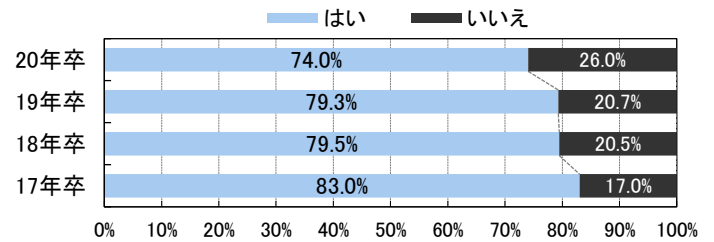
■6: 内々定後の企業との接触について

内々定後、企業と接触をもった学生は83.2%（前年比4.2pt減）だった。接触内容は「内定者懇親会（51.0%）」が最も多かった。実際にあった企業との接触のうち、入社しようという気持ちが高まったものを訊いたところ、接触があった学生の23.5%が「内定者懇親会」を挙げた。その他、「先輩社員との懇親会（7.5%）」や「人事や先輩社員との個人面談（5.2%）」など、社員と直接話をする機会を経ることで入社しようという気持ちが高まったという学生が多かったようだ。

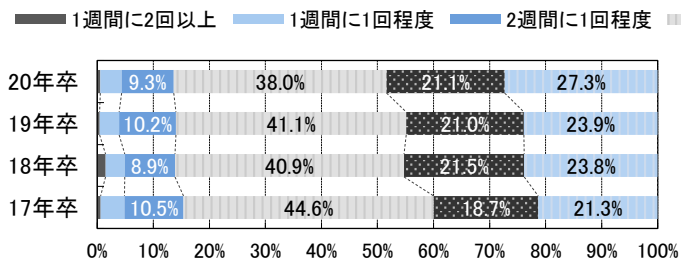
内々定後、企業と接触をもったか n=1,790



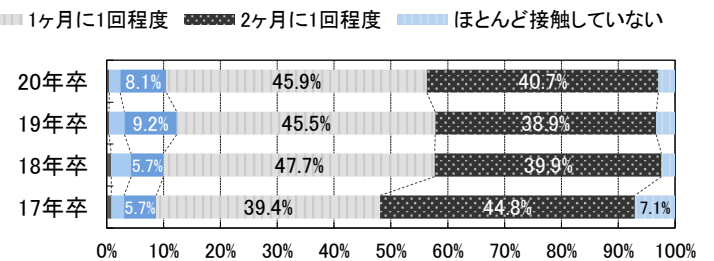
入社までに内々定者フォロー・内々定者研修を希望するか n=1,790



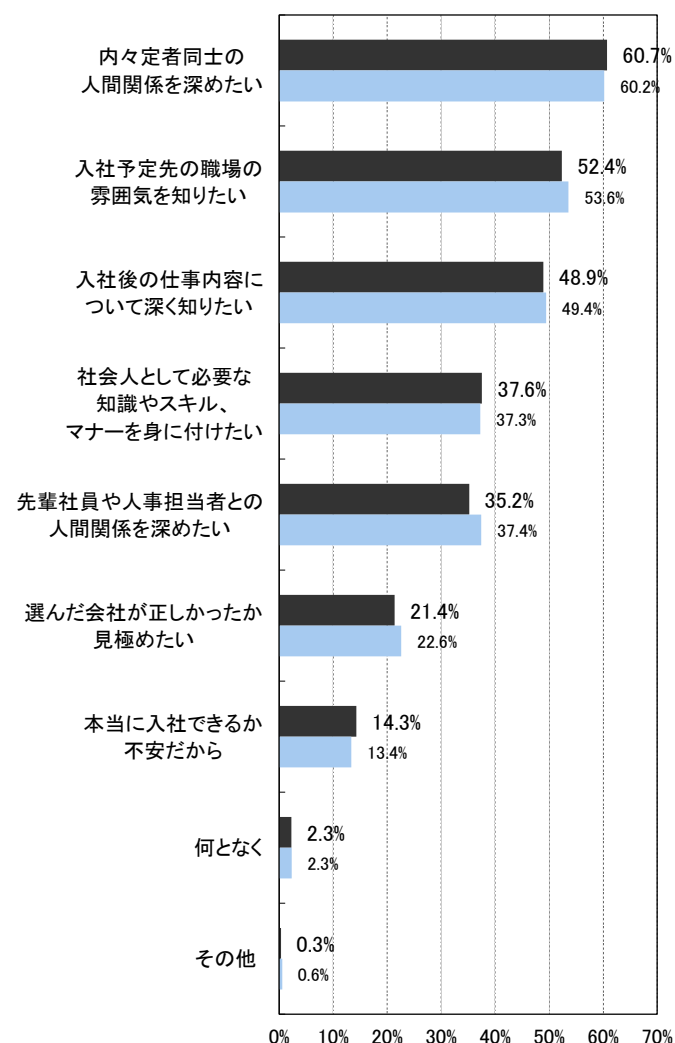
企業と接触している頻度 n=1,491



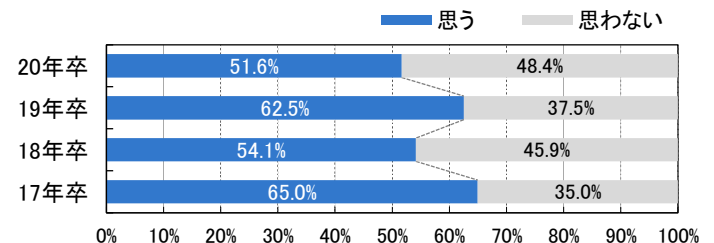
今後内々定先企業と接触する場合に希望する頻度 n=1,267



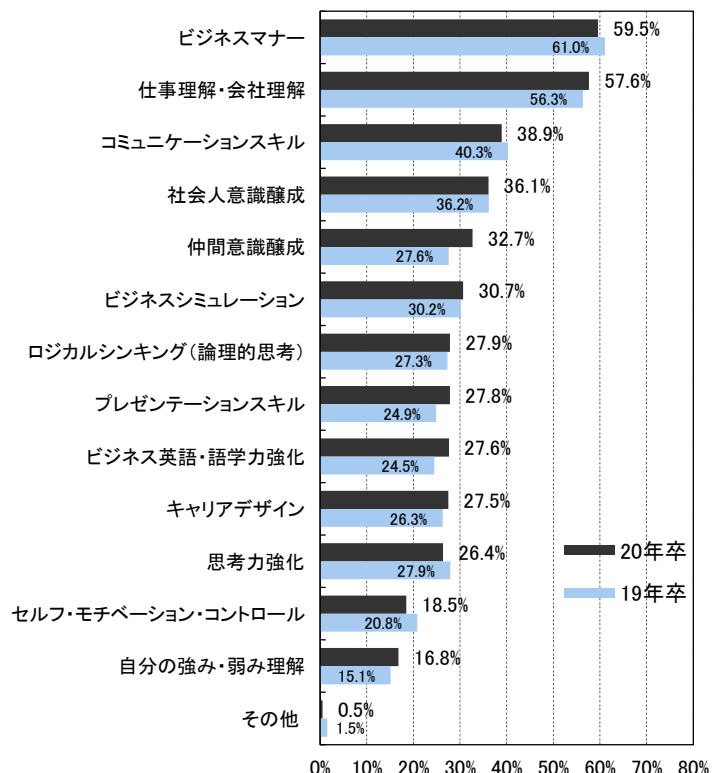
内々定者フォローや、内々定者研修を受けたい理由【複数回答】 n=1,311



入社までに集合研修を受けたいと思うか n=1,790



集合研修で受けたい内容【複数回答】 n=882



内々定者フォロー・実際にあった接触の内容【複数回答】

n=1,491

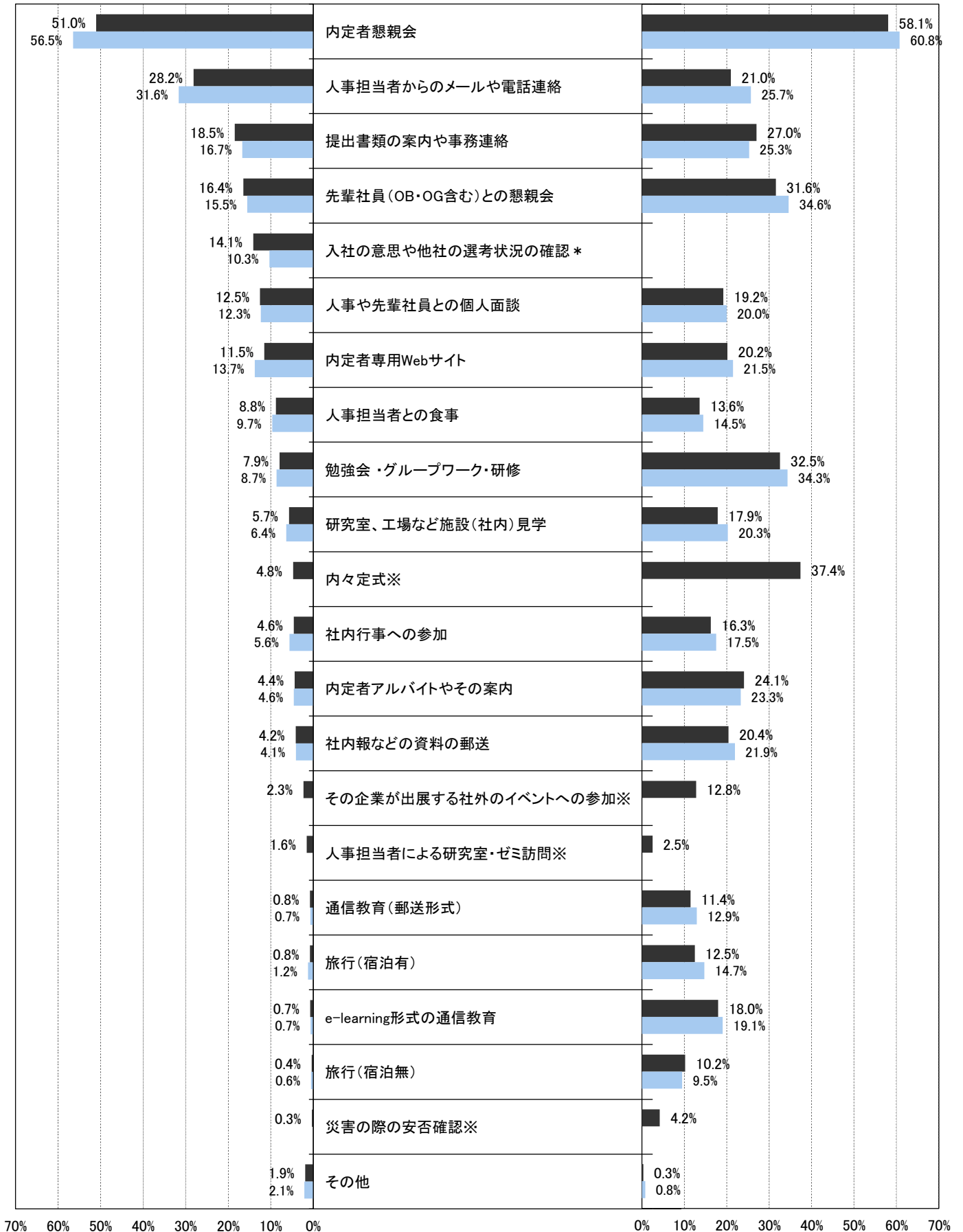
20年卒
19年卒

※は今年から追加
*は「希望する内容」の選択肢には含めない

内々定者フォロー・希望する内容【複数回答】

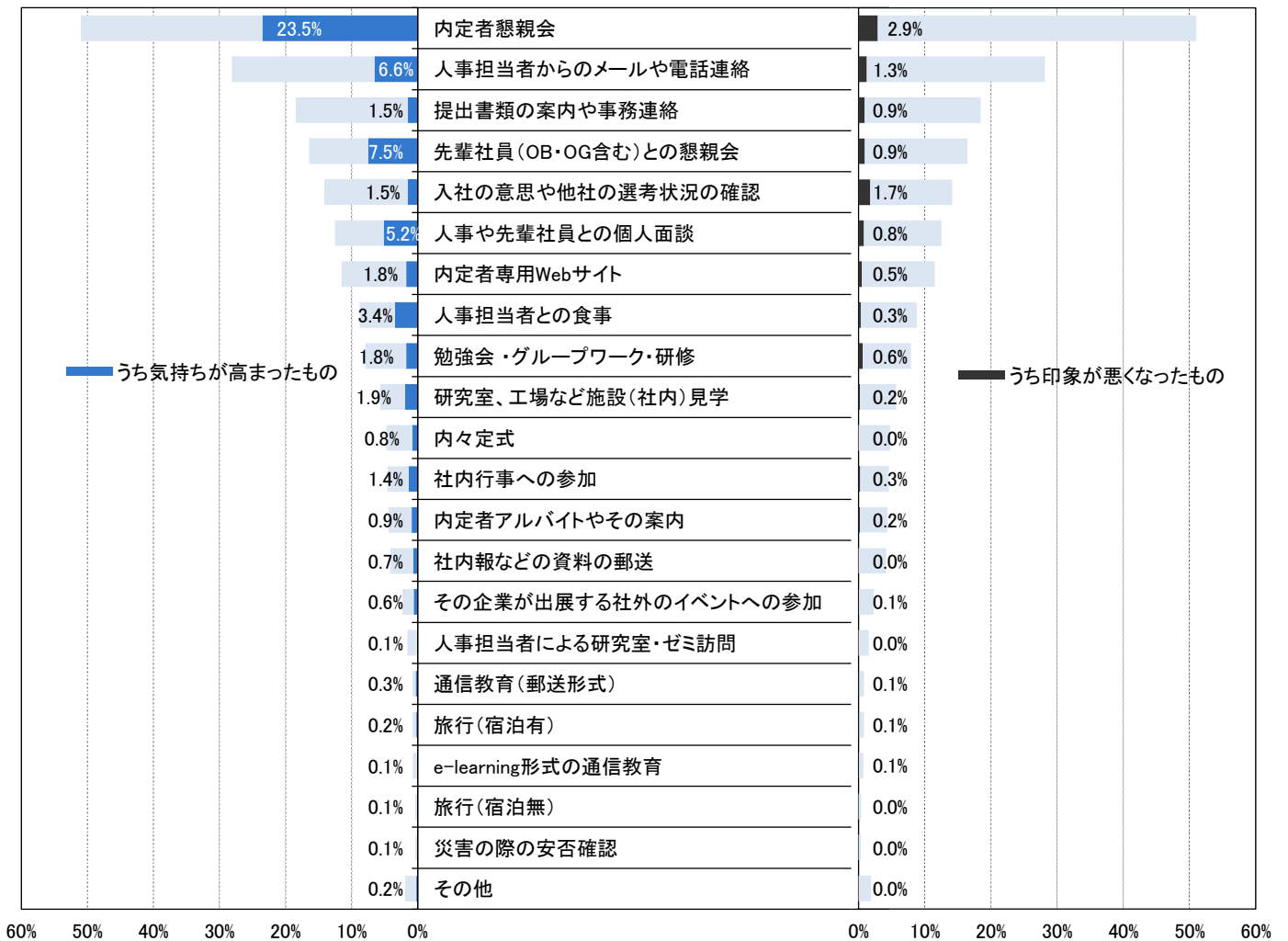
n=1,311

20年卒
19年卒

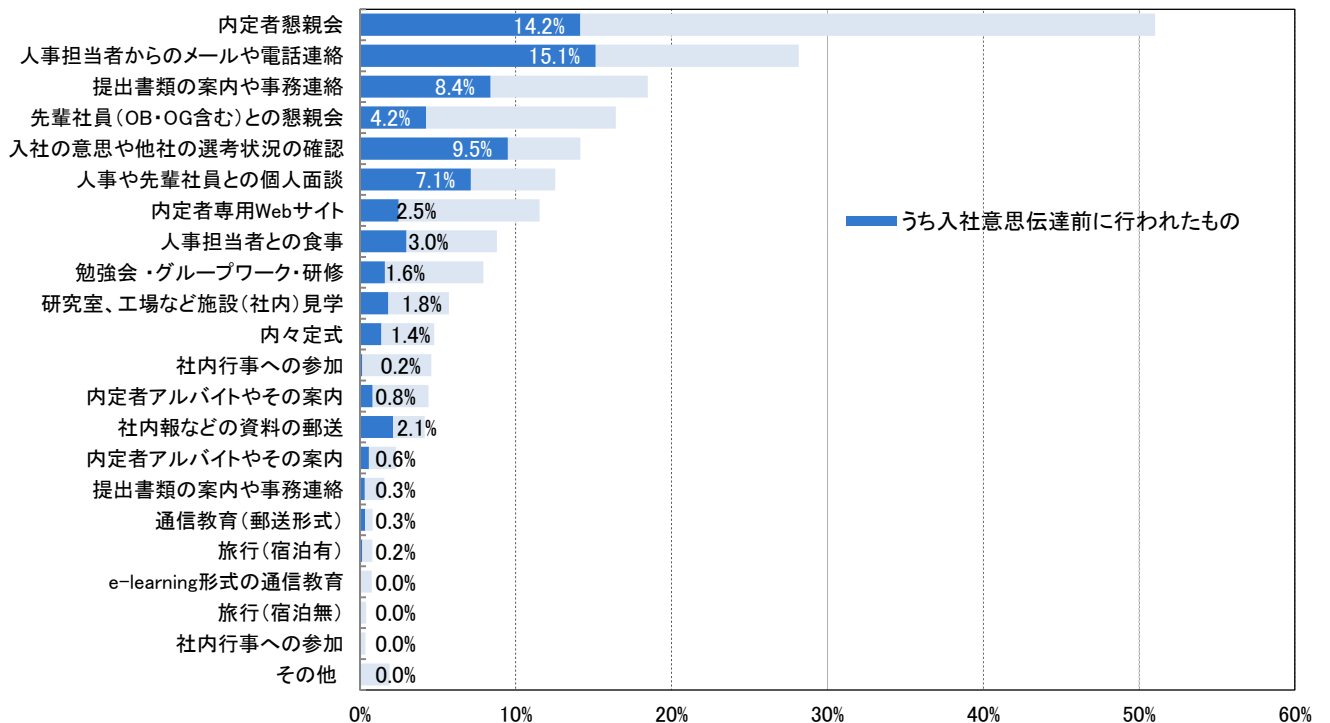


内々定者フォロー・実際にあった接触の内容のうち
入社しようという気持ちが高まったもの【複数回答】 n=1,491

内々定者フォロー・実際にあった接触内容のうち
印象が悪くなったもの【複数回答】 n=1,393



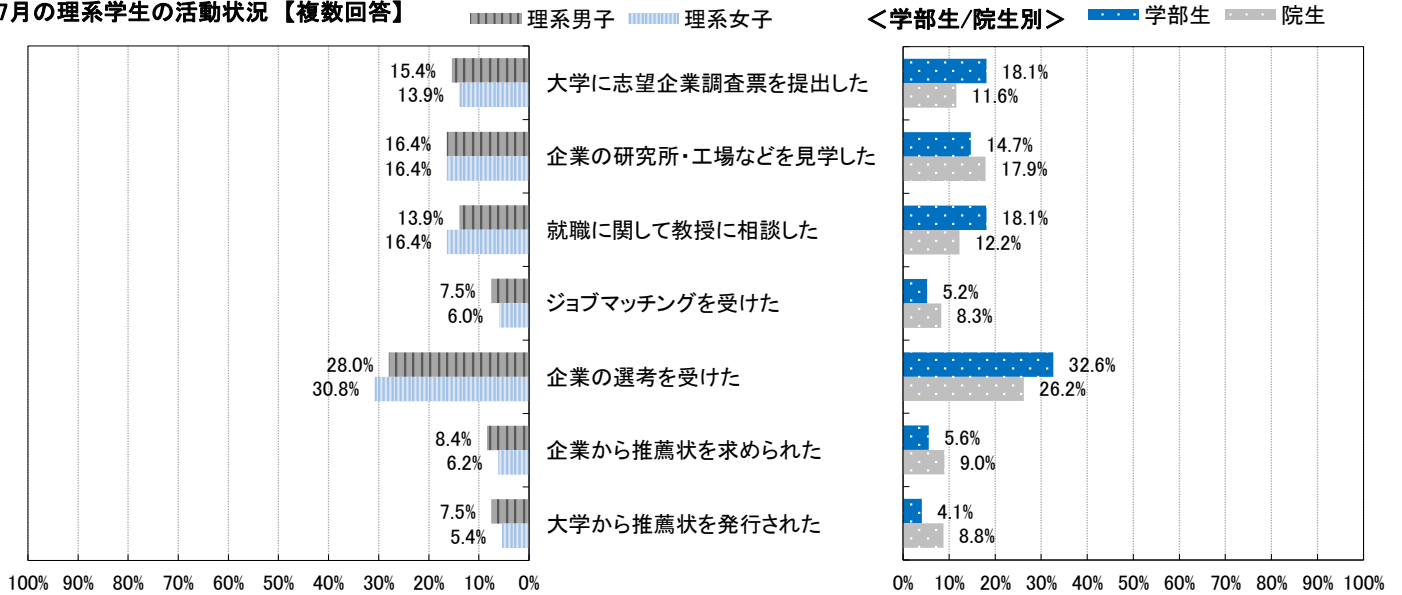
内々定獲得後、入社を固めるまでの期間が企業から1週間以上与えられていた学生のみ
内々定者フォロー・実際に合った接触内容のうち
その企業に入社するという意思を伝える前に行われたもの【複数回答】 n=541



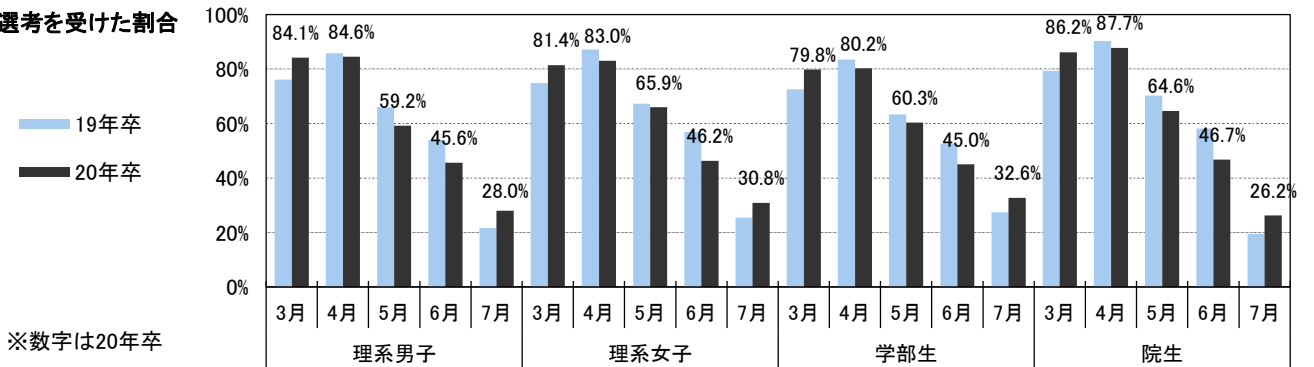
■7:【理系】7月の活動状況

理系学生の活動状況に関して、学部生、院生それぞれについて、2月調査から7月調査までの推移をグラフ化したところ、「企業の研究所・工場などを見学した」については2月までに行った割合が最も高くなった。「大学に志望企業調査票を提出した」「就職に関して教授に相談した」についても2月までに行った割合がかなり高かった。「ジョブマッチングを受けた」割合は3月は前年より高かったが、4月以降は前年とあまり変わらなかった。「企業の選考を受けた」割合は、3月は前年より高かったが、4月から6月にかけて前年を下回っていた。院生の「企業から推薦状を求められた」割合や「大学から推薦状を発行された」割合は3月～6月にかけて前年を下回っていた。

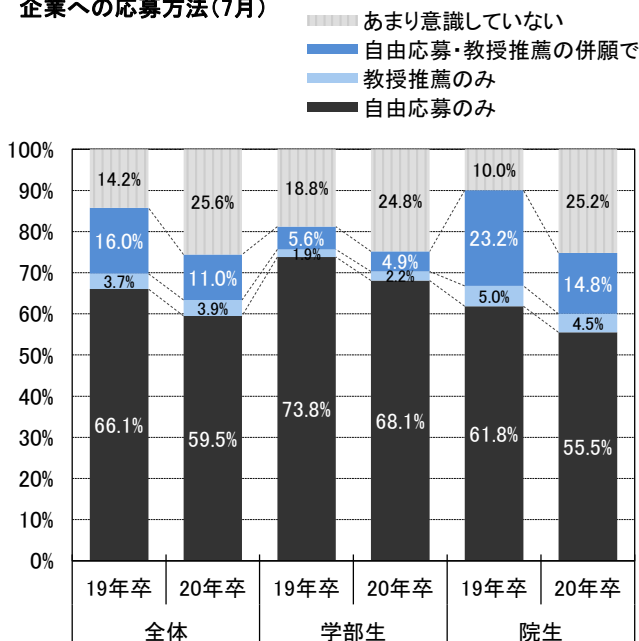
7月の理系学生の活動状況【複数回答】



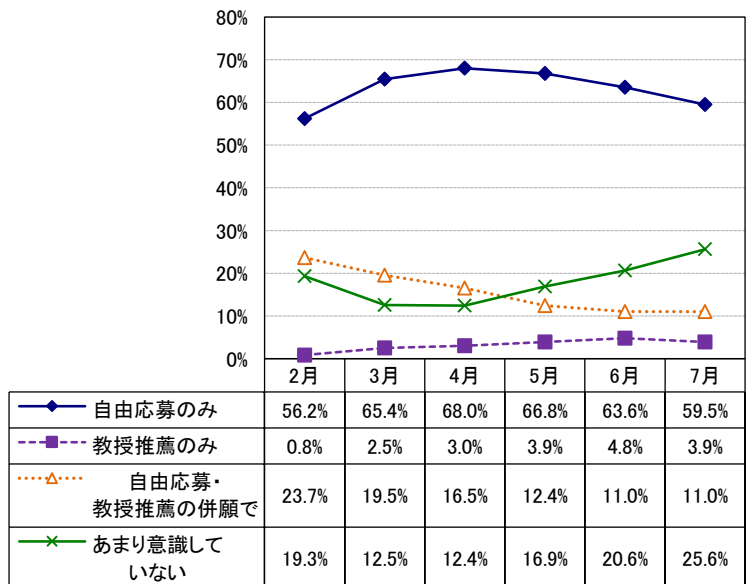
企業の選考を受けた割合



企業への応募方法(7月)

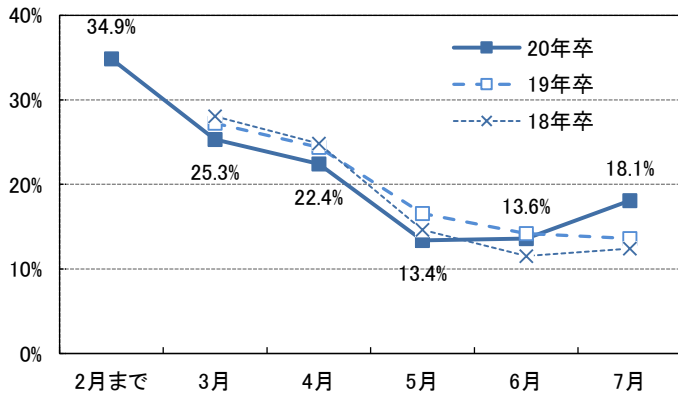


企業への応募方法(2月～7月)

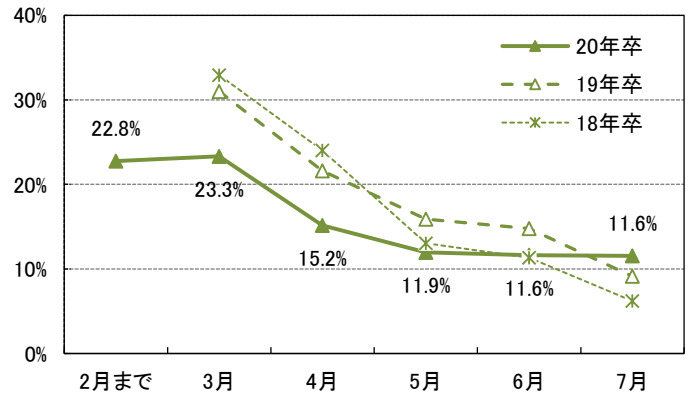


※このページの数字はすべて20年卒

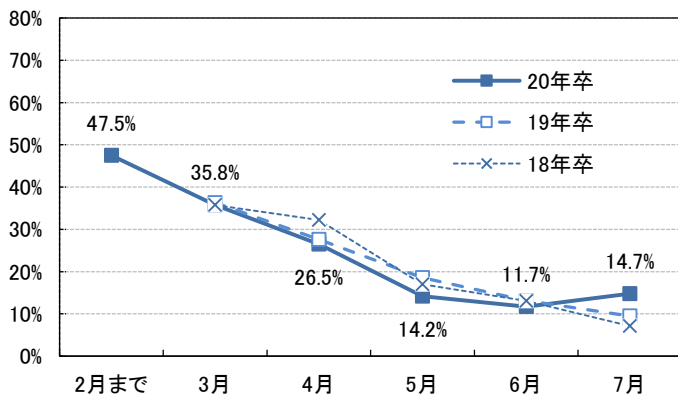
大学に志望企業調査票を提出した・学部生



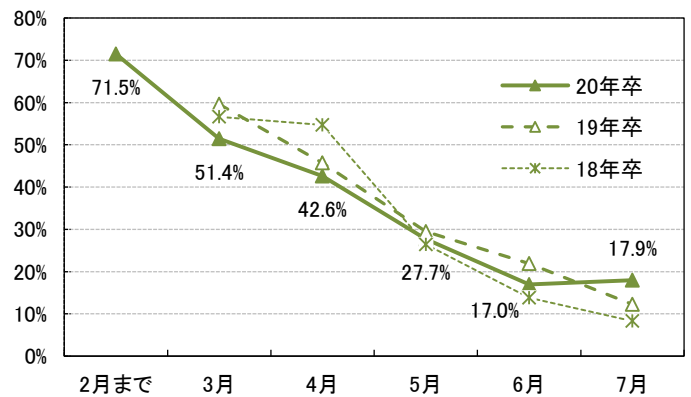
大学に志望企業調査票を提出した・院生



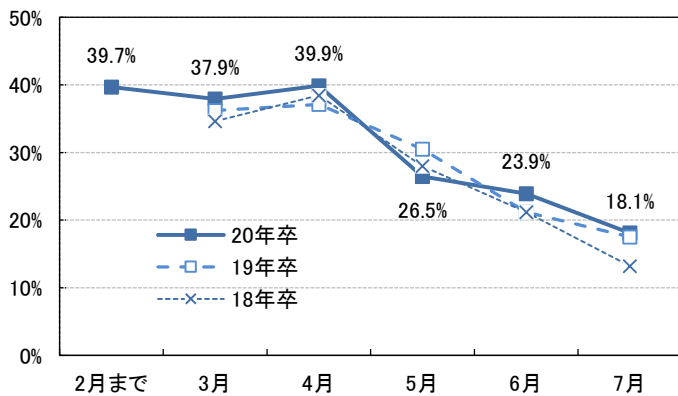
企業の研究所・工場などを見学した・学部生



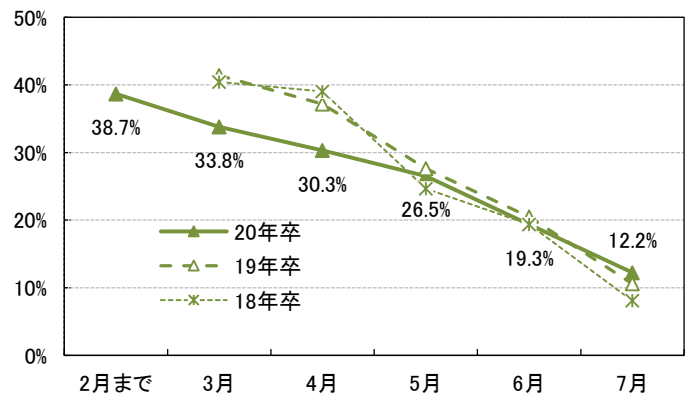
企業の研究所・工場などを見学した・院生



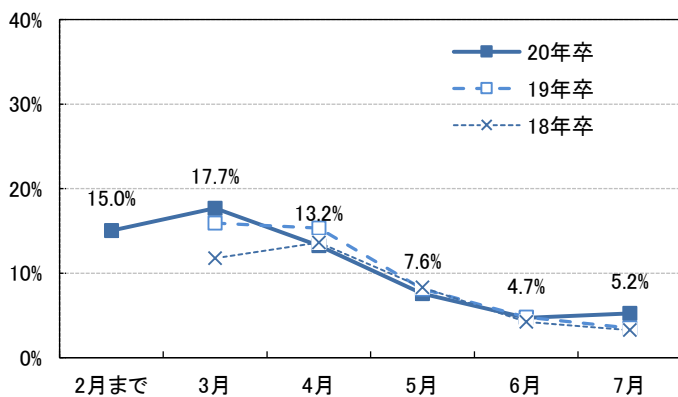
就職に関して教授に相談した・学部生



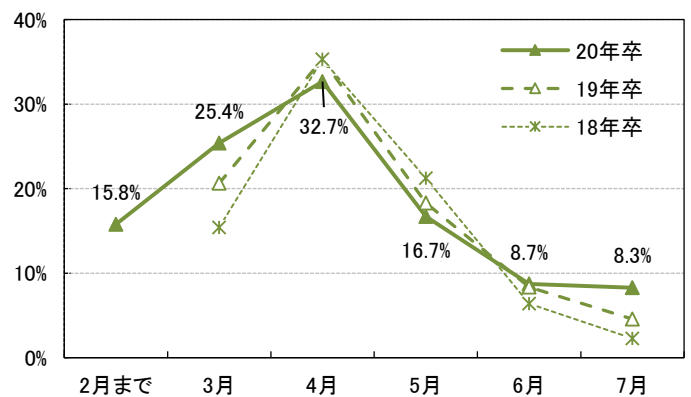
就職に関して教授に相談した・院生



ジョブマッチングを受けた・学部生

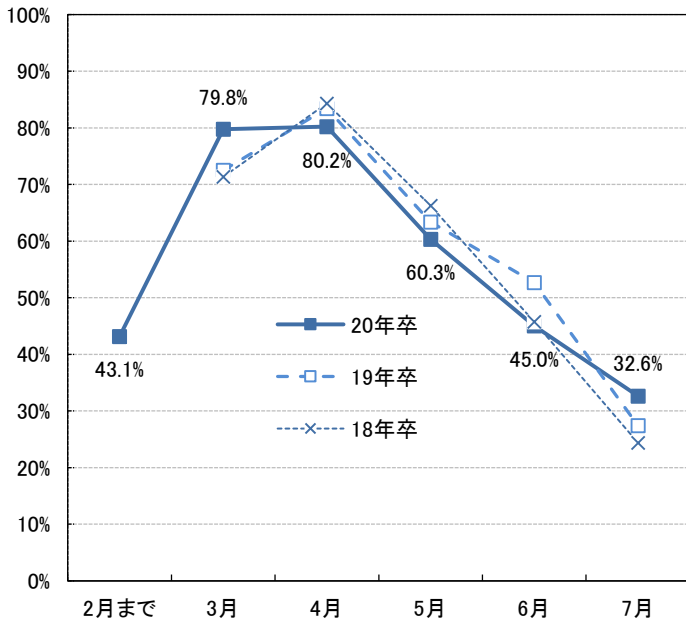


ジョブマッチングを受けた・院生

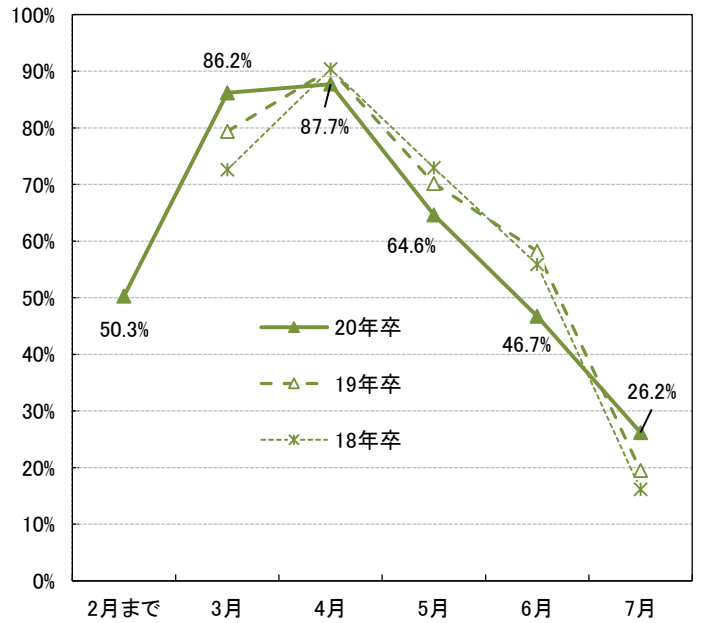


※このページの数字はすべて20年卒

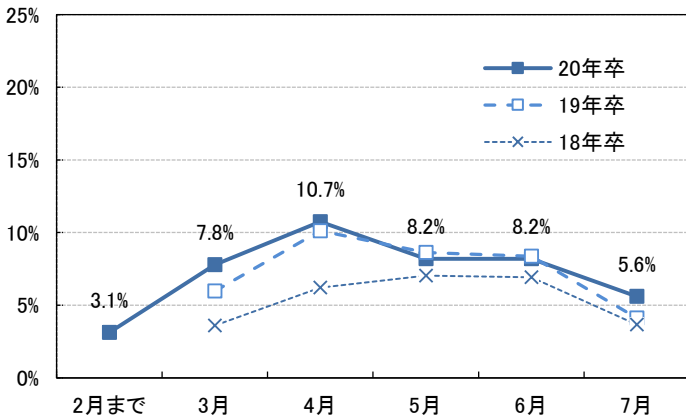
企業の選考を受けた・学部生



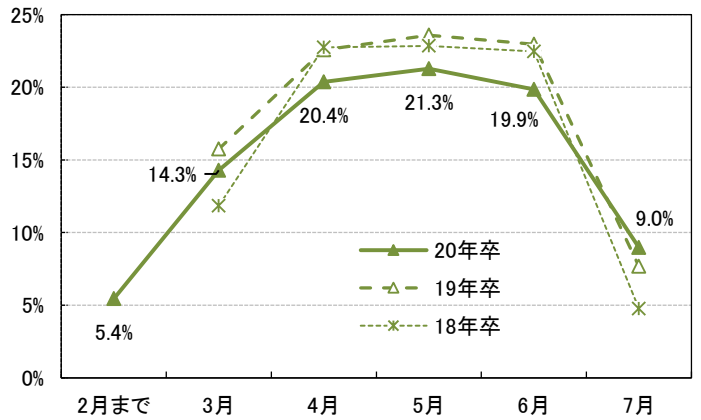
企業の選考を受けた・院生



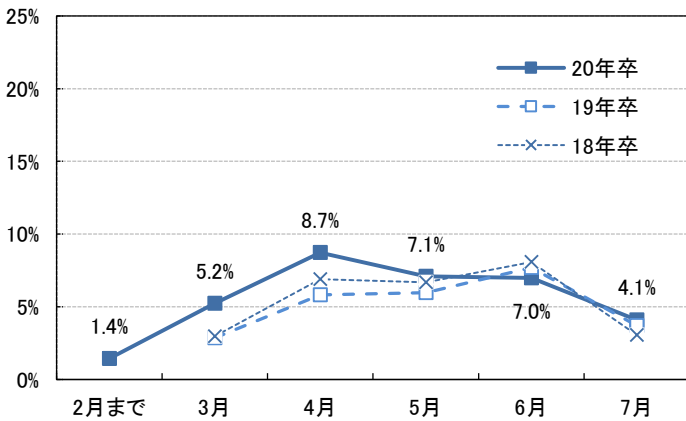
企業から推薦状を求められた・学部生



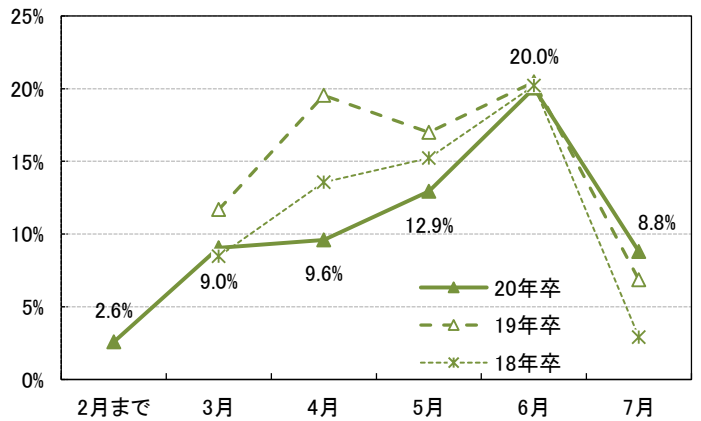
企業から推薦状を求められた・院生



大学から推薦状を発行された・学部生



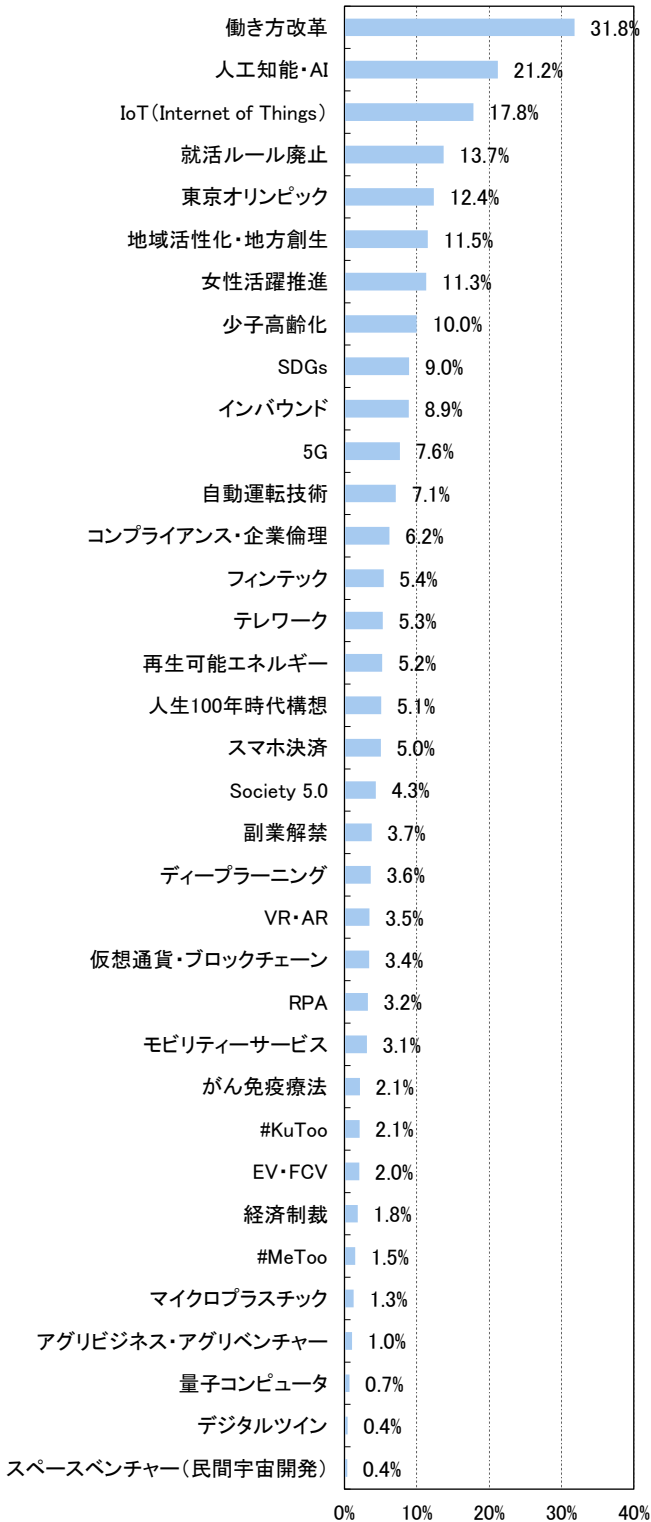
大学から推薦状を発行された・院生



■8:就職活動に影響したニュースワード

20年卒の就職活動期間およびその準備期間を通じて、メディアやネットで話題になったニュースワードを挙げ、その中から就職活動に影響したものを選んでもらった。全体で最も高い割合となったのは「働き方改革(31.8%)」で、文理男女および理系学部生・院生のすべてのカテゴリーで1位だった。2位の「人工知能・AI(21.2%)」と3位の「IoT(Internet of Things)(17.8%)」もすべてのカテゴリーでトップ5にランクインし、幅広い層に影響があったことがうかがえる。4位の「就活ルール廃止(13.7%)」については、経団連の指針の廃止は21年卒からだ、それが発表されたことにより一定の影響があったことをうかがわせる結果となった。カテゴリーごとのトップ5で特徴的なのは、文系男子の5位「地域活性化・地方創生」、理系男子の4位「自動運転技術」、文系女子および理系女子の2位「女性活躍推進」、理系院生の4位「SDGs」などだった。

就職活動に影響したニュースワード・全体【複数回答】



カテゴリー別ベスト5

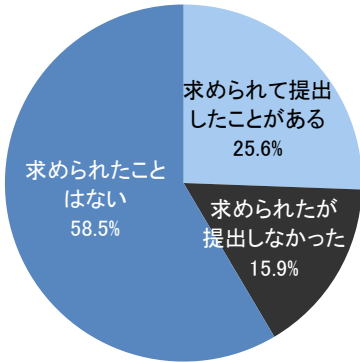
回答割合

文系男子	
1位 働き方改革	34.3%
2位 人工知能・AI	22.9%
3位 就活ルール廃止	19.5%
4位 IoT(Internet of Things)	19.3%
5位 地域活性化・地方創生	15.6%
理系男子	
1位 働き方改革	28.8%
2位 人工知能・AI	23.0%
3位 IoT(Internet of Things)	21.8%
4位 自動運転技術	12.2%
5位 就活ルール廃止	11.7%
文系女子	
1位 働き方改革	32.8%
2位 女性活躍推進	23.2%
3位 人工知能・AI	20.2%
4位 東京オリンピック	15.8%
5位 IoT(Internet of Things)	15.2%
理系女子	
1位 働き方改革	28.9%
2位 女性活躍推進	18.7%
3位 人工知能・AI	15.8%
4位 IoT(Internet of Things)	13.0%
5位 東京オリンピック	12.4%
理系学部生	
1位 働き方改革	27.8%
2位 人工知能・AI	18.0%
3位 IoT(Internet of Things)	16.4%
4位 東京オリンピック	12.7%
4位 就活ルール廃止	12.7%
理系院生	
1位 働き方改革	29.8%
2位 人工知能・AI	21.1%
3位 IoT(Internet of Things)	18.9%
4位 SDGs	10.5%
5位 女性活躍推進	10.3%

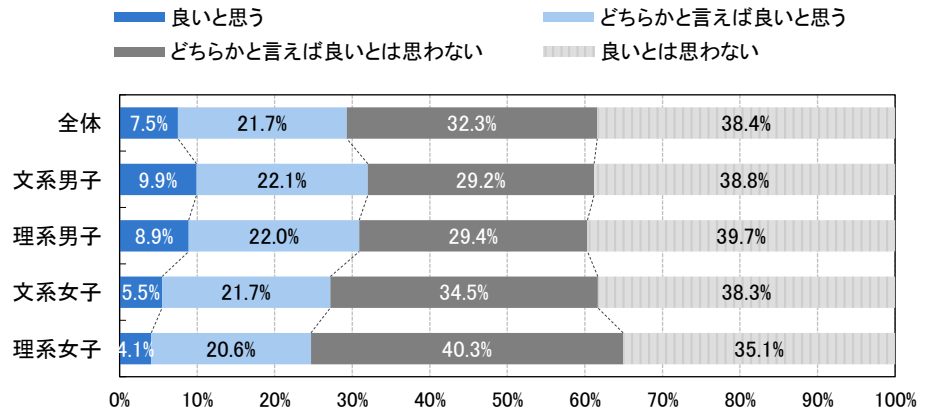
■9:選考方法について

動画エントリーシートについて「求められて提出したことがある」割合は25.6%、「求められたが提出しなかった」割合は15.9%で、全体の4割程度が企業から求められた経験があった。AI面接については「受けたことがある」割合は4.4%で、「AI面接がどんなものかわからない」割合も26.8%あった。IT職種での就職を希望していた学生に「IT職種において、プログラミングスキルを問われることについてどう思うか」聞いたところ、全体の7割弱が「良いと思う（25.1%）」もしくは「どちらかと言えば良いと思う（43.3%）」と回答した。

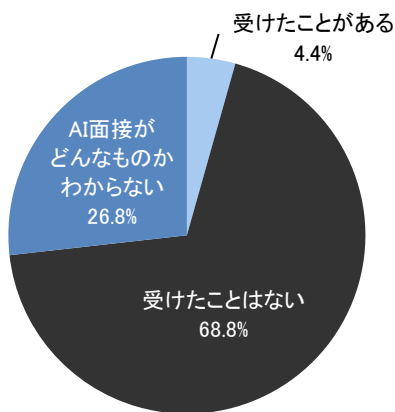
動画エントリーシートの提出を求められたことがあるか



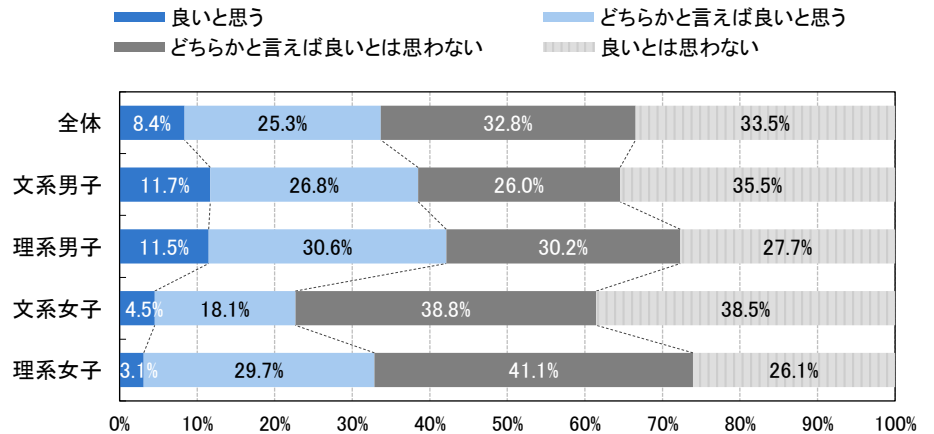
※全員対象 動画エントリーシートについてどう思うか



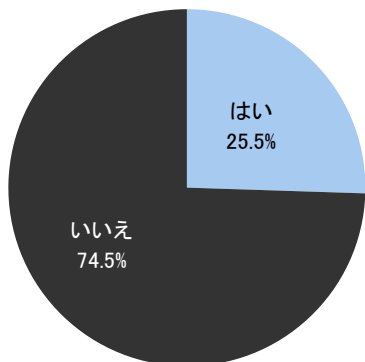
AI面接を受けたことがあるか



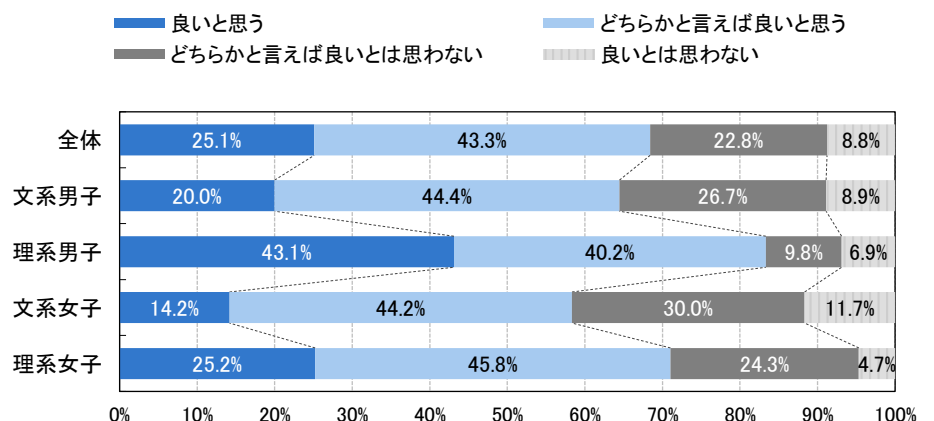
※AI面接がどんなものかわからない人以外 AI面接についてどう思うか n=1,415



IT職種での就職を希望していたことがあるか



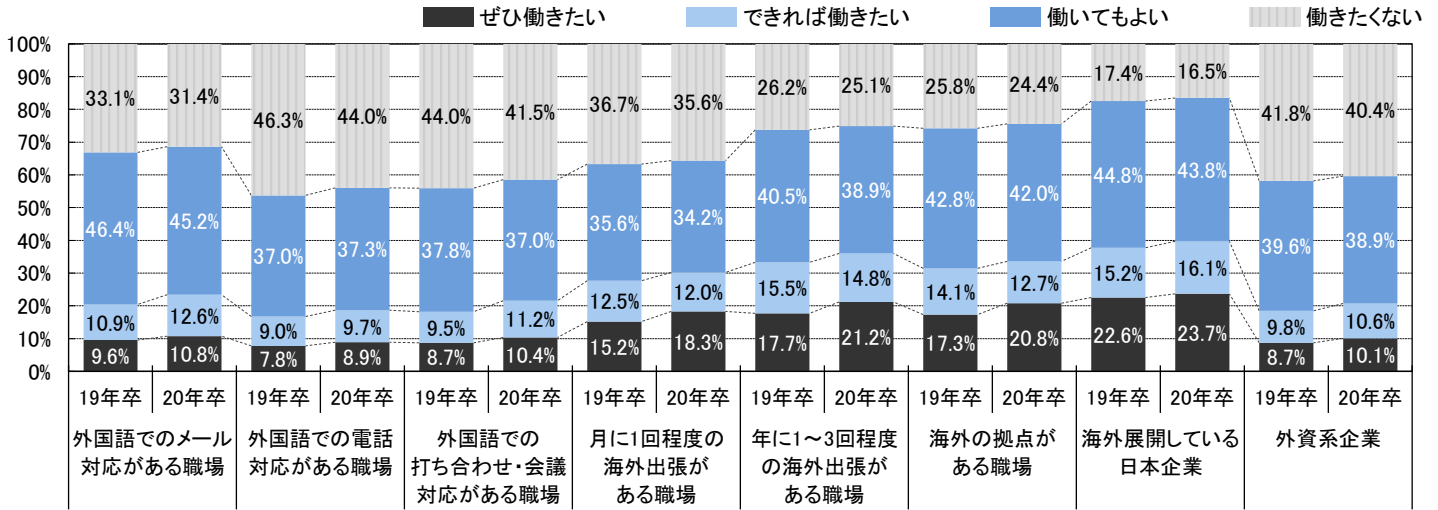
※IT職種での就職を希望していたことがある人 IT職種の選考において、プログラミングスキルを問われることについてどう思うか n=491



10: グローバルな働き方について

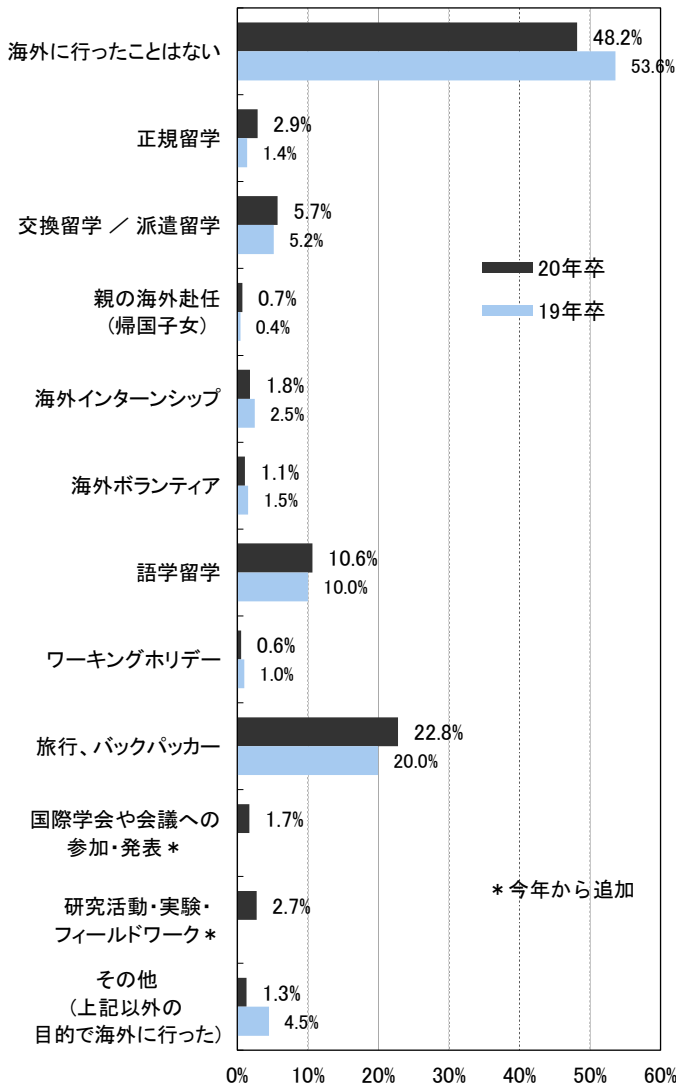
外国語を必要とする職場についての考えを聞いたところ「外国語でのメール対応がある職場」で「働きたい（ぜひ＋できれば）」学生は23.4%、「外国語での電話対応がある職場」では18.6%だった。また、外資系企業で「働きたい」学生は20.7%だった。勤務したいと思う国・地域を訊いたところ、日本（74.3%）以外では、アメリカ（42.3%）、イギリス（30.8%）、カナダ（29.0%）の割合が高く、ドイツ（26.1%）、フランス（22.6%）、シンガポール（21.7%）も2割を超えた。

外国語を必要とする職場や海外出張がある職場に関する考え



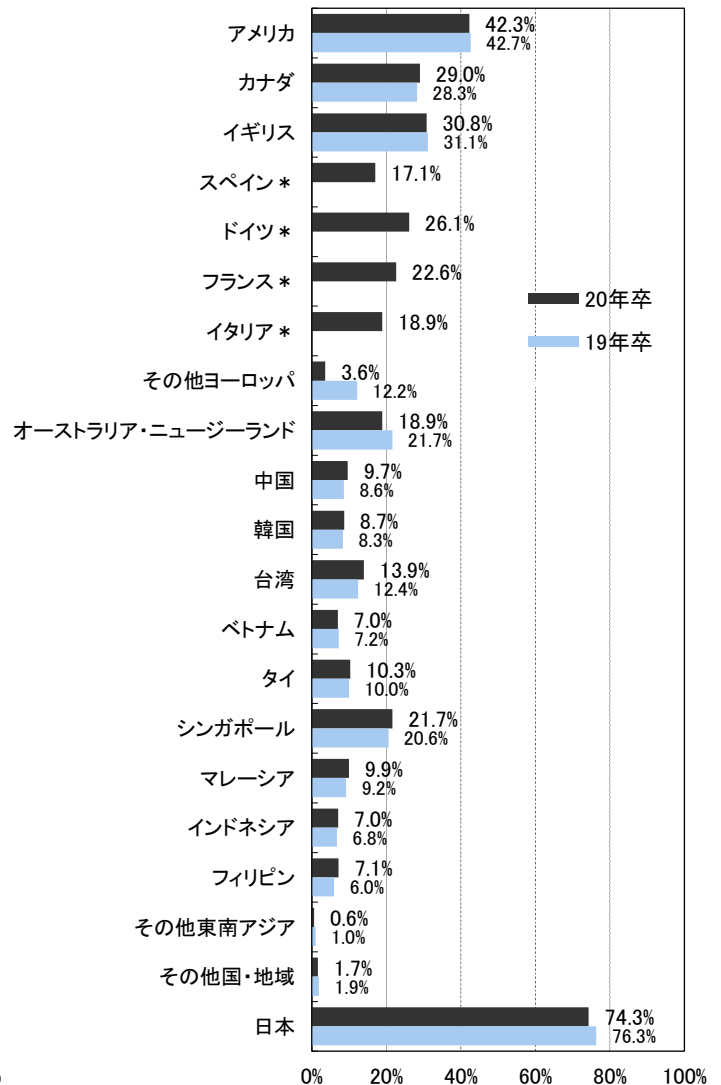
大学や大学院在学中に海外に行ったことがあるか、および海外に行った目的

（複数回答ある場合は、最も長い期間のものを選択）



勤務したいと思う国・地域【複数回答】

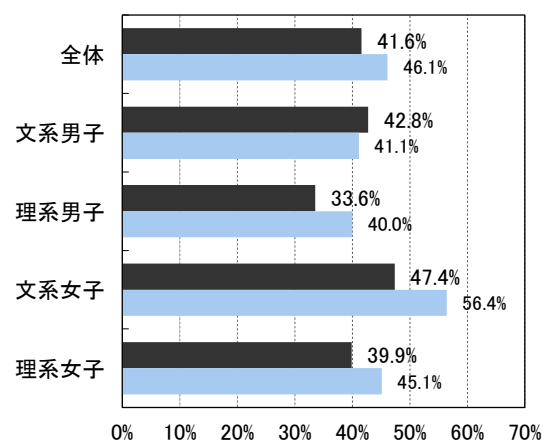
* 今年から追加



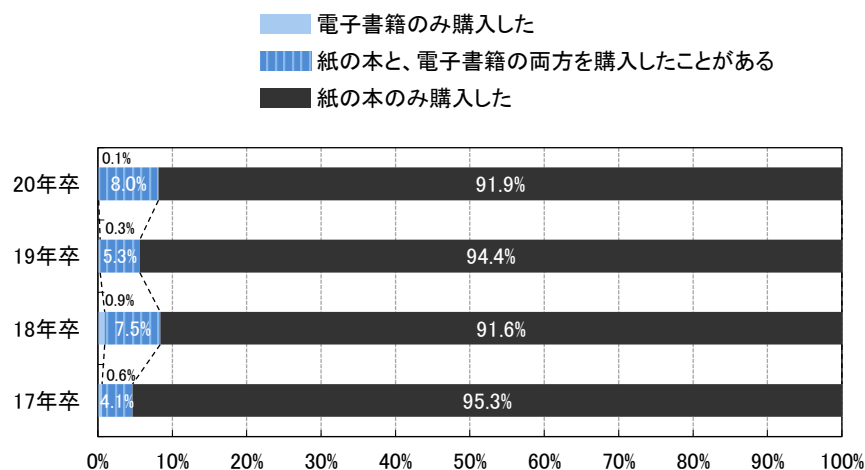
■11:就職活動に関する書籍について

就職活動に関する書籍を購入したことがある学生の割合は41.6%だった。購入した学生のうち、電子書籍を購入した学生は8.1%（電子書籍のみ+紙と電子書籍の両方）だった。購入した書籍の内容は「筆記試験対策」（63.7%）が最も多く、次いで「面接対策」（32.5%）「自己分析に関する内容」（28.0%）「企業・業界研究対策」（23.4%）となった。

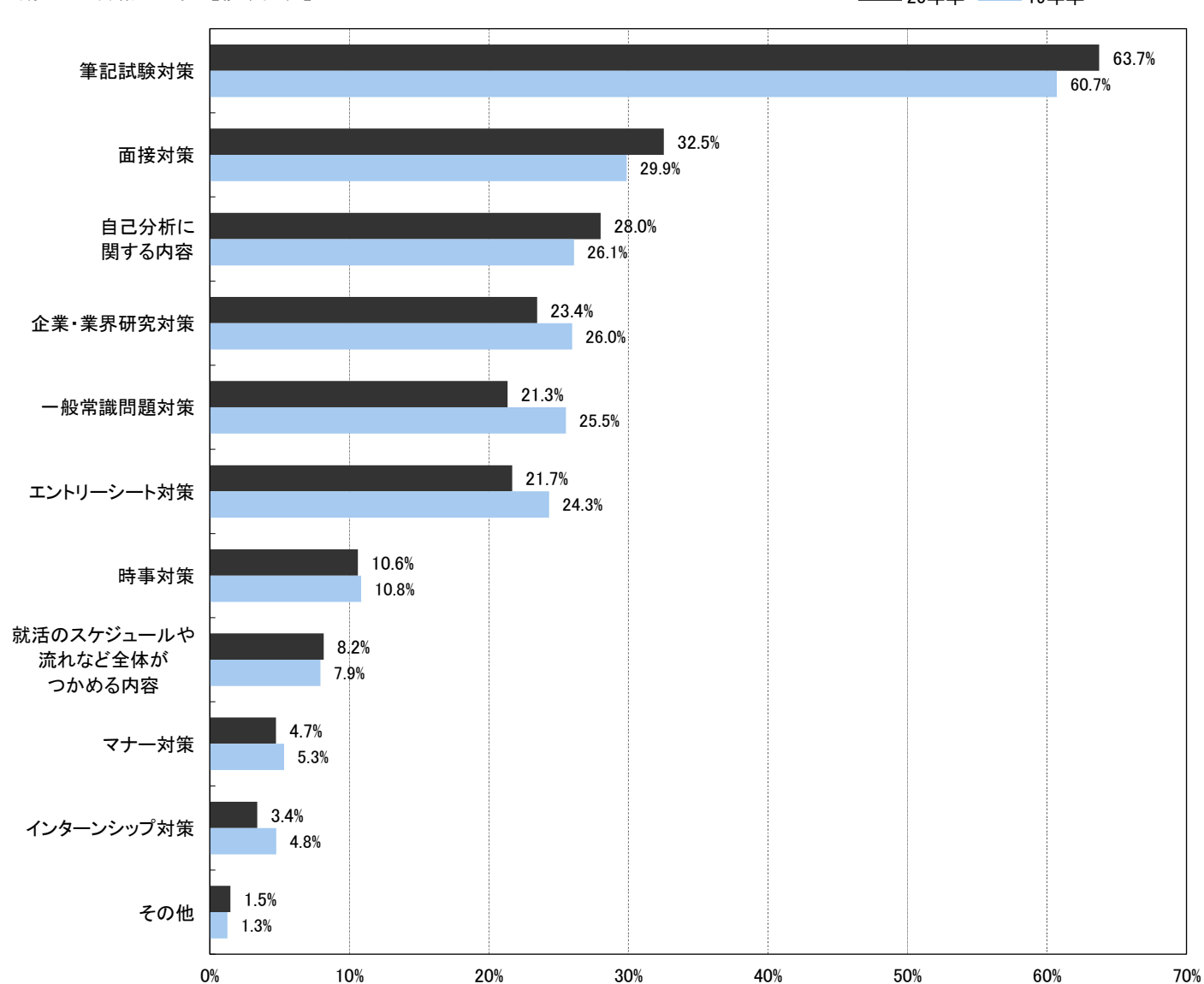
就職対策書籍の購入経験がある割合



購入した書籍の形式 n=794



購入した書籍の内容【複数回答】 n=794



■特別調査（あなたの周りで流行った「就活用語」は）

※16年卒では10月に調査

20年卒（2019年）ベスト10		19年卒	18年卒	17年卒	16年卒	類語、同義語	意味
1	お祈り	2	1	2	2	・お祈りメール ・祈られた	選考で落ちること。不採用通知の「今後のご活躍をお祈りしております」という一文から。
2	ガクチカ	1	4	5	7	-	面接でよく聞かれる「学生時代に力を入れたこと」の略。
3	サイレント	3	2	1	1	・黙祷 ・サイレントお祈り	選考の結果の連絡が来ないこと。合格なら、企業から必ず連絡があるので、不合格であることを示す。
4	NNT	5	3	3	4	・無い内定	「無い内定」の略。内（々）定が無いことを「内々定」に掛けている。反意語：ANT（有る内定）
5	オワハラ	5	5	4	3	-	「就活終われハラスメント」の略。企業が内々定を出した学生に対して就職活動を終えるよう強制すること。他社の選考の辞退と引き換えに内々定を出すことも含む。
6	ES	4	7	-	-	-	エントリーシートの略
7	グルディス	7	6	-	-	・GD	グループディスカッションの略
8	御社	8	7	8	-	-	選考受験中の企業のこと。転じて、日常から就職活動モードに入ることも指す。面接に行くことを「御社する」と表現するなど。
9	終活	9	-	-	-	-	就職活動を終えるための活動。入社予定先以外の企業に内定辞退の連絡をすることなど。
9	リクラブ	10	9	7	-	・リクルートラブ	就職活動を通して出会った学生同士で恋愛に発展すること。

◆ランク外で目新しかった用語、特徴的な用語

就活用語	意味
クラッシャー	グループディスカッションの時にKYで場の雰囲気壊す人。「モンスター」とも。
遠征	東京へ就活をしに行くこと。
0泊3日	夜行バスで東京に行き、その日の晩に夜行バスに乗ること。
弾丸面接	始発で面接に向かいその日の内に遠方の大学に帰ること。
二本立て	面接が同一日に二社あること。
上司ガチャ	職場や仕事の内容が明らかでも上司によって働き方が変わるとのこと。
総合職ガチャ	総合職で入社するとどんな仕事をさせられるかわからずリスクがあるということ。
嘘つき大会	心にも思っていないことを面接で話すこと（転じて面接そのものを指す場合も）。
それ強みじゃん	相手の行動を何でも強みとして捉え褒めること。
Dの意志	就職をあきらめてドクターに進学する事を前向きに検討すること。
ファストパス	インターンシップ参加者の一部に案内される早期選考受験資格のこと。
オフィスカジュアル	服装について（※「私服」でも「スーツ」でもなくこう書かれると何を着ればいいのか困る）。
0次選考落ち	受けるつもりだった企業のESが面倒くさくて出すことを断念した。
「選考結果のお知らせ」	企業からの選考結果通知メールの件名。「合格」と明記されてなければ、不合格であることが多い。
間落ち	就活がうまくいかなくて精神的に参ってしまうこと。
世紀末	エントリーした企業すべての選考に落ちること。
就職迷子	6月までに内々定を1社でももらっていないと就職迷子と言われる。
就活ブルー	就活中にやる気がなくなること。
内定ブルー	内定先に本当に入社していいか不安になる。
WILL	ビジョン（※「あなたのwillを聞かせてください」のように、主に意識高い系の会社で使われる言葉）。
エレオク	人事担当者にエレベーターまで見送られると不合格だという噂。合否とは無関係な場合も多い。
エア就活	就活をしていないのに就活を理由に休むこと。
#絶対内定	インスタで就活中にとりあえず付けとく。